

第七十六回 帝國議會
衆議院 (米穀ノ應急措置ニ關スル件) 昭和十二年法律第九十號中改正法律案

委員會議錄(速記)第九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
農地開發法案(政府提出)第八〇號

農林書記官 岡本 直人君	馬政局次長 柳淵 鎮二君
食糧管理局事務官 石井英之助君	厚生省衛生局長 加藤於菟丸君
食糧管理局長官 湯河 元威君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
八分開議	農地開發法案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	○村上委員長 ソレデハ是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス——長野君
委員長 村上 國吉君	○長野(綱)委員 私ハ四項バカリ大臣ニ御尋ネ致シタインデアリマスガ、其ノ前ニ二點バカリ政府委員カラ御説明ヲ求メタインデアリマス、其ノ第一點ハ、昨日石井君ノ質問ニ對シテ關聯質問ヲナシマシテ此ノ開發營園ノ經理ノコトデアリマス、開發營園ハ營利營團デハナイノデアリマスケレドモ、兎ニ角六分ノ配當ヲシタリ、債券ニハ四分利子ヲ支拂フト云フコトニナツテ居ルノデアルカラ、經營ヲシテ幾ラカソコニ利益ガ舉ラナケレバ其ノ支拂ガ結局出來ナイコトニナル、昨日用排水等ノ工事ニ付テハトシトシニ行ケバ宜シト云フコトデアリマシタガ、サウ云フコトニナルト結局ソコニハ利益ガ出ナイコトニナル、其ノ利益ノ出ナイコトヲアノ營園ガドウシテモヤラナケレバナラヌカ、サウ云フコトデアレバ、從來通リニ其ノ地區ノ全體ノ者ニヤラシタ方ガ宜イノデハナイカト考ヘルガ、其ノ點ヲ
出席委員左ノ如シ	○岸政府委員 ソレハモウ絶対ニゴザイマヌ、御覽ノ通り政府ガ任命シ、公務員ニ準ジテ十分嚴重ナル監督ヲシテ行カウト云リマスカラ、其ノ間ニ出入ノアルコトハ豫期サレルノデアリマスノデ、ソレ等ニ付キマシテハ、ヤハリ他ト補ヒ合ハセテ考ヘテ行ク、結局國全體トシテ效果ガ舉ルト云フコトヲ目途トシテ行ケバ宜イノデハナイカ、其ノ種別ノ問題、或ハ地域別ノ問題ノミヲ以テ考ヘテ行ク譯ニハ行カナダイラウ、營團ノ一つノ大キナ塊リトシテ、サウシテ増産ノ最モ經濟的ニ效果ノ舉ルヤウニ骨折レバ宜イデハナイカ、サウ云フ意味ニ於テ其ノ部分ニ付テハ昨日御話申上ゲタヤウナ程度ニ於テ經理ノ見方ヲ付ケテ行ク、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス
農林次官 井野 碩哉君	○長野(綱)委員 尚ホ念ノ爲ニ御伺ヒシテ
農林省總務局長 周東 英雄君	置キマス、能ク耕地整理ナドニアルコトデアリマスガ、例ヘテ申シマスト、十万圓ノ施業ヲヤル、所ガソレヲ隱レタル請負者ヲ作ツテ置イテ七万圓デ工事ヲ完成サセル、
農林省山林局長 岸 良一君	三千町歩以上ノ大キナモノニナリマスト、ヤハリ地元ダケデハ中々困難ガアルヤウデアリマシテ、或ハ資金ヲ調達スルトカ、其ノ他色々方面ニ於テ問題ダラウト思ヒマスガ、之ヲ國營デシテ貴ヒタイト云フヤウナ希望ガ多イノデアリマス、サウ云フヤウナ點カラ見マシテモ、是等ノ大キナ仕事ハ、ヤハリ國營乃至之ニ準ジタヤウナ仕事デシテヤラナケレバイカヌダラウ斯ウ云フ風ニ考ヘテ、之ヲ營團デヤラセルヤウニ致シタ譯デアリマス、今ノ經理ノ問題ニ付キマシテハ、只今ノヤウナ仕事ニ付キマシテハ營團ノ付ツ費用ハ政府ノ助成ニ依ツタ費用ト、納付金ニ依ツタモノトニ依ツテ殆ド賄ツテ行カウト云フコトニ致シテ居リマス、勿論一ツノ經濟トシテ取扱ツテ參ルノデアリマスカラ、其ノ間ニ出入ノアルコトハ豫期サレルノデアリマスノデ、ソレ等ニ付キマシテハ、ヤハリ他ト補ヒ合ハセテ考ヘテ行ク、結局國全體トシテ效果ガ舉ルト云フコトヲ目途トシテ行ケバ宜イノデハナイカ、其ノ種別ノ問題、或ハ地域別ノ問題ノミヲ以テ考ヘテ行ク譯ニハ行カナダイラウ、營團ノ一つノ大キナ塊リトシテ、サウシテ増産ノ最モ經濟的ニ效果ノ舉ルヤウニ骨折レバ宜イデハナイカ、サウ云フ意味ニ於テ其ノ部分ニ付テハ昨日御話申上ゲタヤウナ程度ニ於テ經理ノ見方ヲ付ケテ行ク、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス
農林省水產局長 平岡 重政	○長野(綱)委員 尚ホ念ノ爲ニ御伺ヒシテ
農林省資材部長 誠之君	置キマス、能ク耕地整理ナドニアルコトデアリマスガ、例ヘテ申シマスト、十万圓ノ施業ヲヤル、所ガソレヲ隱レタル請負者ヲ作ツテ置イテ七万圓デ工事ヲ完成サセル、

ノガ、一方ノ賃金ガ好イトカ何トカ云フコ
ラナケレバナラヌ方面ガ薄ライデ、生産力
ガ減ツテ來ハシナイカ、斯ウ云フ憂ヒガア
ル、其ノ點ハドウ云フ御見込デアリマスカ
○岸政府委員 勞力ノ問題ニ付テハ昨日成
島委員ノ御考ニ對シマシテ、私共率直ニ
考ヘテ居ル所ヲ申上ゲタノデアリマス、又
此ノ線ニ沿ウテ實行ニ移スペク研究ヲシテ、
只今地方ノ關係諸官ヲ集メテヤツテ居ルヤ
ウナ譯デアリマスガ、此ノ大キナ工事ヲ致
シマシテ、勞力ガ調達出來ルカト云フコト
ニ付テハ、是ハ地方々々ノ事情ニ依ツテ餘
程異ナルモノガアルト思フノデアリマス、唯
私ガ昨日申上ゲマシタヤウニ、多クノ仕事
ハ大體農閑期ノ勞力ノアル時期ニ於テ計畫
スル見込デアリマス、隨ヒマシテ昨日モ申
上ガマシタヤウニ、現在ノ此ノ工事ニ對ス
ル勞力、此ノ仕事ニ對スル勞力カラ言ヘバ極
云フモノハ、現在全體ノ勞力カラ言ヘバ極
ク僅カナモノデアリマスノデ、其ノ點ニ付
テ其ノ關係地域ノ勞力ノ供出ニ付テモ、或
ハ一部落カラ數名ト云フヤウナコトデ、組
織的ニ供出シ、尙ホアトノ仕事ニ付テハ共
同作業其ノ他ニ依ツテ補ヒヲ付ケル、場合ニ
依ツテハ非常ナ過激デナイモノニ付テハ共
人勞働ヲ勤員シテヤツテ貰フト云フヤウナ、
色々ナ方法ヲ考ヘテ參レバ出來ルノデハナ
イカ、勿論此ノ方面ニ付テハ全力ヲ擧ゲテ其ノ
仕事ニ配慮ヲ願フヤウニシテ、精神的ノ方
面カラト兩方カラ行ツテ完成ヲスルヤウニ
シタイ、斯ウ云フ點ニ付テハ全力ヲ擧ゲテ其ノ

ウント勞力ノ離レタ所デ、例ヘバ開墾ヲヤルト云ツタヤウナコトニ付テハ、或ハ分村的ナ考へ方ヲ以テ仕事ニ掛ツテ行ク、斯ウ云云フヤウナ點モ加味シテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○長野(綱)委員 此ノ營團ハ將來十箇年ニ亘ツテ大面積ノ開墾又ハ用排水事業ヲ施行スルノデアルカラ、其ノ延人員ト云フモノノハ非常ナ數ニ達スルノデアル、先程カラ申上ゲマスル通リニ、國內ハドウモ勞力ガ不足ヲ致シテ居リマス、ソレデ此ノ際斯ウ云フ大事業ヲオヤリニナルナラバ、朝鮮人若シクハ山東苦力ヲ入レテヤルコトニシテ、其ノ人夫ヲ移動シテ行ツタナラバ、非常ニ好ク行クノデハナイカト考へマスルガ、サウ云フ御計畫ハゴザイマスカ

○岸政府委員 只今ノ所デハ考ヘテ居リマセヌ、出來ルダケ日本ノ農村ノ力ヲ活用シテ、サウシテ此ノ仕事ガ間接ニ農村ニ潤ツテ行クト云フヤウナ兩々相俟ツタ考へ方デ進ミタイ、非常ナ特別ナ場合ニ付テハ、ソレハ或ハ研究シナケレバナラヌカト思ヒマスガ、差當ツテハソレデナクテモ現在ノ状態デハヤリ得ルデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ進メテ居リマス

○長野(綱)委員 アト四點大臣ニ對スル質問ヲ保留致シマシテ、私はデ打切りマス

○村上委員長 デハ次ニ小笠原君

○小笠原(八)委員 マダ馬政局モ山林局モ政府委員ガ御見エニラナインデアリマスガ、其ノ前ニ農政局長ニ御尋ネヲ致シマス、是ハ同僚議員カラモ色々御質問ガアツタヤウナコトデアリマスケレドモ、私ハ別ナ觀點カラ疑問ノ所ヲ御尋ネシテ置カウト思フノデアリマス、農地ヲ開發スルト云フコト

ハ、目下ノ國策上最モ必要デアルコトハ分
ルノデアリマスガ、唯吾々ハ茲ニ疑ヒヲ持
ツノハ、現在ノ田畠ヲ初メ其ノ他ノ土地デ
サヘ肥料難ニ陥ツテ居ルヤウナ譯デアリマ
ス、農村デハ最上ノ増産ニ向ツテ努力ヲ續
ケテ居ルヤウナ關係デアリマシテ、如何ナ
ル上田モ上畠モ、相當ノ肥料難ニ陥ツテ出シ
テ居ルノデ、相當ナ施肥ガ要求サレテ居ル
ヤウナ現實ノ狀況デアリマシテ、現實ノ土
地ニ於テサヘ相當ノ肥料難ニ陥ツテ居ルヤ
ウナ譯デアリマス、之ヲ益開拓シテサウシ
テ配肥ヲスルト云フコトハ、相當ノ困難ヲ
來スデアラウト思フノデアリマス、特ニ私
ハ此ノ間モ伺ツタヤウニ、自給肥料ノ增産
計畫ト云フモノハ、マダ徹底シテ居ナイヤ
ウニ思フノデアリマス、殊ニ化學肥料ノ配
合等ニ對シマシテハ、其ノ研究モ至ツテマ
ダ屆イテ居ラヌヤウニ承ツタノデアリマス、
此ノ研究等へ唯各府縣カラ報告ニ依ル材料ニ
依ルノミデアツテ、國トシテノ研究ハマダナ
イヤニウ思フ、所ガ私能ク考へテ見ルニ、各
府縣ノ各府縣ノ調查ト云フモノハ、各府縣ニ
於テ申譯的ニ古イ調査ヲ間ニ合セニ御報告
ニナツテ居ルヤウナ感ガアリマス、何故カ
ト言ヘバ各府縣ノ農事試驗場ニハ、是ハ縣ニ
ノ大小ニ依ルコトデアリマセウガ、技師一
三名、技手五、六名ガ居ツテ、サウンシテ縣
全體ノ細イ所マデ手ガ届ク筈ハナイノデア
リマス、而モ從來出費ノ關係デ色々なト變化ラ
ノ配合ノ關係ハ、餘程重要ナ關係ガアルト
アリマスガ、サウ云フ關係デ中々配肥ノ問題
係モ科學的ノ研究、殊ニ全肥料自給肥料ト云
張ニ依ツテ各、改良シテ行クト云フコトニハ、

何カ大キナ計畫ガナケレバナラヌト思フノ
地開發營團ト云フモノガ、サウ云フコトモ
ヤハリ其ノ事業ノ一つシテ行フ計畫デア
ルカ、ソレガ今マデ成リ來タリノ別途ノ意
味デ、肥料ハ之ニ關係ナイト云フコトニ
ツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺
ツテ置キマス、モウ一ツハ同様ナ意味デ勞
力關係ヲ伺ヒタインデアリマス、之ニ對シ
マシテハ昨日岸サンカラ勞力關係ハ大丈夫
ダト云フコトニ付テ御說明ガアツタノデア
リマスガ、私ハ勞力關係デ最モ疑問ヲ持ツ
ノハ、農民ハ御承知ノ通リ肉食ハシテ居ナ
イ、魚ノ配給ヲ受ケテヤツト榮養ハ保タレ
レテ居ルノデアリマス、所ガ今回ノ魚ノ公
定價格ノ關係ニ依ツテ、生魚ハ山岳地帶ノ
農村ニハ殆ド行カナクナツタ、又之ヲ鹽物
ニスレバ損ヲスルコトニナルカラ、鹽魚モ
賣ツテ居ナイ、ソレニ持ツテ行ツテ、是ハ
食糧管理局ノ關係カモ知レマセヌガ、農民
ニ對シテマデ飯米ヲ制限シテ居ル今日デア
ル、農民トカ漁民ニ飯米ヲ制限スルト云フ
コトハ、勞働力ガ低下スルト云フコト相
當大キナ關係ガアルノデアリマスガ、此ノ
點ノ御調査ガアルノデアリマスカ、一體同
ジ勞働者デアリマシテモ、都會ノ勞働者デ
アルナラバ、三食ノ中ノ一回ハ代用食ニ依
ツテ相當ノ榮養「カロリー」ヲ攝ルコトガ出
來ルノデスガ、田舎ハ今ノヤウニ肉ハ食ハ
ズ、魚ノ配給ハナシ、其ノ上ニ米ノ配給ヲ
制限サレテ一日三合八勺ト云フコトニナツ
テ居ル、是デハ一食分シカナイ、農民ハ一
日七、八合ハ食べる、ソレデナケレバ産業
戰士トシテ第一線ニ活動スルコトハ出來ナ
イ、サウ云フ 關係ガ此ノ勞力ニ大キナ影

響ヲ及ボシテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、田植トカ、或ハ收穫トカ云フ非常ニ忙シイ場合モ、食糧ヲ制限サレテ來ルト云フコトニナレバ、ドウシテモ勞力ト云フモノハ低下シテ來ル、隨テ其ノ方面カテ御研究ヲナサラナイデ、唯學說等ニ依ツテ研究スルト云フコトハ誤リノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、飯米ノ制限ト云フ關係デ、サウ云フ方面カラ勞力關係ト云フコトヲ御調査ニナツタコトガアリマスカ、之ヲ先ヅ伺ヒマス

○小笠原（八）委員 農村ノ蛋白質ノ營養關係ノコトヲ御研究ナサルコトハ能ク分リマシタガ、養鶏事業ノ擴張、山羊ノ乳ナドノ御心配モアラレルヤウデアリマスガ、十六年度ノ急場ヲドウスルカト云フコトガ最モ重大問題デアリマシテ、十六年度ニ於テハ飯米ヲ制限シタコトニ依ツテ農民ハ相當ニ騒イデ居ル、幸ヒニ屑米ガ餘裕ヲ持タレテ参リタイト存ジマス。

○小笠原(八)委員 此ノ飯米ノ制限ト云フ
コトハ中々是ハ容易ナラザル問題デアリマ
スガ、如何ニモ難穀其ノ他馬鈴薯等ノ補ヒ
ガ付クダラウト云フ御想像モ、當ルコト
ト當ラザルコトモアルデセウケレドモ、實
際ニ於テ能ク御研究ナサラナイト、是ハ重
大ナ關係デアリマスガ、此ノ飯米ノ量定ヲ
決定ナサル場合ニ、都會地ト農村ト區別セ
ヌデ、一律ニオヤリニナツタヤウニ見受ケ
ラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ關係ハド
ウナツテ居リマセウカ、三合八勺ナント

シテモ食糧問題ノ解決ト云フコトハ、各部
落ニ近接シテ居ル所ノ牧野方自然開拓ナレ
ルト云フコトニナルノデアリマシテ、是等
ハ今回ノ助成計畫ニ依ツテ見マシテモ、尙
ホ一層急激ニ擴大サレルト思フノデアリマ
ス、是ハ牧野法ニ依ツテ一部ハ抑制サレ
ルトハ思フノデアリマスガ、ドウシテモ今
回ノヤウニ食糧問題ガ窮迫シテ參リマス
ト、食糧ト飼料トノ問題ニナルカラ、比較
上ドウシテモ指導方面モ食糧ニ傾ク傾向ガ
アルノデアリマス、又助成等モ、食糧ノ方

○岸政府委員 第一ノ御質問ノ肥料ノ配給等ヲ營團ガヤルカト云フ御尋ねデアリマス
ガ、是ハヤハリ別個ニ從來アル機關デヤツ
テ行キタイト思ヒマス、自作農ヲ創定サレ
レバ、自作農ニ對スル肥料ノ配給ハ從來ノ
他ノ農村ニ於ケルヤリ方ト同ジデアリマシ
テ、此ノ農村ノ自給肥料ノ増産計畫ニ付テ
ハ、資材部長ガ他日御説明サレマスガ、別
途ニ進メラレテ居リマス、ソレト相俟ツテ
自給肥料ニ付テハ、小笠原委員御承知ノヤウ

居ルカト間ニ合ツテ居ルカ、農民ノ最下級ニ於テハ農繁季ニナルト、持分ガナクナツテ買ハナケレバナラヌ者モ相當ニ多イ、其ノ方面ニナルト殆ド活動スルコトガ出來ヌト云フ狀態ニ立チ至リマス、ソコデ此ノ制限ハ今ノ急場ニ對シテ何カ對策ガナケレバ、労力ノ關係ノ農地擴張ト云フコトヲ睨合ハセテ其ノ對策ニ缺陷アリト思フ、其ノ急場ヲ如何ニナサルカト云フコトヲ御伺ヒシタ

モノハ堪へ切レナイ程度ト思ヒマス、同ジ
副食物其ノ他雜穀等ノ取混ゼヲ豫想シテ居
ラレルト致シマシテ兎ニ角根本ヲ成ス所
ノ飯米ノ量定ト云フモノニ對シテハ、都會
ト農村デハ相當ノ幅ガアルト考ヘテ居リマ
ス、其ノ點ヲ今カラ御研究ナサラスト、是
ハ春ニナレバ直グ活動ニ着手スル農民ニ對
シテ、第一精神上ノ不安ガ大キイノデアリ
マス、其ノ點ノ御研究ガ出來テ居ルノデア

至ルト思フノデアリマス、隨テ如何ニ牧野法ニ依ツテ保護サレテ居リマシテモ、部落ニ近接シテ居ツテ、食糧生産ニ適地デアル所ハ、ドンヽ其ノ方ニ振向ケラレルト云フコトノ状況ニ、自然是ハ急激ナ進歩ヲスルダラウト私ハ想像スルノデアリマス、サウナリマスト畜産方面デハ、從來ノ放牧地ヲ特ニ耕作地帶ニ不適當ナ山岳地帶ニ求メナケレバナラヌト思フノデアリマス、隨テ

ニ、自給肥料トシテノ厩肥ノ確保ニ十分骨ヲ折
モアリマシタヤウニ、私共十分ニ努メテ参リタ
イト思ヒマス、勞力ト榮養ノ問題ハ非常ニ御
尤モナ御注意デ、吾々モ之ヲ考ヘナイデハ
ナイノデアリマス、又具體的ニ之ニ伴ツテ
ドノ位ノ食糧ヲ増給スルト云フ細カイコト
ハ考ヘテ居リマセヌガ、併シ農村全體トシテ
榮養食品トシテ増給スルト云フコトハ、實行
ニハ至リマセヌデシタ、嘗テ其ノ供給ト云フ
コトモ考ヘラレマシタシ、現在蛋白質資源ヲ
供給スルコトニ付テハ、養鶏ノ分散飼育ヲ
ヤル計畫ヲ考ヘタリ、又山羊ノ飼育ニ依ツ
テ農村ニ榮養ヲ供給スルト云フコトヲ考ヘ

○岸政府委員　是ハドウ云フ御事情カ分リ
マセヌガ、都市カラ云ヘバ勿論米モアリ、
麥モアリ、又地方ニ依ツテハ甘諸、馬鈴薯
等ノ増産モヤツテ居リマスガ、甘諸、馬鈴
薯ニ付テハ自家用食糧トシテ、豫定付ケテ
確保セラレテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、
サウ云フモノヲ繫ギ合ハセテ行キマスナラ
バ、農村自體ニ付テハ相當ノ量ガ廻ルノデハ
ナイカ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、
併シ是等ノモノガ量的ニ足リナイ問題ニア
ツテ困難スルト云フコトニナレバ、事業ノ
施行上又ハ事業ノ施行者トシテモ研究シテ
行カナケレバナラヌ、ソレハ場合ニ應ジテ
對策ヲ考ヘテ居リマス

○岸政府委員　此ノ問題ハ一寸私取扱ヒ兼
ニマスガ、是ハ食糧管理局長カラ別ノ機會
ニ……

○小笠原(八)委員　ソレデハ後デ食糧管理
局長ノ方カラ御調ベニナツテ御答辯ヲ願ヒ
マス、ソレデハ山林局長サンノ方カラ伺ヒ
マス、食糧ノ解決問題ニ依ツテ、國策上農
地ノ開發、空閑地ノ利用等ニ依リマシテ此
ノ急場ヲ救フト云フコトハ、急速ニ斷行シ
ナケレバナラヌ問題ダト私ハ思フノデアリ
マス、是ガ爲ニ先ヅ家畜ノ飼料等ハ、ドウ
シテモ食糧ノ爲ニ押サレル状況ニ立至ルト
思フノデアリマス、之ニ對シマシテハドウ

リマスカラ、ソレ等ノ開放ニ俟タナケレバ、ナラスト思フノデアリマスガ、愈々斯ウ云フ風ニ農地ノ開拓營團等ノ大キナ計畫ガ出來マシテ、愈々農地ノ擴張ニ乘出し、農閑地ノ利用ニ乗出スト、ソレト對蹠的ニ山林局ニ於キマシテモ、ヤハリ此ノ畜產ノ方面ニ對スル放牧地ト云フ方面ニ、對策上開放ノ準備ガナケレバ、ナラスト思フ、ソレ等ノコトハ畜產局或ハ馬政局ノ方ト御協議ノ上何カ御對策ガ樹ツテ居ラレルデアリマセウカ、又從來ノ儘ニシテソレダケハ置イテ、時機ガ來タナラバ、何ト考へテ行クト云フヤウナ、ノンビリシタヤウナ御考ヘデ居ラレル

テセウカ 其ノ方面ノ對策かアレハ承りタ
イト思ヒマス

○井出政府委員 只今小笠原サンカラノ御尋ネデゴザイマスルガ、食糧増産問題ニ伴ツテ民有ノ從來ノ放牧地、采草地等が農地

化シテ參リマスルニ伴ツテ、畜產ノ飼料資
源ヲ得ル爲ニ順次山奥ノ國有林内ニ是等ノ

代リノ放牧地、採草地等ヲ求メルヤウニナ
ツテ參ルガ、之ニ對シテ何等カ良イ對策ヲ持

ツテ居ルカト云フ御尋ネノ御趣旨ノヤウニ
拜聽致シマシタ、之ニ付キマシテハ固ヨリ

國有林方面ノ行政ト致シマシテモ期極大
事態ニ對處スル爲ニ出來得ル限り必要ナ畜
產上ノ故攻采直地ヲ國有林内ニ於テ開放ス

今後一層國有林ノ本來ノ經營、或ハ國土保
ルコトニハ、從來モヤツテ參リマシタガ、

安等ノ點ニ支障ノナイ限り、積極的ニ是等ノ點ニ付テノ考慮ヲ致シテ參リタイト、斯

様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ馬ニ關シマシテハ御承知ノヤウニ、一昨年來國有

林内ノ放牧ノ適地ヲ相當積極的ニ開放致ス
コトニ考ヘマシテ、關係ノ營林局ト關係ノ
系樹ノ大問題、通也開ミテ、シテ

着馬ノ増產ニ必要ナル故故地トソテ開拓ヲ
テ、其ノ結果ニ依リマシテ、此ノ適地ヲ着

致シテ參ルコトニ考ヘテ居リマス、之ニ必
要ナ改良事業ヲ致シマシテ、支障木其ノ他

ヲ伐採スルト云フ風ナコトナドモ致シテ、漸次開放スルヤウニ努メテ居ル譯デアリマ

ス、是等ノ點ニ付キマシテモ地元方面ノ要
求ヲ能ク聽キマシテ、本當ニ之ヲ必要トス

ル方面ニ對シマシテハ、成ルベク速カニ其ノ開放ヲ致スヤウニ努メテ參リタイ、斯様

○小笠原(八)委員 御説明デ能ク分リマシ

タガ、國土保安上支障ノナイ限り御開放ナ
サルト云フ御詰デアリマス、ソコガ中々面
倒ナ所デ、見方ニ依ツテハ、山林地帶モ國
土保安上何處モ皆必要ニ相違ナイノデアリ
マスルガ、併シナガラ私ハ今窮迫シタ食糧
問題解決ノ爲ノ對策ヲ今伺ツタノデアリマ
スガ、是ハ此ノ大キナ對策ガ出ヤウトスル
以前ニ、兩三年前ノ牧野法制定當時モ問題
ニナリマシテ、大分大キク開放サレタ牧野
ニ付テ伺ツタノデアリマスガ、ソレノ實施ニ
付テハマダ三年ニナリマシテモ牧野等ニモ
ナラズ、其ノ儘ニシテ置ク所ガ澤山アルノ
デアリマス、ノミナラズ是ハ私ガ直接當ツ
タゴトデアリマスガ、面積ガ相當ニ廣汎ニ
瓦ツタ所ノ開放ヲスルト云フコトノ御言葉
ハ得マシタケレドモ、所ガ大森林地帶デ、
中々木ヲ欲シイ爲ニ開放ヲ望ンダノグラウ
ナドト言ハレマシテ、甚ダ奇怪ニ感ジタ、山
林局長ガサウ言フノデス、木ヲ欲シイ爲ニ
牧野ノ開放ヲ欲シタノグラウト云フ話ハ何
タル失禮極マル話グラウ、私共ノ開放ヲ望
ンダト云フノハ、木ガアル處ト云フ條件ヲ
付ケタノデハナイ、何處デモ宜イカラ、各
組合、各縣ノ聯合會ニ便利ナ處ノ開放ヲ願
ウタ譯デス、山林局ノ方デ調査ヲシテ開放
シタ、サウシテ其處ニ偶、木ガアルノデ、木
ガ欲シイ爲ニ君達ハ開放ヲ希望シタノグラ
ウトハ何タルコトデアル、サウシテ道路ヲ
付ケルバカリニ十万圓モ掛ケルノデアルガ、
サウ云フモノヲ願ツタノハ、是ハ木材ガ目
的グラウト云フヤウナコトヲ言ツテ、未ダ
ニ解決ヲ付ケテ居ナイ、サウシテ今度ハ山
林局デ其ノ木材ヲ伐採スルノニドレ程掛ル

カト云フト、十年掛ル、其ノ後ニ何トカシヨウトハ何タル話デスカ、十年後ニ之ヲ開放シタノデハ、馬產計畫ト云フモノハドウナルカ、ソンナコトデ、アナタ方ハ之ヲ開放スル目的デ調査ナサレタノデアラウカ、私等ハ奇怪ニ考ヘテ居ル、ソレデハ牛馬ノ爲ノ放牧地ノ解決デハナイノデアリマス、是ハ中々容易ナ問題デハナイト思ヒマス、色々御都合モアラレルデセウケレドモ、其ノ都合ノ方ヲシツカリ局自體ガソレト對照シテ、國土保安ノ上支障ノナイト云フコトニ依ツテ決定シタモノヲ、決定シタ後ニ於テ、尙ホ木材關係ガ十年モ掛ルト云フコトト云フ名稱ヲ付ケテ、實際ハ從事不能ニ陷ラシメテモ差支ヘナイト云フヤウナ申譯的言ハレタ爲ニ、マア鬼ニ角名稱ダケハ開放ナ開放デアルカドウカ分ラナイノデアリマス、サウ云フノハ全國ニ澤山アルデセウ、ダカラ此ノ山林局ノ方カラ御出シニナツタ、私ノ要求シタ表ヲ見マスルト、既ニ契約済ノヤウナコトニモ表ガ出來テ居リマスガ、アレハ實際ニ當ツテ見ルトマグ契約ニナツテ居リマセヌ、サウ云フノハ澤山アルノデアリマスガ、是ハ一體アナタ方ノ調査ト實際トハドウ云フコトニナツテ居ルカ、其ノ點ガ私等ニハ分リマセヌ、ソレガ若シ御分リニナルナラバ明確ニシテ戴キタイ

マシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、放牧適地トシテ調査シ、開放スルコトニナツテ居リマスル部分ニ付キマシテハ、出來ルダケ速カニ地元ノ之ヲ利用スル人等ノ申出モ伺ヒマシテ、之ニ對シテ早ク開放ノ出來ルヤウニ致シテ參ル積リデアリマス、整理伐ヲ致シマシテ完全ナ牧野ニ致シマスニハ、相當ノ年限ガ掛ルヤウナ場合ガ假ニアルトトハ、各關係ノ營林局ニモ申シテ居ルノデアリマシテ、最近モ再々是等ノ點ニ付キマズ兎ニ角其處ノ區域ニ付テ放牧セシメルト云フ風ナ措置モ速カニ執ルヤウニト云フコトハ、馬ノ放牧適地トシテ決マツタ部分ニ付テハ地元ノ方面ニモ話ラシテ、成ベク早ク之ヲ利用ノ出來ルヤウニ努メロト云フシテハ、馬ノ放牧適地トシテ決マツタ部分ニ付テハ地元ノ方面ニモ話ラシテ、成ベク希望ガマダナイト云フ風ナ場所モアルヤウデアリマス、又希望ノアリマス所ニ付キマシテハ、速カニソレゞ使用ノ方面ヲ許容致シテ居ルノデアリマシテ、ソレガ順次今後普及シテ參ルヤウニ、此ノ上トモ一層努メテ參ル積リデ居リマス

デアリマシテ、中々アナタ方ノ方針通り實際接ニ取引スル方デハ圓満ニ行ツテ居ナイヤウニ思ハレル、而モ私ノ所ノ組合ナドハ相當大キナ組合ナンデアリマスガ、軍馬モ日本ノ中デハ比例的ニ一番多ク生産シテ居ル場所デアリマス、斯ウ云フ所ヲ開放シテ貰ヒタイト云フ私等ノ願ヲ容レテ、共同調査ヲシテスツカリ出來タモノヲ、木ガ澤山アツテ困ルト云フノデ、未ダニ放牧ダケセゼテ吳レト言ツテモ、其ノ契約モ澁ツテ居ルト云フ譯デアル、表ヲ見ルト、其ノ土地ハ全部契約済ノヤウニ表ニハ表ハレテ居ルノデアリマス、ドウモ其ノ點ガ私ハ未ダニ疑問デアリマス、現在モサウデアリマスガ、實際必要ナノカ、木ガナケレバ要ラヌノカト言ハレタ、私ハ實ニ意外ニ感ジテ居ル、其ノ點ヲ御尋ネ致シタイ、是ハ私ノ所ダケデナク、全國的ニ相當アル、今一體木材ノ需要ガ多クナツカ爲ニ、アア云フ大森林地帶ヲ一旦開放ヲ決メテ見タ、所ガ木材缺乏ニ依ツテ惜シクナツテ、向フノ方デ理窟ヲ付ケテ、契約不能ニ陥ルニ至ラシメル方便トシテ、アア云フコトヲ言ツテ居ルノデハナイカト私等ハ逆ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、能ク其ノ邊ヲ御調べヲ願ヒタイ

牛ノ方ニ對シテハ放牧地ノ開放ヲ考ヘテ居ラレヌノデアルカ、其ノ點ヲ簡單ニ御答へヲ願ヒタイト思ヒマス
○井出政府委員 牛ノ爲ノ放牧地ニ付キマシテモ、馬ト略、同様ニ、必要ナル適地ニ付キマシテハ、極力地元ノ利用ノ爲ニ、之ヲ開放スルヤウニ努メテ參リタイ方針デ居リマスガ、馬ノ牧野放牧地開放ノヤウニ、只今直チニ大規模ノ適地調査ヲ致シマスカドウカニ付キマシテハ、尙ホ今後能ク事情ヲ見マシテ、其ノ必要ガアリマスル場合ニハ出來ルダケ地元方面ノ希望ニ副フヤウニ努メテ參リタイ積リデ居リマス、ソレカラ先程ノ馬運用ノ放牧適地ヲ調査致シテ開放スルコトニ決定致シマシタ場所ニ付キマシテハ、重ネテ此ノ席ニ於キマシテは速カニ地元ノ要望ニ應ジマシテ開放スル積リデアリマンシテ、開放ヲ取止メルト云フヤウナ意思ハ持ツテ居リマセヌ、又速カニ之ヲ開放シテ行クコトニ付キマシテハ、此ノ上トモ關係ノ營林局署ノ方面ニ注意ヲ致ス積リデアリマス

○小笠原(八)委員 畜産局ト馬政局ノ間にテ、牛馬ノ混同放牧ヲ區別スルト云フ方針ニ基イテ、山林局ノ方面デモ馬トシテノ放牧地ヲ開放サレタヤウデアリマス、ソコデ問題ガ起キルノハ從來放牧シテ居ル限定期地、或ハ放牧地トシテ指定シテ居ル關係ノモノト、今度ノ開放地ト隣接シテ居ル所ガ全國ニ澤山アルノデアリマス、所ガ何千町歩トカ何百町歩トカ、大キナ廣汎ニ瓦ル所ヲ、更ニ開放シタ所ト其處ノ區劃ヲスル境界デアリマス、此ノ境界ヲ嚴ニシナケレバ折角馬ト牛トヲ區別シタ所云フ意味ヲナサナクナル、現在馬ノ豫定地デアル場所デアル

ニモ拘ラズ、相當ニ牛ガ入ツテ居ル、是ハ全國的ニ何處デモサウデアル、ソコデ此ノ境界ヲスル爲ニハ大キナ計畫ノ牧柵トカ、或ハ土壘トカ云フモノヲ必要トスルデアリマセウガ、山岳地帶ニハ土壘ガ不可能デアリマス、ドウンテモ牧柵ニ依ラナケレバナラヌノデアリマス、其ノ場合ニハ山岳地帶ニ現在アル木材ヲ利用シナケレバナラヌ、斯ウ云フ利用方面トカ、牧舍ヲ建設スル資材トカ、其ノ他色々牧畜ノ施設等ニ木材ヲ要スルノデアリマスガ、斯ウ云フモノニ對シテハ速カニ拂下ゲヨシテ、放牧地ノ附屬設備ヲ完備セシメルヤウニ進メテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハ特別ノ便宜ヲ簡易ニ圖ツテ、其ノ拂下ゲラナサルト云フコトデナケレバナラヌ、ソレガ營林局カラ木材ノ拂下ゲラ受ケルト云フコトニナルト、ドンナ詰ラヌ木一本デモ一年位掛ル、サウスルト一年遅レル、其ノ設備ガナケレバ放牧地ヲ如何ニ開放シテモ、トテモ實際上ニ執り行フトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、是ハ簡易ニ拂下ゲヨシテ解決スレバ宜イト思フノデアリマス、サウ云フコトハ何カ事務的ニ大キナ支障デモアラレルノデアリマセウカ、是ハ地元營林署デ解決出来ルト思フノデアリマスガ……

○小笠原(八)委員 特賣ノ出來ルト云フコトハ私モ分ツテ居リマス、其ノ手續ガ面倒デ一年位掛ル、早イノデ六箇月掛ルノデ、放牧期間ガナクナル、三月位ニヤラウト云フノデ拂下ダヲ願ツテ行ツタ所ガ、ソレガ秋頃ニナルト一年放牧ガ出來ナクナル、ソレガ一番困ル、其ノ點ハ中々人手モ不足デアリマセウガ、アア云フ澤山ノ木材ノアル所ハ速カニ開放シテモ一向差支ヘナイヤウニ思フノデアリマス、ソレガ中々手續ガ面倒ダト云フ點ガアル、營林署アタリモ十里モ十五里モアル所ガ澤山アルノデアリマス、如何ニ近イ所デモ三里、四里モアルノデアリマスカラ、出張等ニ對スル手續等モ色々アルノデアリマセウガ、何カ是ハ一箇月カ二箇月ノ間ニ解決ガ出來ルト云フ方法ニ御手配ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレダケハ希望申上ゲテ置キマス

○村上委員長 小笠原君ニ申上ゲマス、食糧管理局長官ハ貴族院ノ方ニ出席テ居リマスノデ、後刻出ラレタ時ニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ馬政局長官ハ御病氣デ出ラレマセヌ、次長ガ出席サレル筈デアルガ、今連絡中デス、坪山君モ馬政局當局ニ對スル質問ハ出ラレタ時ニシテ戴クヤウニ希望致シマス——次ハ吉植君

○吉植委員 私モ食糧管理局長官ニ質問シタイノデアリマスガ、ソレハ廻辺シニ致シマス、此ノ農地開發ニ關シマシテハ此ノ間ノ政府當局ノ御答辯ニ依リマシテ、眞先ニ先ツ效果的ノモノカラヤツテ行ク、斯ウ云フコトヲ承ツタノデアリマスガ、最モ效果的ノモノト云フコトニナリマスト、新タニ開墾スルモノダケニ此ノ主義ガ行ハレルノ

デハナクシテ、食糧確保ノ全面的ニ互ツテ此ノ方針ト行カレルコトハ勿論ニアリマス。大デアツテ、簡易ニ迅速ニ出來マスコトハモ早キ竣功ニ依リマシテ、只今マデ旱害ヲ被ツテ居ツタヤウナ地帶ニ、其ノ災厄カラ免レルト云フ方法ヲ執ルコトガ一番早イノデアリマシテ、是は昨年一昨年ト引續キマシテ全國ニ互ツテ此ノ旱害ノ爲ニ、當然農作デアルベキ田面ガ米一粒モ生産サレズシテ終ツテ居リマスモノガ、相當多數アルコトハ御承知ノ通リデアリマス、承リマスト、例ヘバ斯様ナ方面カラノ政府ニ對スル要望ガアリマシテモ、其ノ縣ニ於テ未ダ設計ガ完備シテ居ナイト云フヤウナコトカラ、是ハ來年廻ハシニナルト云フヤウナ所モアルラシイノデアリマスガ、斯様ナモノハ一日モ早ク農林省ノ方カラ縣ニ督促促スマシテ、順序、形式的ノ手續ニ拘泥シマセヌデ、食糧ヲ一日モ早ク確保スル途ニ行クト云フ、點カラ、何カ特別ノ斯ウ云フ點ニ對シテ處置ヲセラレテ、サウシテ本年ハドンナニ旱害如何デゴザイマセウ。

○周東政府委員 御話ノ點御尤モデアリマス、此ノ度ノ計畫ニ於キマシテモ、豫算ノ年度割支出ノ額ト其ノ年度ニ於ケル着手面積ト睨合ハセデ、而シテソレヲ具體的ニ實施致シマス場所ハ、最モ效果的デ最モ急要スル場所ヲ第一ニ選ビマス、隨テ其ノ際ニ於テ必要ト認メマス場所ニ於キマシテハ、必ズシモ縣ガ計畫ナリ調査ヲヤツテ來ルノヲ荏苒待ツテ居ル譯デハアリマセヌ、農林省ニ於キマシテモ積極的ニ計畫ヲ進メテ、此ノ箇所ニ實行スルモノハ實行スルヤウニ依ツテ、合計五千町歩ノ完全水田考ヘマス、サウシマスト開墾ヨリモ一番重用排水幹線水路ト云フヤウナモノノ、一日モ早キ竣功ニ依リマシテ、只今マデ旱害ヲ被ツテ居ツタヤウナ地帶ニ、其ノ災厄カラ免レルト云フ方法ヲ執ルコトガ一番早イノデアリマシテ、是は昨年一昨年ト引續キマシテ全國ニ互ツテ此ノ旱害ノ爲ニ、當然農作デアルベキ田面ガ米一粒モ生産サレズシテ終ツテ居リマスモノガ、相當多數アルコトハ御承知ノ通リデアリマス、承リマスト、例ヘバ斯様ナ方面カラノ政府ニ對スル要望ガアリマシテモ、其ノ縣ニ於テ未ダ設計ガ完備シテ居ナイト云フヤウナコトカラ、是ハ來年廻ハシニナルト云フヤウナ所モアルラシイノデアリマスガ、斯様ナモノハ一日モ早ク農林省ノ方カラ縣ニ督促促スマシテ、順序、形式的ノ手續ニ拘泥シマセヌデ、食糧ヲ一日モ早ク確保スル途ニ行クト云フ、點カラ、何カ特別ノ斯ウ云フ點ニ對シテ處置ヲセラレテ、サウシテ本年ハドンナニ旱害如何デゴザイマセウ。

○岸政府委員 只今ノ御話ノヤウナニ毛作如何デアリマスカ

省ニ於キマシテモ積極的ニ計畫ヲ進メテ、此ノ箇所ニ實行スルモノハ實行スルヤウニ依ツテ、合計五千町歩ノ完全水田考ヘマス、サウシマスト開墾ヨリモ一番重用排水幹線水路ト云フヤウナモノノ、一日モ早キ竣功ニ依リマシテ、只今マデ旱害ヲ被ツテ居ツタヤウナ地帶ニ、其ノ災厄カラ免レルト云フ方法ヲ執ルコトガ一番早イノデアリマシテ、是は昨年一昨年ト引續キマシテ全國ニ互ツテ此ノ旱害ノ爲ニ、當然農作デアルベキ田面ガ米一粒モ生産サレズシテ終ツテ居リマスモノガ、相當多數アルコトハ御承知ノ通リデアリマス、承リマスト、例ヘバ斯様ナ方面カラノ政府ニ對スル要望ガアリマシテモ、其ノ縣ニ於テ未ダ設計ガ完備シテ居ナイト云フヤウナコトカラ、是ハ來年廻ハシニナルト云フヤウナ所モアルラシイノデアリマスガ、斯様ナモノハ一日モ早ク農林省ノ方カラ縣ニ督促促スマシテ、順序、形式的ノ手續ニ拘泥シマセヌデ、食糧ヲ一日モ早ク確保スル途ニ行クト云フ、點カラ、何カ特別ノ斯ウ云フ點ニ對シテ處置ヲセラレテ、サウシテ本年ハドンナニ旱害如何デゴザイマセウ。

○吉植委員 當局ノ御答辯ヲ承リマシテ安心致シマシタガ、ドウカ一ツ是非積極的ニヤツテ戴キタウ、ゴザイマス、ソレカラモウツ御伺ヒ致シタインハ、只今マデノ用排水幹線水路ト云フヤウナモノガ出來マシテ、其ノ出來マシタ所ニ水田ト畠ガ交錯シテ居ルヤウナ狀態ノ所ガアリマス、千葉縣ノ小見川ヲ中心ト致シマシタ耕地整理ノ如ク、之ヲ畠ヲ崩シテ全部均一ノ田面トシマシテ、二毛作地ニシテヤツテ居リマスガ、效果ヲ多大ニ舉ゲテ居ル例モアリマスノデ、此ノ事業ヲ何處マデモ積極的ニ日本全國ニ進ヌテ行クト云フコトニナリマスト、今マノ設備ニ依リマスト、在來ノ揚水程度ヲ一尺五寸乃至二尺高ヌレバ宜シイ譯デアリマスシ、新設ノ地區ニ於キマシテハ、初メカラ一尺五寸乃至二尺揚程ヲ高メルト云フコトデ済ムノデアリマスカラ、從來農林省ノ指導方針ニモ此ノ點ハ織込マレテアルヤウデアリマスガ、是モ消極的デ、當業者ノ方カラ出願ラシテ來テ初メテ許可ヲシテ助成金ヲ交付スルト云フ譯デアリマス、是ハ日本全國的ニ見マシテモ趣旨ガ徹底シテ居リマセヌシ、又實際先進地區ヲ視察シテ、成程尤モダト云フヤウナ實感ヲ抱イテ居ルマデニ參ツテ居リマセヌ、ソコデ之ヲ農林省ノ方カラ積極的ニ全國ニ向ツテ叫ビ掛ケルヤウニシテ、食糧增産ニ進ンデ戴キタイノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御意見ハ如何デアリマスカ

十分考ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、無論今度ノ計畫ニ付テモニ毛作ガ出來ル所デ、ソレニ對シテ工事ヲシナケレバ今進メテ行ク積リデアリマス。

○吉植委員 當局ノ御答辯ヲ承リマシテ安心致シマシタガ、ドウカ一ツ是非積極的ニヤツテ戴キタウ、ゴザイマス、ソレカラモウツ御伺ヒ致シタインハ、只今マデノ用排水幹線水路ト云フヤウナモノガ出來マシテ、其ノ出來マシタ所ニ水田ト畠ガ交錯シテ居ルヤウナ狀態ノ所ガアリマス、千葉縣ノ小見川ヲ中心ト致シマシタ耕地整理ノ如ク、之ヲ畠ヲ崩シテ全部均一ノ田面トシマシテ、二毛作地ニシテヤツテ居リマスガ、效果ヲ多大ニ舉ゲテ居ル例モアリマスノデ、此ノ事業ヲ何處マデモ積極的ニ日本全國ニ進ヌテ行クト云フコトニナリマスト、今マノ設備ニ依リマスト、在來ノ揚水程度ヲ一尺五寸乃至二尺高ヌレバ宜シイ譯デアリマスシ、新設ノ地區ニ於キマシテハ、初メカラ一尺五寸乃至二尺揚程ヲ高メルト云フコトデ済ムノデアリマスカラ、從來農林省ノ指導方針ニモ此ノ點ハ織込マレテアルヤウデアリマスガ、是モ消極的デ、當業者ノ方カラ出願ラシテ來テ初メテ許可ヲシテ助成金ヲ交付スルト云フ譯デアリマス、是ハ日本全國的ニ見マシテモ趣旨ガ徹底シテ居リマセヌシ、又實際先進地區ヲ視察シテ、成程尤モダト云フヤウナ實感ヲ抱イテ居ルヤウニシテ、食糧增産ニ進ンデ戴キタイノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御意見ハ如何デアリマスカ

○吉植委員 當局ノ御答辯ヲ承リマスノデ、ソレニ對シテ工事ヲシナケレバ今進メテ行ク積リデアリマス。

○吉植委員 當局ノ御答辯ヲ承リマシテ安心致シマシタガ、ドウカ一ツ是非積極的ニヤツテ戴キタウ、ゴザイマス、ソレカラモウツ御伺ヒ致シタインハ、只今マデノ用排水幹線水路ト云フヤウナモノガ出來マシテ、其ノ出來マシタ所ニ水田ト畠ガ交錯シテ居ルヤウナ狀態ノ所ガアリマス、千葉縣ノ小見川ヲ中心ト致シマシタ耕地整理ノ如ク、之ヲ畠ヲ崩シテ全部均一ノ田面トシマシテ、二毛作地ニシテヤツテ居リマスガ、效果ヲ多大ニ舉ゲテ居ル例モアリマスノデ、此ノ事業ヲ何處マデモ積極的ニ日本全國ニ進ヌテ行クト云フコトニナリマスト、今マノ設備ニ依リマスト、在來ノ揚水程度ヲ一尺五寸乃至二尺高ヌレバ宜シイ譯デアリマスシ、新設ノ地區ニ於キマシテハ、初メカラ一尺五寸乃至二尺揚程ヲ高メルト云フコトデ済ムノデアリマスカラ、從來農林省ノ指導方針ニモ此ノ點ハ織込マレテアルヤウデアリマスガ、是モ消極的デ、當業者ノ方カラ出願ラシテ來テ初メテ許可ヲシテ助成金ヲ交付スルト云フ譯デアリマス、是ハ日本全國的ニ見マシテモ趣旨ガ徹底シテ居リマセヌシ、又實際先進地區ヲ視察シテ、成程尤モダト云フヤウナ實感ヲ抱イテ居ルヤウニシテ、食糧増産ニ進ンデ戴キタイノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御意見ハ如何デアリマスカ

○岸政府委員 只今ノ御話ノヤウナニ毛作如何デアリマスカ

省ニ於キマシテモ積極的ニ計畫ヲ進メテ、此ノ箇所ニ實行スルモノハ實行スルヤウニ依ツテ、合計五千町歩ノ完全水田考ヘマス、サウシマスト開墾ヨリモ一度、其ノ箇所ニ實行スル所ニ於キマシテ工事ヲシナケレバ今進メテ行ク積リデアリマス。

○吉植委員 當局ノ御答辯ヲ承リマシテ安心致シマシタガ、ドウカ一ツ是非積極的ニヤツテ戴キタウ、ゴザイマス、ソレカラモウツ御伺ヒ致シタインハ、只今マデノ用排水幹線水路ト云フヤウナモノガ出來マシテ、其ノ出來マシタ所ニ水田ト畠ガ交錯シテ居ルヤウナ狀態ノ所ガアリマス、千葉縣ノ小見川ヲ中心ト致シマシタ耕地整理ノ如ク、之ヲ畠ヲ崩シテ全部均一ノ田面トシマシテ、二毛作地ニシテヤツテ居リマスガ、效果ヲ多大ニ舉ゲテ居ル例モアリマスノデ、此ノ事業ヲ何處マデモ積極的ニ日本全國ニ進ヌテ行クト云フコトニナリマスト、今マノ設備ニ依リマスト、在來ノ揚水程度ヲ一尺五寸乃至二尺高ヌレバ宜シイ譯デアリマスシ、新設ノ地區ニ於キマシテハ、初メカラ一尺五寸乃至二尺揚程ヲ高メルト云フコトデ済ムノデアリマスカラ、從來農林省ノ指導方針ニモ此ノ點ハ織込マレテアルヤウデアリマスガ、是モ消極的デ、當業者ノ方カラ出願ラシテ來テ初メテ許可ヲシテ助成金ヲ交付スルト云フ譯デアリマス、是ハ日本全國的ニ見マシテモ趣旨ガ徹底シテ居リマセヌシ、又實際先進地區ヲ視察シテ、成程尤モダト云フヤウナ實感ヲ抱イテ居ルヤウニシテ、食糧増産ニ進ンデ戴キタイノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御意見ハ如何デアリマスカ

○吉植委員 私ガ今御尋ねシマシタノハ營團デ國家ガヤツテ戴ケバ之ニ越シタコトガナイノデスガ、所ガ他ノ方ガマダ簡単ニ出来ル、政府ガ申サレタヤウニ迅速ニ效果的ニヤレル所カラヤルト云フコトニナリマス

此ノ營團ノ事業ニハサウ云フコトハナイヤ
ウニ承ツテ居リマスガ、沼ノ水ノ吐ケロニ
持ツテ行ツテ排水機ヲ据付ケテ、其ノ沼ノ
周圍ノ洪水ヲ絶ツト云フ一ツノ事業ヲ國家
ガヤツテ下サルト、民間デ今度ハヤル、今
日民間デハソレダケノ力ガナカニカラヤレナ
イガ、サウ云フ設備ヲヤツテ貰フト民間デ
ドンヽヤリマスカラ、ソレニ依ツテ食糧
確保ト云フコトニ一步前進スルコトニナル、
サウ云フ點ニ對シテ政府ハ積極的ニヤルト
云フ御意見ガアルカドウカ、其ノ點ヲモウ
一度伺ヒタ

○岸政府委員 特定ノ地域デドウト云フ
コトハ中々一寸難カシイ問題ニナリマシテ、
直グ判断ヲスルト云フコトニハナラナイト
思ヒマスケレドモ、御示シノヤウナ面積ノ
相當廣イ所デアリマスシ、多分彼處ハ内務
省ノ方ノ關係ノ仕事モ行ハレテ居ルヤウナ
豫定トシテ調査シテ見ヨウト思ツテ居リマ
モノデアリマシテ、年ニ依ツテ豊凶ノ差ガ
甚ダシク達フノデアリマス、昭和十三年ハ
ハ僅カ八斗二升四合、昭和九年ハ七斗五升、
斯ウ云フ風デアリマシテ、之ヲ小麥ノ常ニ
一石二斗三升乃至一石四斗、大麥ノ一石九斗
カラニ石穫レテ居リマスノニ比ベマンテ、

○吉植委員 農林統計ヲ見マスト、陸稻ガ
ドウモ反當收穫量ガ非常ニ少イノデアリマ
ス、陸稻、小麥、大麥、此ノ三ツヲ比べテ
見マンシテモ最下位ニアリマシテ、其ノ上ニ
御承知ノ通リ是ハ旱害ニ對シテ非常ニ弱イ
モノデアリマシテ、年ニ依ツテ豊凶ノ差ガ
甚ダシク達フノデアリマスガ、其ノ前年
一石一斗四升穫レテ居リマスガ、其ノ前年
ハ僅カ八斗二升四合、昭和九年ハ七斗五升、
斯ウ云フ風デアリマシテ、之ヲ小麥ノ常ニ
一石二斗三升乃至一石四斗、大麥ノ一石九斗
カラニ石穫レテ居リマスノニ比ベマンテ、

○吉植委員 先般御發表ニナリマシタ十箇
年計畫ノ基本數字ハ、米ニ於テ七千百万石
トナツテ居リマス、是ハ此ノ間ノ御答辯ニ
依リマシテ大體推察出來ルノデアリマスガ、
是ハ本年度ノ增產計畫ガ七千百四十四万石
カニ承ツテ居マスガ、其ノ增產計畫ノ數字

非常ニ差ガ激シノデアリマス、ソコデ只
今ハ米穀事情ガ逼迫致シテ居リマシテ、一
粒デモ餘計食糧ヲ穫ラケレバナラナイ時
ニ、斯様ニ旱害ガ來ルト七斗デアリ八斗デ
アルト云フヤウナ收穫量ヨリナイ所ノ陸稻
ヲ、此ノ儘從來ノ作付反別ヲ保有セシメテ
行キマスコトハ策ノ得タルモノデナイヤウ
ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ陸稻ヲ安全
ナル、雨ガ降リマシテモ照リマシテモ、ソ
レ程差ガ激シクナイ、又反當收穫量モ多イ
作物ニ轉換セシメルト云フヤウナコトニ付
テ、何カ御考ヘハアリマセヌデセウカ

○岸政府委員 陸稻ノ栽培ニ付テ、旱害ニ
弱イモノデアルカラ之ヲ他ニ轉ジサセル考
ヘハナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ
是モ年々ノ色々事情モアラウト思ヒマス、
又米ニ執着ノ強イ農家デアレバ、陸稻デアツ
テモ米デ食ベラレルト云フコトデアレバ、心
配ラシテヤラナケレバナラナイ、是等ニ付
キマシテハ只今モサウ云フ旱害ニ堪ヘ得ル
ヤウナ品種ヲ作ツテ行クコトニ努力シテ居
ル譯デアリマス、全國五箇所ニ新品種ノ試
驗場ヲ設置シテ、サウシテ優良品種ノ育成
ニ努メテ居リマス、之ニ付キマシテ米ト同
様ニ農林何號ト云フ銘柄ヲ打ツタ品種モ出
來テ居リマスカラ、サウ云フ品種ヲ作ツテ
行ツテ、サウ云フモノノ要求セラレテ居ル
所ニ於テハ收穫ノ舉ルヤウニ努メテ行キタ
イト考ヘテ居リマス

○吉植委員 先般御發表ニナリマシタ十箇
年計畫ノ基本數字ハ、米ニ於テ七千百万石
トナツテ居リマス、是ハ此ノ間ノ御答辯ニ
依リマシテ大體推察出來ルノデアリマスガ、
是ハ本年度ノ增產計畫ガ七千百四十四万石
カニ承ツテ居マスガ、其ノ增產計畫ノ數字

ヲ基本トシテ七千百万石ト云フコトニ決メ
タモノト存ジマスガ、其ノ通リデアリマセ
ウカ

ハ、十五年モ此ノ目標デヤツテ、是ハ色々
他ノ事情デ實施出來ナカツタノデアリマス
ガ、其ノ目標ニ達スルヤウニ本年モ計畫ヲ
立テヤツテ居リマスノデ、大體其ノ數字
ト考ヘテ居リマス

○吉植委員 サウシマスト、十五年度ノ増
産計畫ハ、基本ヲ何千万石ニ置イテ樹テラ
レタノデアリマスカ、其ノ基本ノ何千万石
ト云フモノハ過去何年間ノ平均數字デアリ
マセウカ、其ノ點ヲ承リタイ

○周東政府委員 一昨年ノ目標ハ、大體過
去十七、八箇年間ノ實收高ノ平均ヲ見マシ
テ、ソレニ對シテ耕種改善基準トカ、或ハ病
虫害ノ驅除豫防ト云フヤウナ方法ヲ實施シ
マシテ、大體ノ生產目標ガ六千七百四十萬
石餘デアリマス、ソレニ更ニ新シク計畫ヲ
附加ヘマシテ、即チ病虫害ノ驅除豫防、或
ハ耕種改善基準ノ徹底ト云フヤウナ、一昨
年ヤリマシタ各種ノ事柄ヲ擴大充實シテ、
万石ヲ加ヘタ七千百四十萬石ト云フ數字ガ、昨
年ノ增產目標トナツテ居ル譯デアリマス
○吉植委員 サウシマスト、過去十七、八
箇年ノ平均ノ數字ハ何千万石ニナツテ居リ
マスカ

○周東政府委員 六千三百四十萬石餘デア
リマス

○吉植委員 ソレデ七千百万石ト云フ數字
ハ分リマシタガ、サウシマスト、今年ノ計
畫ハ此ノ七千百万石ニ、過般農林大臣ノ御
話ノアリマシタ二百萬石ヲ加ヘタ七千三百
度ノ收穫ニ準ズベキモノデアルカラ、此ノ

凶作ガ來タカラ今年ハ安心ダト云フコトモ
言ハレルヤウデアリマスガ、此ノ凶作ハ二
年續キニ來ルコトガ頻リニゴザイマス、丁
度此ノ二十三箇年ニ於テ八箇年カ一箇年連
續ノ凶作ガ來テ居リマス、サウシテ其ノ凶
石ト云フヒドイ凶作ガ來テ居リマス、此ノ
ニツヲ除キマスト、アトハ五千四百万石乃
至五千七百万石ノ凶作ニナツテ居リマシテ
ラ、斯様ナ年ガ又本年來ナイトハ何人モ斷
言出來ナイノデアリマス、サウシテ此ノ基
本數字ガ六千三百万石トナツテ居リマシテ
五千五百万石ノ凶作ガ若シ來マスト、此ノ
基本數字ニ於テ八百万石ノ掛値ガアルコト
ニナリマスノデ、戰時食糧政策トシテドウ
シテモ七千五百万石ノ米ヲ確保セネバ相成ラ
ニ、石ニ噉リ付イテモ之ヲ確保セネバ相
成ラスト云フコトニナリマスト、此ノ五千五百
万石程度ヲ押ヘテ、是ヨリモ更ニ増産計畫
ヲ以テシテ七千五百万石獲ル、場合ニ依リマ
ス、ソレハ七千八百万石獲レルコトニモナ
リマスガ、穫レレバ宜シイノデアリマシテ、
斯ウナリマセヌト安心ガナラナイノデアリマ
シテ、戰時食糧確保ト云フモノガ足並ガ亂レ
テ今日ニ來テ居ル、殷鑑遠カラズドコロデハ
ナイ前年度ニ於テ此ノ苦杯ヲ嘗メテ居リナ
ガラ本年又再ビ左様ナ計畫ヲ以テ御安心ニ
ナツテ居ルコトハ、私共國民トシテ洵ニ寒
部ノ決議トナリ、更ニ實行委員ヲ舉ゲテ政
府當局ニ要望シテ三千万圓ノ豫算增額、第

二豫備金ノ支出ト云フコトニナツタコトモ、斯ウ云フ所カラ出發シテ居リマスノデ、此ノ點農林當局ハ初メカラハツキリト五千五百万石程度ノ凶作ハ過去ニ於テ是レヽ是ダケ來テ居ル、ソレダカラ食糧確保ノ案ヲ立テルニハ、先ヅ五千五百万石ノ凶作ガ來テモ之ヲ克服スルニ足ルダケノ增產計畫ヲ立テナケレバナラヌ、ソレニハドウモ豫算ガ是デハ足リナイ、技術員ノ俸給増額ハ勿論、篤農家ニ對スル所ノ手當トカ、或ハ部落ノ強化策トカ、肥料ノ大增產トカ、米價ニ對スル特別ナル再検討トカ云フヤウナコトガナケレバ增產ニ相成ラスト云フコトヲハツキリサセテ置クト、他ノ閑僚ニ於テモ、其ノ點農林當局ノ言ヲ排シテ、大削減ヲ加ヘルト云フヤウナコトハ絶對ニナイト吾々ハ確信スルノデアリマス、ソコガ悲シイ哉農林當局ガ是デ宜シイノダト云フ數字ヲ出シテ居ルカラ、ソレデ財政當局ト致シマシテハ常識ヲ以テ斧鉄ヲ加ヘルダケ加ヘルト云フコトニナツテ、増產計畫ト云フモノハ危殆ニ瀕シテ來タ、斯ウ云フ經緯ニナツテ居リマスノデ、是以上玄人ノ農林當局ヲ前ニシテ餘計ナコトハ申上ゲマセヌ、本年ハモウ是カラドウニモ是レ以上豫算モ出スママイシ、アトハ總力戰ヲ以テ食糧ヲ戰ヒ取ルヨリ外ニナイカラ致シ方ガアリマセヌガ、來年ノ計畫ニ於キマシテハドウカ此ノシテ熱烈ナ要望デアリマス、之ニ付キマシテ一つ當局ノ御決心ダケヲ承リタイト思ヒ

リマス、私共今年度ノ計畫ヲ立テル場合ニ
於キマシテモ、此ノ點ニ付テ相當考慮ヲ運
ラシテ居ツタ積リデアリマス、御案内ノヤ
ウニ遠ク大正何年トカノ今御示シノ年ノコ
トハ勿論、近クヲ申シマシテモ昭和八年ニ
ハアア云フヤウナ七千百万石近クノ増産モ
アリマシタケレドモ、昭和九年ニハ五千百
万石、昭和十年ニハ五千八百万石、近イ所
ニ於キマシテモ六千万石ヲ割ツタ年ヲ承知
シテ居ルノデアリマス、然ルニ昭和十一年
以後十二年、十三年、十四年マデハ大體御承
知ノ通リ六千万石以上穫レテ、或ル場合ニ
ハ六千三百万石、或ル場合ニハ六千五百万
石ト云フヤウナ數字ガ出テ、一昨年ハ六千
九百万石近クノ數字モ出テ居ツタヤウナ次
第デアリマシテ、彼此レ見合ハセテ十七、八
箇年間ノ長イ期間ノ統計ヲ取ツテ、ソコデ
其ノ平均ノ數量ト云フモノヲ基礎ニシテ、
其ノ他ノ事實ヲ附加ヘテ見タ譯デアリマス、
併シナガラ御話ノヤウニ今日ハ決シテ平時
ノ時代デナク大戰爭ヲヤツテ居ル譯デアリ
マス、其ノ間ニ處スル勞力ナリ資材ノ不足
等モアリマスノデ、此ノ過去ノ實績其ノ儘
ヲ以テ是デ十分満足ト思ツテ居ナイノデア
リマス、隨テ本年ノ計畫ヲ立テル場合ニ於
テハ、凡ユル物の施設ノ外ニ、農林當局ニ
於キマシテモ農林關係ノ技術員ノ勤員、知
識經驗ノアル篤農家ノ御協力ヲ得、又農民
ニ對シマシテモ時局ヲ認識シテ戴イテ、眞ニ
増産ニ御協力ヲ願フト云フヤウナ意味合ニ
ケレバナラヌ、ソレニ對スル施設モ致シダ
ヤウナ譯デアリマス、ソレ等ニ對シマシテ
私共ハ本當ニ凡ユル方面ノ御協力ヲ願ハナ

ノ努力ガ足ラナカツタカモ知レマセヌガ、
豫算ノ上三付テモ現ハレ方ガ少クテ、不満
足ナ點ガアツタコトハ同感ニ存ジテ居リマ
ス、幸ヒニ衆議院ノ方ノ御決議等ニ依ツテ、
吾々ノ初メ豫想シテ居ツタ方面ニモ新ダニ
相當額ノ豫算ノ増額ヲ見ルヤノ運ビニモナ
ツテ居リマス、本年ノ増産ニ關シマシテハ
農林省ハ部局ヲ超越シ、舉ゲテ増産ノ方面
ニ向ツテ懸命ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居
リマスシ、之ニ關シテ農林省内部ニハ食糧
増産技術中央本部ヲ設置致シ、部局ヲ超越
シテソコニ協力ヲシ、更ニ同様ナ組織ノ下
ニ、地方廳ニ於テモサウ云フ地方ニ於ケル
増産中央本部ヲ作ツテ戴クコトノ指令ガ出
テ居リマス、更ニ郡市町村ニ同様食糧増産
ニ關スル指導部ヲ置イテ戴イテ、ソコニ農
會ノ技術員、篤農家、又農學校等ノ教職員
等、凡ユル方面ノ知識・経験ヲ綜合シテ一切
ノ指導ニ當ツテ貰フヤウニ、ソレニ對シテ
中央モ地方廳モ協力シテ行キタイ、斯様ナ
組織ヲ考ヘ、制度ヲ考ヘテ邁進致シタイト
云フ決心ヲ致シテ居ル次第デアリマス、御
諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ノ報告ヲ取ツテ置イタノデアリマスト、二十日ノ日ハ晴レガ二十二デ、曇リガ十七、其ノ翌日ハ晴レガ十八、曇リガ十二、其ノ次ニナリマスト晴レガ十二、曇リガ二十八、其ノ次ガ晴レガ二十七、曇リガ十二、ココラマデハ宜シノデアリマスガ、ソレカラ崩レ出シマシテ、其ノ次ハ晴レガ十七、曇リガ二十一、又十七ニ二十一、五ニ二十一、十三ニ二十九、八ニ二十一、十三ニ十九、十五ニ二十六、コソナ風ニ曇リ乃至雨ガ多クナツテ來テ居リマス、然ラバ其ノ中ノ晴レハ何處デアルカト申シマスト、大體ニ於テ關西竝ニ四國、九州デゴザイマシテ、關東以北、東北、北海道ニ掛ケマシテハ土用ノ初メ二日間、土用太郎、次郎ハ晴レガ相當ニアリマシタガ、モウ五日目アタリニナリマスト、關東デ晴レノ場所ハ東京一ツ、東北デハ長野、福島、新潟、是ダケヨリアリマセヌ、二十六日ニナリマスト、晴レハ關東ガ横濱一ツ、東北ハ長野、福井、是ダケデアリマス、二十七日ニナリマスト、關東ハ一ツモ晴レタ所ナシ、東北以北ハ札幌ガ一ツアルキリ、其ノ翌日ハ前橋ガ關東ニ於テ一ツ、其ノ翌日モ前橋ガ一ツ、其ノ翌日ハ東京ト甲府、コンナ工合ニナツテ居リマス、後ハ省略致シマスガ、殆ド天氣ガ關東、東北ニハナインデアリマシテ、其ノ上ニ溫度ガ、二十八日——是ハ土用最中デアリマスガ、三十度ヲ割リ、ソレカラ今度ハ八月ノ四日アタリニナリマスト、二十三度、其ノ前後ガ二十七、八度、極ク酷イノハ八月十日ガ十九度、十一日ガ二十一度、十二日ガ二十七度、其ノ翌日ガ二十三度、其ノ翌日ガ二十六度、斯ウ云フヤウニ低温ニナリマシテ、晴レガナイ、斯ウ云フ譯デ

アリマスカラ、是デハ當局ノドンナ熱意方
アリマシテモ、國民ノ如何ナル努力ガアリ
マシテモ、豐作ニナル譯ハナイノデアリマ
シテ、御天道様ノ笑顔一ツヲ頼リニスル農
業ノ本體ガ此ノ氣象ニ能ク現ハレテ居リマ
ス、斯様ナ年ガ來マシタカラ、昨年當局ノ
御努力ガアツタニ拘ラズ、六千万石ヨリ穫
レナイト云フコトニナツタノデアリマシテ、
茲ニ基本ガアルノデアリマス、私ガ申上ゲ
マシタヤウニ、過去ノ統計ニ現ハレタ所ニ
依レバ、五千万石臺ノ凶作ノ年ガ二年ニ一
回乃至三年ニ一回起ルノデアルカラ、而シ
テ二年續ケテ來ルコトガ屢々アルノダカラ、
之ニ對シテ十分ノ覺悟ヲ決メテ、斯様ナ天
候ガ來テモ克服ガ出來ルノダト云フ増產計
畫ト云フモノハ、今農林當局ガ立テラレテ
居リマスル倍以上ノモノヲ立ナケレバ安
心ガ出來ナイ、斯ウ確信シテ居リマスノ
デ、是ハ來年ノ話ニナリマスガ、是非此ノ
點ハ來年度ニ於テハ御留意ヲ願ヒタイノデ
アリマス、ソレカラ私ノ質問ハ、アト食糧
管理局長官ニ御聽キシタインデアリマスガ、
御出席ハアリマセヌカ

テ、一應集ツタノデアリマスガ、私ハ其ノ點ニ付キマシテ尙ホ極メテ大キナ不安ヲ抱クノデアリマス、大體昨日二千二百七十五ノ勞力供給対策ガアル、其ノ内容モ大體モツタノデアリマスガ、是ハ要スルニ當局ノ機上ノ計畫デアツテ、果シテ此ノ事業ニ着手致シマスル場合ニ於テ、此ノ計畫通り勞力ガ供給シ得ラレルカ、此ノ點ガ非常ニ大キナ問題デアルト思フノデアリマス、大體今日ノ農村ニ於キマス所ノ餘剩労力ト云フモノガナインデハナイカト云フ風考ヘラレルノデアリマス、御承知ノ通り、今日ハ農產物ノ增産確保ノ爲ニ何レノ農業家モ凡ユル努力ヲ致シテ居リマス爲ニ、相應此ノ方面ニ勞力ガ使ハレテ居ルノデアリマス、而モ其ノ上事變勃發以來、農村ノ勞力ハ、此ノ農作物ノ生産確保ノ以外ニ可ナリ使ハレテ居ルノデアリマス、是ハ申スマス、デモナク、例へバ警防團——警防團ハ現在ニ先づ戸數カラ申上ゲマスト、五百戸位ノ町村デ百人位ノ警防團員ヲ以て組織致シテリマス、是ガ今日ハ防空演習ダトカ、或ハ警備ダトカサウ云フ方面ニ、事變以前トハ度十人位ノ出役ヲ致シテ居リマス、サウ致シマスト、大體千人ト云フ者ガ警防團ニ勞力ヲ使ハレテ居ル、又何レノ町村デモ同ジスト、大體警防團員一人當リ一箇年最少限度十人位ノ出役ヲ致シテ居リマス、カ、村會議員デアルトカ、或ハ農會ノ評議員ダトカ、農會議員トカ、斯ウ云フ職ニ當デアリマスガ、農村ニ於ケル區長デアルトツテ居リマス人達ハ、ヤハリ此ノ戰時ノ爲

ニ或ハ出征軍人ノ見送リデアルトカ、或ハ入退營者ノ出迎ヘデアルトカ、或ハ又父葬——町村葬等ノ爲ニ相當ノ日數マ消費致シテ居リマス、是等モ通算致シテ見マスルナラバ、此ノ方面ニ使ハレテ居ル勞力ハ大體四、五百戸位ノ町村デ、先ヅ千五百人位ノ延人員ヲ消費致シテ居ルト思ヒマス、青年團方面ニ付テ考ヘマスト、是亦ヤハリ今申上ゲマシタヤウナ戰時關係ノ爲ニ、或ハ出征軍人、或ハ入退營者其ノ他ノ見送リ等ノ爲ニ、相當ノ勞力ガ消耗サレテ居リマス、更ニ婦人ノ方面ニ付テ考ヘテ見マスト、或ハ國防婦人會デアルトカ、或ハ愛國婦人會デアルトカ、主婦會デアルトカ、色々ナ婦人團體ガアリマス、是亦今申上ゲタヤウナ活動ニ從事致シテ居リマシテ、勞力ガ戰時關係ノ爲ニ此ノ方面ニ相當澤山消費サレテ居ル、恐ラクは一箇年間千五百人乃至二千人ノ勞力ガ此ノ方面ニ消費サレテ居ル、又青年學校ノ如キハ、特ニ戰時下ニ於キマジテ軍事訓練ガ非常ニヤカマシク言ハレテ居ルノデ、其ノ方面ニモヤハリ相當此ノ青年層ノ勞力ガ消耗サレテ居ル、斯ウ云フ關係カラ見マスト、今日ノ農村ノ勞力ハ戰前ニ於ケル餘剩勞力カラ見マシテ、殆ドサウ云フ方面ニ消費サレテ居ルト思ヒマス、更ニ又最近ハ軍需工業ガ勃興致シマシテ、其ノ方面ニモ相當農村ノ勞力ガ事變前ヨリモ多ク吸收サレテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマスカラ、農村ノ餘剩勞力ハ當局ガ机上デ御考ヘニナツテ居ル程ニハナイノデハナインカト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデ十五年ノ四千六百万人ニ比シテ、本年ハ二千二百七十万ノ勞力供給見込ガアル、斯様ニ御考ヘニナツテ居ルノハ、一體ドウ云フ點カラ

御考へニナツテ、此ノ一千二百七十万ト云
フ餘剩労力ノ供給力ガアルノカト云フコト
ガ、私ハ非常ニ疑ハレルノデアリマス、斯
ウ云フ計畫ノ下ニ今回ノ改良開墾ノ事業ヲ
オヤリニナツタナラバ、労力ノ關係カラ必
ズヤ蹉跌ヲ來スト思ヒマス、而モ今日ハ是
等ノ方面カラノ労力ヲ吸收スルニ付キマシ
テハ、相當ノ手數ト費用ヲ掛ケナケレバナ
ラス、斯様ナ點カラ考ヘマスト、當局ハ茲
ニ一大決心ヲ以テ、此ノ事業完成ノ爲ニ労
力ヲ確保セラレルヤウニ努メナケレバナラ
ヌ、私ハ先ツ第一ニ、一昨日御話ニナリマ
シタ此ノ見込ノ供給對策ハドノ點カラ確實
ニ計畫ニナツタモノカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致
シマスト同時ニ、少クトモ私ハ此ノ事業ヲ
完成スル爲ニハ、總動員法ニ於ケル労力ノ
徵用マデ進ンデ行カナケレバ、到底此ノ事
業ノ目的ヲ完遂スルコトガ出來ナイ、斯様
ニ考ヘマス、隨テ今回ノ此ノ事業完成ノ爲
ニハ、總動員法ニ依ル労力ノ徵用マデナサル
ル御考ヘガアルカ、無論今回ノ此ノ事業ハ國
家的事業デアリ、而モ高度國防國家建設ノ
爲ノ對策デアル以上ハ、此ノ點マデ私ハ伸
ビテ行ツテモ宜イノデハナイカト考ヘマス、
此ノ點ニ付キマシテ當局ノ御意見ヲ承リタ
イ

ノ數字上ニ於テ示メサレテ居ル、是ハ無論
内容的ニ見マスト、色々アラウト思ヒマス、此ノ事業ノ遂行カラ見マスト、而モ此ノ事業ノ大部分ト云フモノヲ農閑期ニヤル、斯
ウ考ヘテ居リマス、農閑期ノ勞力ノ實情ヲ
極ク最近ノモノデ調べテ見マシテモ、非常ニ餘力ガアルノデアリマス、恐ラクサウ云
フヤウナ點ニ於テハ、私ハ心配ガナイト思
ヒマス、只今ノ御話ガアリマシテ、私尙ホ
安心致スヤウナ氣ガ致スノデアリマス、ソ
レハ色々各種ノ仕事ガ是ダケニ農村ニ於テ
行ハレテ居ル、而モソレニ對シテ各力ガ働
イテ仕事ヲヤツテ居ルト云フコトハ、私ハ
マダ此ノ勞力ノ調整ト云フモノガ徹底シテ
居ラヌ、モット此ノ點ヲ各方面デ留意シテ、
サウシテ仕事ノ調整ヲシテ行クト云フコト
ニナリマスレバ、農村デ進ンデ働イテ戴ク
力ガマダアルノデハナイカ、私共ノ考ヘテ
居ツタニ分位ノ力ト云フモノハ派ニ存在
シテ居ル、殊ニ農閑期ニハサウ云フモノガ
働キ得ルノデハナイカト考ヘルノデアリマ
ス、私共ハ先づ是デ凡ユル努力ヲ傾倒シテ
見レバヤレル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ラシ
テ居ルノデアリマス、尙ホ是デ人ガ足リナ
イデ徵用ヲスルヤウナ爲ニ、總動員法デモ
使ヒハシナイカ、斯ウ云フコトニ付テハ今
考ヘテ思リマセヌ、マタ私ハ今ノ餘力ノア
ル所ノ、農村自ラ奮ヒ立ツ力デヤツテ貰フ
ト云フコトデ、ヤツテ戴カナイト、此ノ仕
事ハ出來ナイト思ヒマスカラ、私ハサウ云
フコトヲ考ヘテ思リマセヌ

ノデハナクシテ、此ノ戰時下ノ色々な關係ニ於キマシテ、戰前ニ持ツテ居タ所ノ餘剩労力ト云フモノハ、色々ナ方面ニソレガ効イテ居ル、其ノ労力ヲ此ノ事業方面ニ吸收スルコトニ付キマシテハ、普通ノ手段デハ中々イケナイト思ヒマス、ソコガ私ハ重大ガ出來ナイト思ヒマスカラシテ、場合ニ依リマシテハ是等ノ労力ヲ、所謂總勤員法ニ依ツテ勤員スルト云フ所マデ行方ナケレバ中々出來ナイダラウ、斯ウ私ハ申上ゲタノデアリマス、今日農村ノ實際カラ見マスト、サウ云フ方面ニ婦人ハ婦人、青年ハ青年、或ハ壯年ノ人達ハ壯年デ、ソレノ立場ニ於テ、此ノ戰時下ニ精神的ニ働イテ居ル、其ノ方面ノ労力ヲ此ノ事業ノ方ヘ持ツテ行クノハ、中々骨ガ折レル、又必ズシモ其ノ労力ガ餘ツテ居ルカラ、ソレヲ持ツテ行クト云フコトハ、是ハロデ理論的ニ申上ゲテモ、中々實際的ニハ出來ナイノデス、其ノ餘剩労力ガアルカラソレデ安心シタ、斯フ云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、實際上其ノ労力ヲ吸收スル譯ニハ中々參リマセヌ、又ソレヲ實際ニ此ノ方面ニ、農閑期カラト云ツテ持ツテ行ケナイ、今日ハ農閑期ニサウ云フ銃後ノ色々ナ關係ニ於テ効イテ居ル、農繁期ニ於キマシテハサウ云フヤウナ銃後奉公ノ爲ノ効キガ出來ナイ、農閑期ニ於テサウ云フ方ノ利用ヲヤツテ居ルヤウデアリマスカラ、其ノ餘剩労力ガアルカラト云ツテ、之ヲ全部使フ譯ニハイカナイ、斯ウ私ハ申上ゲタノデアリマス

見込地以外ニ、遊ンデ居ル所ノ田畠ト云フ
モノガ相當澤山ニアル、現ニ何レノ町村モ
同ジダト思ヒマスケレドモ、耕地ナドガ勞
力ガ非常ニ澤山掛ツテ、山間ノ田地ハ作付
ガサレズニ、勞力ノ關係ト共ニ遊ンデ居ル
所ガ多イノデアリマス、少クトモサウ云方
面ノ水田ト云フモノガ、一村當リ一町ト假
定致シマシテモ、全國ノ一万有餘ノ農村ニ
於キマシテハ、相當大キナ面積ニナツテ居
ルノデアリマス、一方開墾ヲ致シマシテ、
サウシテ増産確保ノ方針ヲ執ラレルコ
トハ、無論結構デアリマスケレドモ、
折角苦心慘憺致シマシテ開墾致シテ來タ所
ノ土地ガ作付セズシテ、其ノ儘遊バシテ居
ル土地ガ相當アリマスノデ、此ノ土地ヲ何
トカシテ作付サセルコトガ、當面ノ食糧關
係ヲ或ル程度マデ補フコトガ出來ルト思フ
ノデアリマス、大キナ問題モ洵ニ結構デア
リマスルケレドモ、一町或ハ一町五反ト云
フヤウナ現ニ作付セズシテ遊ンデ居ル其
ノ土地ヲ、何トカノ方法ニ依ツテ作付サセ
ルト云フコトニ、一ツ大キナ力ヲ持ツテ行
リマセヌカラ、當局ノ方ニ於カレマシテモ、
ツテ貰ヒタイ、是ハ百町トカ、二百町トカ、
一千町歩トカ、サウ云フ固マツタモノニア
リマセヌカラ、當局ノ方ニ於カレマシテモ、
力ノ入レ應ヘガナイカモ分ラスト思ヒマス、
併シナガラ全國カラ之ヲ集メテ見マスト、
可ナリ大キナ面積ニナルノデアリマス、其
ノ遊ンデ居ル所ノ原因ハ色々アラウト思ヒ
マス、或ハ障碍ノ爲ニ、非常ニ勞力ガ澤山
掛カルカラ、採算上逆モ植付ケテモ駄目ダ、
或ハ又水利ノ自然ノ變化ニ依リマシテ、水
ニ引水ガ出來テ元通リ作付ガ出來ル、或ハ

野鳥ナドノ被害ガ非常ニ多イカラ、折角ソ
コニ作付ケシテモ收穫時期ニ野鳥ノ爲ニ荒
サレテ、收穫ガナクナルシ、手數ガ掛ルノ
デ作付ヲ休ンデ居ルト云フヤウナ色々々ナ原
因ガアツテ、其ノ面積ハ何レノ町村モ大體
一町乃至二町位ノモノハ、サウ云フ原因ニ
依ツテ植付ガ出来ナイモノガアルト思フノ
デアリマス、是等ニ何トカ適當ナ作付ノ獎
勵ナドノ方法ヲ講ジテマリマスレバ、作付
ガ直チニ出来ルト云フヤウナモノガアルト
信ズルノデアリマス、私ノ町村其ノモノカ
ラ考ヘマシテモ、斯ウ云フモノガヤハリ二
町二歩ヤ二町歩餘ハ出来ルノデハナイカ、私
ノ村ノ周圍ノ十箇村位ヲ見マシテモ、ヤハ
リ同様ノ結果ニナツテ居ル、斯ウ云フ遊シ
町二歩ヤ二町歩餘ハ出来ルノデハナイカ、私
ノ村ノ周圍ノ十箇村位ヲ見マシテモ、ヤハ
リ同様ノ結果ニナツテ居ル、斯ウ云フ遊シ
ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシ
テ政府ノ御考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス
○周東政府委員・御話ノ點ハ何レモ御尤モ
上ニ幾分ノ寄與ラヌルコトが出来ル、斯様
ニ點デアリマス、最初ノ現在ノ農村ノ實情
等カラ見テ、本計畫即チ開發計畫等ノ實行
ニ付テハ、勞力ガ相當不足スル、ソレニ對
シテドウ云フ考ヘガアルカト云フ御話ガア
リマシタ、ソレニ對シマシテ岸政府委員カ
ラ現在ノ事情、初年度ノ計畫ノ内容等カラ
見マシテ、差當ツテハ農閑期等ニ於ケル農
家ノ餘剩ノ勞力ガアルカラ、差當ツテ大丈
夫デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマ
スガ、其ノ通リデアリマス、併シ御話ソヤ
ウニ刻々ニ變化シテ參リマス農村事情等ヲ
考ヘマシテ、若シモソコニ何等カノ缺陷ガ

ノ遂行上非常ニ支障ニナルノデアリマスカラ、其ノ場合ヲ豫想致シマシテ實際御示シノヤウニ、私共ノ方ニ於キマシテモ能ク關係當局ト密接ナ連絡ヲ保チツツ、必要ナ場合ニ於テハ農村ノ勞力普及ノ爲ニ、勞務動員ヲ實施スルト云フコトニ付テ研究調査ハ進メテ居リマス、場合ニ應ジマシテ或ハ勞務動員ノ計畫ヲ、總動員法ノ發動ニ依ツテ考ヘナケレバナラヌコトガアルカト存ジマスノデ、ソレニ付キマシテハ善處致シタイト存ジマス

ソレカラ第二番ノ不耕作ノ田畠ガ、相當ニ今日色々々ナ原因カラアルノデ、之ニ對シテ適切ナル施設ヲ講ズルコトニ依ツテ生産ヲ維持スルコトガ、此ノ大キナ計畫ヲ進メルコト相表裏シテ、今日ノ狀況カラ言フト絶對ニ必要デハナイカト云フ御話デアリマス、全ク同感デアリマシテ、此ノ方ノ計畫モ、目前ノ十六年度ノ増産ノ對策ト致シマシテハ、ヤハリ既耕地ノ作付ニ付テ萬全ヲ期シ、既耕作ノ土地カラ生産ヲ確保スルト云フコトニ付テ、各方面ノ協力ヲ願ツテ行カナケレバナラヌト存ジテ居ルノデアリマス、ソレニハ從來戴イタ豫算ノ中デ、勞力ノ不足カラ拠棄サレテ居ル分ニ對スル移動労力ノ施設ヲ、今年ハ計畫的ニ之ヲ實行致シタイト思ヒマスシ、更ニ不耕作ノ土地ニ付テハ、場合ニ依リマシテ二月一日カラ施行サレマシタ農地管理令ノ發動ニ依リマシテ、不耕作ノ土地ヲ青年團、或ハ實行組合等ヲシテ耕作セシムル、斯カル場合ニ於テ必要ナル土地ノ借賃、肥料代ナドノ補助等モ考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス、更ニ又最近衆議院ノ方ノ御決議ニ基キ、或ル程度金ガ出ル

テ部落ニ集中的ニ或ル種ノ施設ヲ致シテ、部落每ニ不耕作ノ土地等ガアリマスレバ、ウナ施設、又ハ肥料ノ足ラヌ場合ニ於テソレニ對スル色々ナ施設、凡ユル方面ニ付キマシテノ十分ナル活動ノ出來ルヤウニ、部落ヲ中心トシテ十分活動セシムルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、是等ノコトデ總テ滿足ガ行クトハ決シテ思ヒマセヌガ、出來ルダケ今ノヤウナ不耕作田畠ヲ作付サセ、既耕地カラノ生産ヲ維持サセルヤウニ、萬全ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス
○服部^(岩)委員 鬼角地方廳ニ於キマシテ、五畝歩、一反歩ノモノニ對シテハ餘り眼ヲ付ケナナイデ自然ニ放任サレテ居ル、之ヲ一部落五畝歩、或ハ一反歩位ノ土地デモ少シ手ヲ入レテヤレバ必ズ植付ガ出來得ルモノト思ヒマス、所ガ僅カニ一反カ二反位ノ程度ノモノダカラ餘リ重ク考ヘナイ、此ノ弊ガ相當アル、此ノ際五畝歩トカ一反歩ノ少シノモノノデモ、之ニ水利ノ便ヲ充ガツテヤル方法ヲ講ジタリ、或ハ又障碍ヲ除イテヤルヤウナ費用ヲ少シデモヤツテ貰ヒタイ、僅カナ經費ヲ以テ植付ガ出來ルモノノデモ、其ノ儘放ツテ置ク、或ハ又一年二年植付ガ放ツテアル、ソレガ爲ニ極メテ簡單ナ開墾モ出來テ居ナイ、是ハ一反歩ノモノナラバ十圓カソコラデ出來ル、斯ウ云フモノノデモ費用ガ掛リ勞力ガ掛ルカラ、其ノ儘放任シテアルノガ事實上相當アルノデアリマス、デアルカラサウ云フモノヲ活カシテ行クヤウニシテ戴キタイ、サウデナイト地方廳ナドデモ、僅カニ一反、二反ノモノダト面倒

テヤリ、或ハ獎勵金ヲヤリ、或ハ今度ノ決議ニ依リマシテ、政府當局ガ御心配ニナツテ居ルサウ云フ點ニ付テモ、斯ウ云フ僅カナ面積ノモノヲ十分ニ活用サセルヤウナ方法ヲ、特ニ私ハ主任會議ガアツタ場合ニ能ク話シテ貴ヒタイト思フ、サウデナイト、ドウモオ役人サンノ人達ハ、面倒臭イモノダカラ、サウ云フ小サナ僅カナモノヲ放ツテ置クト云フ傾向ガ可ナリ多イノデアリマス、私ハ此ノ場合ニ僅カ一畠歩デモ、五畠歩デモ、一反歩デモ、僅カナモノデモ、全國町村ガ全部之ヲ活用シテ行クナラバ、大キナ收穫ガアルト思フ、此ノ點ニ特ニ私ハ當局ノ御留意ヲ願ツテ置キタイ、殊ニ又主任會議ノアツタ場合ニハ、是非此ノ主任會議ニ強調シテ貴ヒタイ、斯ウ云フコトヲ希望申上ゲテ置キタイト思ヒマス、尙ホ私ノ質問ハ農林大臣ニ御願ヒシタイト思ヒマス

○村上委員長 農林大臣ハ午後ニ御出席ニナリマス、内務大臣其ノ他ハ明日御出席ノ豫定デアリマス

此ノ際御諮詢スルコトガアリマス、理事ノ岡田喜久治君ガ委員ヲ御辭任ニナリマシタ、隨テ理事ノ補闕ヲ要スルコトニナリマシタ、先例ニ依ツテ委員長ヨリ御指名申シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○村上委員長 御異議ハアリマセヌカラ、愛野時一郎君、是ハ今度委員ニ補闕選任サレタノデアリマス、此ノ愛野君ヲ理事ニ御指名致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會スルコトニシテ休憩シマス

午後零時二十三分休憩

部落ニ不耕作ノ土地等ガアリマスレバ、其ノ原因々々ニ應ジ、或ハ勞力ノ足ラヌ場合ニ於テソ合ニ於テハ、ソレニ對スル對策ヲ講ズルヤウナ施設、又ハ肥料ノ足ラヌ場合ニ於テソレニ對スル色々々ナ施設、凡ユル方面ニ付キマシテノ十分ナル活動ノ出來ルヤウニ、部落ヲ中心トシテ十分活動セシムルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、是等ノコトデ總テ滿足ガ行クトハ決シテ思ヒマセヌガ、出来ルダケ今ノヤウナ不耕作田畠ヲ作付サセ、既耕地カラノ生産ヲ維持サセルヤウニ、萬全ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス。

○服部(岩)委員 鬼角地方廳ニ於キマシテ、五畝歩、一反歩ノモノニ對シテハ餘り眼ヲ付ケナナイデ自然ニ放任サレテ居ル、之ヲ一部落五畝歩、或ハ一反歩位ノ土地デモ少シ手ヲ入レテヤレバ必ズ植付ガ出來得ルモノト思ヒマス、所ガ僅カニ一反カ二反位ノ程度ノモノダカラ餘り重ク考ヘナイ、此ノ弊ガ相當アル、此ノ際五畝歩トカ一反歩ノ少シノモノデモ、之ニ水利ノ便ヲ充ガツテヤル方法ヲ講ジタリ、或ハ又障碍ヲ除イテヤルヤウナ費用ヲ少シデモヤツテ貰ヒタイ、僅カナ經費ヲ以テ植付ガ出來ルモノデモ、其ノ儘放ツテ置ク、或ハ又一年二年植付ガ放ツテアル、ソレガ爲ニ極メテ簡單ナ開墾モ出來テ居ナイ、是ハ一反歩ノモノナラバ十圓カソコラデ出來ル、斯ウ云フモノデモデアルカラサウ云フモノヲ活カシテ行クヤウニシテ戴キタイ、サウデナイト地方廳ナデモ、僅カニ一反、二反ノモノダト面倒

テヤリ、或ハ獎勵金ヲヤリ、或ハ、今度ノ決議ニ依リマシテ、政府當局ガ御心配ニナツテ居ルサウ云フ點ニ付テモ、斯ウ云フ僅カ面積ノモノヲ十分ニ活用サセルヤウナ方法ヲ、特ニ私ハ主任會議ガアツタ場合ニ能ク話シテ貴ヒタイト思フ、サウデナイト、ドウモオ役人サンノ人達ハ、面倒臭イモノダカラ、サウ云フ小サナ僅カナモノヲ放ツテ置クト云フ傾向ガ可ナリ多イノデアリマス、私ハ此ノ場合ニ僅カ一畠歩デモ、五畠歩デモ、一反歩デモ、僅カナモノデモ、全國町村ガ全部之ヲ活用シテ行クナラバ、大キナ收穫ガアルト思フ、此ノ點ニ特ニ私ハ當局ノ御留意ヲ願ツテ置キタイ、殊ニ又主任會議ノアツタ場合ニハ、是非此ノ主任會議ニ強調シテ貴ヒタイ、斯ウ云フコトヲ希望申上ゲテ置キタイト思ヒマス、尙ホ私ノ質問ハ農林大臣ニ御願ヒシタイト思ヒマス

○村上委員長 農林大臣ハ午後ニ御出席ニアリマス、内務大臣其ノ他ハ明日御出席ノ豫定デアリマス

此ノ際御諸リスルコトガアリマス、理事ノ岡田喜久治君ガ委員ヲ御辭任ニナリマシタ、隨テ理事ノ補闕ヲ要スルコトニナリマシタ、先例ニ依ツテ委員長ヨリ御指名申シテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼ブ者アリ〕

○村上委員長 御異議ハアリマセヌカラ、愛野時一郎君、是ハ今度委員ニ補闕選任サレタノデアリマス、此ノ愛野君ヲ理事ニ御指名致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會スルコトニシテ休憩シマス

○村上委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ
マス、先づ小笠原君ニ願ヒマス、ソレハ食糧管理局ノ長官カラ答辯サレル筈デアリマスガ、長官ハ差支ガアリマスノデ、勅任事務官ノ石井政府委員ガ見エテ居リマスカラ質問ヲヤツテ戴キマス、其ノ次ニ吉植君ノ質問ヲ御願ヒシマス——先づ小笠原君〇小笠原(八)委員 ソレデハ食糧問題ノ關係デ更ニ御尋ネ致シマス、農村民ノ勞力ノ減少ハ農民ノ食糧關係ニ依ツテ相當影響ガアルト思フノデアリマス、今日農村ニ對シマシテ、政府ノ方デ或ル限度ニ定メテ飯米ヲ配給スルヤウナ方針ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、御承知ノ通リ目下農村デハ、魚ノ關係ハ鹽魚ノミニ依ツテ副食物トシテ攝ツテ居ルノデアリマシテ、肉食ナドハ殆ドヤラヌノデアリマス、其ノ鹽魚ハ殆ド今日ハ配給ガ出來ナイ状況ニナツテ居リマス、其ノ原因ハドコニアルカト云フト、公定價格ニ依ツテ、鹽魚ヲ製造スレバ損ニナルヤウニナツテ居リマスカラ、其ノ配給ガ出来ナイ、鮮魚ニ至ツテハ山岳地帶ノ農村ニハドウシテモ配給ガ、公定價格ニ依ツテ出来ナイノデアル、隨テ穀類ノミニ依ツテ榮養ヲ攝ラナケレバナラヌ状況ニアルノデアリマス、サウ云フ所ニ持ツテ行キマシテ、三合八勺ヤ四合ノ米ノ配給ガアツタノデハ、到底農村民ノ活動力ガ高メラレナイコトハ、火ヲ踏ルヨリモ明カデアリマス、ソコデ都會ノ労働者ノヤウナ關係ヲ標準ニ取ツテ、全國一律ニ飯米數量ノ系統ヲ一定致シマシタノデハ、都會地ニ於テハドウシテモ三食ヲ攝ルコトガ出來ルガ、農村ハソレガ出來ヌト云フヤウナ状況ニアルノデアリマス、

此ノ數量割當ニ付テハ、都會地方ノ勞働者ト農村ノ勞働者ト、是ハ自ラ區別ヲセヌケレバナラヌモノト考へマス、特ニ農村ノ活動時期ニ到達シヨウトシテ居る今日ニ於テハ、急速ニ此ノ問題ヲ解決シナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、農村ヘノ配給數量ハ、ヤハリ都會地ト農村トノ區別ナク、一律ニ配給ナサル御考ヘデアルカ、又農村ノ方ニハ雜穀其ノ他ノ物ヲ相當數量獲得サレテアルモノト豫想シテノ配給デアルカ、此ノ點御計畫ヲ詳シク御話シ願ヒタイト思ヒマス

○石井政府委員 只今ノ御尋ネハ農村ノ農民ニ對スル米ノ配給數量ト、都市ニ於ケル一般ノ配給割當數量トノ關係ニ於テ、農村ノ農民ニ對シテ特ニ增量ヲ考フルベキデハナイカ、斯ウ云フ御趣旨ノ御質問ト伺ツタノデアリマスガ、此ノ標準割當ト申シマスカ、飯米ノ配給數量ノ割當制度ト云フモノニ付キマシテハ、目下厚生省其ノ他關係省ト打合セラ致シマシテ、具體的ナ成案ヲ得ルコトニ現在努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、農村ノ關係ニ付キマシテハ、保有米ノ制度ヲ設ケマシテ、管理制度ヲ實行シテ居リマシタ事項ニ觸レテ考慮ヲ致シテ居ルノデスクトハ御承知ノ通リデアリマス、此ノ保有米ノ算定ヲ致シマス場合ニハ、今申サレアリマス、保有米ノ算定ノ基準ニ付キマシテハ、當時發表ニナツテ居リマスノデ、御承知ノコト考ヘマスガ、現在ノ内地ノ米ノ需給關係ノ見透シカラ申シマシテハ、到底大キナ數量ノ米ヲ農家ニ保有スルコトヲ認メルト云フコトハ、非常ニ困難ナ實情ニアルノデアリマスケレドモ、此ノ保有米ノ關係ニ付キマシテハ、出來得ル限リノ餘裕

ヲ取ツタ基準ヲ設ケルトカ云フコトデ、現在御承知ノ通リノ基準ガ決マツテ居ルノデアリマス、是ハ消費者ノ方面ニ流シマスル米ノ數量ト比較致シマスレバ、相當ノ餘裕ヲ取ツテ考ヘテアルノデアリマス、殊ニ屑米ノ關係等モアリマスノデ、出來得ル限りノ餘裕ヲ取ツタ基準デ進メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ一般都會方面ノ消費者ニ配給シマスル米ノ數量ノ基準ト云フモノハ、サウシテ消費者方面ヘノ配給數量ノ割當ニ付キマシテ、具體的ニドノ程度ニ決定ヲ致スカト云フコトニ相成ルノデアリマズガ、此ノ問題ハ榮養ノ方面其ノ他カラ考ヘマシテ、非常ニ困難ナ問題デアルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、理論的ニ見マスレバ單ニ米ノ配給數量ダケノ問題デナク、米麥マシテモ、又食糧配給ノ公平ヲ期スル上カラ云ツテモ、完全ヲ期シ得ナイト云フ實情ニアルノデアリマス、併シ現在ノ情勢ニ於キマシテ、米以外ノ總テノ主要食糧ヲ一括致シマシテ、各人ニ公平ニ一定數量ヲ配給致スト云フコトハ到底困難デアリマスカラ、差當リノ問題ト致シマシテ、米ダガ、是ハ榮養其ノ他ノ見地カラ考ヘマシテケニ付テ順次配給ノ割當ヲ實行シテ参ラウ、斯ウ云フ段取ニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソヨデ具體的ノ基準數量ノ問題ニナリマスガ、是ハ榮養其ノ他ノ見地カラ考ヘマシテカラニ一方ニ於キマシテハ、政府或ハ縣ニ於テ配給上操作シ得ル米ノ數量ガ、ドノ程

度ニ達スルカト云フ具體的ノ問題ト睨合ハセテ、決定ヲ致サケレバナラヌト云フ事情ニアルコトハ、御承知ノ通リデアリマス、所デ政府ナリ縣ナリノ配給上操作ニ使ヒ得ル米ノ數量ト云フモノハ、御承知ノ通リ非常ニ窮屈ナ狀態ニ立至ツテ居リマスノデ、榮養上ノ見地等カラ理想的ト考ヘラマス基準數量ヲ、必ズ此ノ配給割當ニ當ツテノ基準數量ニナシ得ルト云フコトハ、斷定ヲ致シ兼ネルノデアリマス、ソレデ此ノ際ハ各人ガ窮屈ナ數量デ、乏シケレバ乏シイナリニ公平ニ消費スルト云フ建前デ考ヘテ貰ハネバナラヌト云フ事情モ一方ニゴザイマスノデ、其ノ決定ニ付キマシテハ非常ニ困難ヲ感ジ、又慎重ヲ期シテ居ルヤウナ次第ナノデアリマス、差當リ農林省ト致シマシテハ、非常ニ人口ノ稠密ナ六大城市ヲ一つノ目標ト致シマシテ、其ノ地域ニ於テ配給ノ割當制度ヲ漸次實行シテ參リタイト云フ考ヘデ、各府縣當局ト協議ヲ進メテ居ルノデアリマスガ、此ノ割當制度ヲ實行政シマスルニ付テハ、先づ基礎的ナ調査ヲ詳細ニ致シテ置キマセスト、計畫ノ實行上支障ヲ生ズルコトハ申スマデモナインデアリマス、今其ノ調査ヲ折角施行シテ居ルノデアリマスガ、其ノ調査ノ完了ヲ待チマシテ、具體的ニ基準數量等ヲ決定致シテ之ヲ實行ニ移シタイ、斯様リ乍ラ農村ノ保有米ト比較ヲ致シマシテ、此體的ナ基準數量ヲ取ツテノ御答ヘヲ申上ゲル所マデ立至ツテ居ラヌノデアリマス、サリ乍ラ農村ノ保有米ト比較ヲ致シマシテ、此配給割當制ノ數量ト云フモノハ相當低いモノデアルト云フコトハ、申上ゲテ間違ヒナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、

都會地ニ於キマシテモ一般ノ俸給生活者等ト、工場労働者ト云フヤウナ相當強度ナ勞働ニ從事致シマス者トノ間ニハ、相當ノ差等ヲ付ケナケレバナラヌト云フ考ヘデ進ンデ居ルノデアリマスガ、其ノ労働者ニ對シマスル増量ニ付テモ、農村ニ於ケル保有米ノ程度ニ餘裕ヲ持タセルト云フヤウナコトハ、遺憾ナガラ現在ノ狀態ニ於テハ非常ニ困難デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第、アリマス、御話ノ點ハ十分御尤モニ拜承致シタノデアリマシテ、今後農村ノ方面ニモ、漸次此ノ割當ノ制度ヲ實行シテ參ラネバナラスト云フヤウナ狀態ニ立至リマシタ場合ニハ、其ノ點ヲ十分考慮致シマシテ、其ノ割當數量ヲ決メテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小笠原(八)委員 今具體的ニ基準數量ヲ計畫中ダト云フ御話ガアツクノデアリマスガ、今其ノ計畫ガ進メラレテ居ルナラバ、農繁期ニ間ニ合フ計畫ニナツテ居リマスカ、是ハ間ニ合ハナイト重大ナコトニナツテ参リマス、如何ニモ御話ノ通り農村デアツテモ、都會地デアツテモ、如何ニモ窮迫シテ居ル米穀ノ關係ガアリマスノデ、之ヲ公平ニ分配スルト云フコトハ、ソレハ其ノ通リニ相違ナインデアリマス、併シナガラ農村ノ方ノ今ノ保有米ノ關係ニ依リ數量ノ限度ヲ定メラレタノデハ、其ノ數量ダケデハ本當ニ平常ノ食糧ノ關係カラ見マスト、餘程減少シテ居ルノデアリマス、幸ヒ丁度今月位マデハ農村デハ雜穀トカ、其ノ他ノ屑米ヲ所有シテ居リマスカラ、ドウニカ間ニ合ツテ居ルノデアリマス、所ガ保有米ト申シマスケレドモ、農村ニハ保有米モナイ小農階級ガ澤山アルノデアリマス、デアリマスカラ

農繁期ニハソレ等ガ却テ購買シナケレバナラヌ状況ニ立至ル、其ノ數モ相當多イノデアリマス、殊ニ農民ノ勞働力ハ、是ハ農產物ノ生産擴充ノ基礎ヲナスモノデアリマス、此ノ基礎ニ缺陷ガアルト云フコトハ重大ナ問題デアツテ、此ノ基礎ダケハシツカリ飯米ヲ十分ナラシメナイト、勞働力ニ相當ナル影響ガアルト思ハレル、タカラゾレガヤハリ均衡ヲ保ツテ、皆ガ我慢シナケレバナラスト云フコトダケハ能ク分ルケレドモ、生産擴充ノ基礎ヲナスモノニ對シテハ、相當ナル油ヲ注イデ、自由ニ買ヒ得ルヤウニ供給シナケレバ、私ハイカヌト思フノデアリマス、ソレヲ唯一般國民ト同様ニ我慢シナクテハナラヌ、勞働者デアルカラ數量ヲ幾ラカ増サウト云フ位ノ程度デハ好成績ハ舉ゲラレナイ、今日ノ生產擴充ノ目的ヲ達シ得ラレナイト私ハ考ヘマス、隨テ今其ノ計畫ガ立ツテ居ナイナラ論議ノ仕様ガナイガ、此ノ計畫ハ急速ニ解決ヲ付ケテ戴キタイト思ヒマス、此ノ點若シ計畫ガ進メラレテアルナラバ、急速ニ見透シガ付クモノデアルカ、ソレトモマダ程遠イモノデアルカト云フコトヲ伺ハヌト、農民ハ安心出來マイト思ヒマス

○石井政府委員 只今私共ノ方デ計畫ヲ致シテ居リマスノハ、先程モ申上ダマシタヤウニ、六大都市ヲ中心ニ致シマシテ、其ノ六大城市ニ於ケル配給統制割當制ヲ實行スルト云フコトノ準備ナリ、計畫ナリヲ進メテ居ルノデアリマス、此ノ六大城市以外ノ地方ニ於キマシテ、ドノ程度ノ配給割當制ヲ實行致スカト云フコトハ、マダ決定ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、唯其ノ他ノ府縣ニ付キマシテハ、其ノ府縣全體トシテノ消費數量ノ標準ヲ決定致シマシテ、其ノ全體ノ消費數量ノ範圍内デ、各府縣ニ於テソレゾレ適宜ト認メル方法ヲ實行シテ居ルト云フノガ現狀デアリマス、是ハ昨年ノ五、六月頃、十五米穀年度ノ下半期ノ應急的對策トシテ、今申上ダタヤウニ、是ハ水產局ノ關係モアリマセウガ、日一日ト配給ガ不能ニナツテシマツテ、今私共ノ方デハ、魚ヲ肩ニ擔イデ賣リ歩ク商人ガ、一々農村ノ片田舎ヲ廻モウツ、是ハ局長サンノ關係カラ見マス、存ジマセヌガ、農村ノ魚ノ配給デアリマス、今申上ダタヤウニ、是ハ農村ノ片田舎ヲ廻モウツ、是ハ局長サンノ關係カラ見マシテモ、又保健上ノ問題カラ言ヒマシテモ、食糧ノ供給ニ關シマシテハ、單ニ數量ダケノ問題デナク、榮養上ノ問題ヲ相當考ヘナクテハナラヌ、ソレニ付テハ、特ニ動物質蛋白ノ給源デアル魚ノ供給ヲ豊富ニシナケレバナラヌガ、現在ノヤウナ公定價格ノ決メ方デハ、農山村マデハ中々鰐や秋刀魚等ガ廻リニクイノデ、ソレ等ニ對スル對策ハドウカト云フ御質問ノヤウニ伺

決定ヲ、實情ノ進行ニ伴ヒマシテ、漸次改善シテ參リタイ、其ノ爲ノ協議ヲ近ク各府縣

ト實行政シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル

ノデアリマス、隨ヒマシテ六大城市所在ノ府縣以外ノ府縣ニ付キマシテハ、一人頭ノ

基準數量ヲ幾ラニスルト云フヤウナ決定ヲ近クスルト云フ計畫ニハ相成ツテ居ラヌノ

譯デ山嶺地帶デハ榮養ト云フコトハ飯米ノ關係、魚ノ關係等色々ナ關係デ、相當ニ低下シテ居ル現狀デアルノデアリマス、斯様ナ對策ニ付テ何カ御考ヘガナケレバナラヌモノト私ハ考ヘルノデアリマスガ、其ノ方ノ御計畫ガアルカドウカ、併セテ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 只今私共ノ方デ計畫ヲ致シテ居リマスノハ、先程モ申上ダマシタヤウニ、六大都市ヲ中心ニ致シマシテ、其ノ六大城市ニ於ケル配給統制割當制ヲ實行スルト云フコトノ準備ナリ、計畫ナリヲ進メテ居ルノデアリマス、此ノ六大城市以外ノ地方ニ於キマシテ、ドノ程度ノ配給割當制ヲ實行致スカト云フコトハ、マダ決定ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、唯其ノ他ノ府縣ニ付キマシテハ、其ノ府縣全體トシテノ消費數量ノ標準ヲ決定致シマシテ、其ノ全體ノ消費數量ノ範圍内デ、各府縣ニ於テソレゾレ適宜ト認メル方法ヲ實行シテ居ルト云フノガ現狀デアリマス、是ハ昨年ノ五、六月頃、十五米穀年度ノ下半期ノ應急的對策トシテ、今申上ダタヤウニ、是ハ水產局ノ關係モアリマセウガ、日一日ト配給ガ不能ニナツテシマツテ、今私共ノ方デハ、魚ヲ肩ニ擔イデ賣リ歩ク商人ガ、一々農村ノ片田舎ヲ廻モウツ、是ハ局長サンノ關係カラ見マシテモ、又保健上ノ問題カラ言ヒマシテモ、食糧ノ供給ニ關シマシテハ、單ニ數量ダケノ問題デナク、榮養上ノ問題ヲ相當考ヘナクテハナラヌ、ソレニ付テハ、特ニ動物質蛋白ノ給源デアル魚ノ供給ヲ豊富ニシナケレバナラヌガ、現在ノヤウナ公定價格ノ決メ方デハ、農山村マデハ中々鰐や秋刀魚等ガ廻リニクイノデ、ソレ等ニ對スル對策ハドウカト云フ御質問ノヤウニ伺

給源トシテ魚類ノ配給ガ圓滑ニ行カナケレバナラスト云フコトニ付テハ、全ク同感デアリマス、之ニ對シマシテハ現在ノ公定價格ノ決メ方ニ付テ、ドウモ不備ナ點ガアルト云フヤウナ事柄ハ、色々ナ方面カラ聞カサレテ居ルノデアリマス、丁度御承知ノヤウニ、一月二十一日カラサウ云フ生鮮食料品等ノ價格問題ニ關シマシテハ、機構ノ調査參ルコトニナツタノデアリマスカラ、只今ノ所ソレ等ノ問題ニ付キマシテ、凡ユル方面ノ資料ヲ集メ、御意見ヲ伺ヒマシテ、魚ノ公定價格ノ問題ニ付キマシテハ慎重ニ検討ヲ加ヘツツアルノデアリマス、唯私共考ヘマスノニハ、是等ノ問題ハ唯公定價格ノ問題ダケデ解決スルノデハナクテ、ドウシテモ配給機構ノ整備ト言ヒマスカ、サウ云フコトト關聯シテノ價格ノ決メ方デナイトイケナインデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、只今農林省内ニ於キマシテ關係局——食品局或ハ水產局等ト密接ナ連絡ヲ執リマシテ、是等ニ付テ慎重検討ヲ加ヘツツアルノデアリマス、若シモソレニ付テマス

○吉植委員 時ニ依リマスト二割位デ濟ミマスガ、時ニ依ルト七割モ外米ヲ混ゼタ米ヲ國民ハ食べテ居リマス、其ノ時ニ一體外米ノ價格ガ幾ラデ賣渡サレテ、幾ラデ國民ノロニ入ルノカト云フ點ガハツキリシテ居リマセヌト、政府ガ低米價政策一本槍デ進ンデ居リマス此ノ時ニ、是ハ政治問題トシテモ容易ナラナイ問題ト思ヒマスカラ、是ハ事務官ニ御聽キシマシテモ出來ナイト云フ話デアリマスカラ、大臣ガ御出席ノ時ニ、大臣ニ一ツ此ノ點デ政治的解決ヲドウスルカト云フコトヲ御願ヒスルコトニシマシテ、ソレデハソレハ打切りニシマス、サウシマスト、次ニ此ノ外米ノ入りマス場合、例ヘバ或ル場合ニハ七割混ジル、或ル場合ニハ二割混ジル、斯ウ云フ際ニ、此ノ販賣價格ト云フモノガ、其ノ入ツタ時ノ値段ノ高イ時ニハ値段ガ高クナリ、安イ時ニハ安クナルノデアリマセウカ、或ハ一律一體ニ外米價格ト云フモノハ、定マツテ賣賣價格ニ割込マレルノデアリマセウカ、ドチラデアリマセウカ

○吉植委員 政府ガ輸入シテ居リマス外米ヲ拂下グマス價格ハ幾ラデゴザイマセウカ○石井政府委員 非常ニ具體的ナ御質問デゴザイマシタガ、此ノ拂下ノ價格ハ、外米ノ產地、ソレカラ到着ノ時期、買付ノ時期ニ依リマシテ、外米ノ價格ハ現在非常ニ相違ヲ致シテ居ルノデアリマス、左様ナ關係フモノハ、今日マデ發表ヲ致サズニ參ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ際其ノ御說明ヲ申上ゲルコトヲ差控ヘマシテ、他ノ適當ナル機會ニ申上ゲルコトニ致シタイトト思ヒマス

○吉植委員 時ニ依リマスト二割位デ濟ミマスガ、時ニ依ルト七割モ外米ヲ混ゼタ米ヲ國民ハ食べテ居リマス、其ノ時ニ一體外米ノ價格ガ幾ラデ賣渡サレテ、幾ラデ國民ノロニ入ルノカト云フ點ガハツキリシテ居リマセヌト、政府ガ低米價政策一本槍デ進ンデ居リマス此ノ時ニ、是ハ政治問題トシテモ容易ナラナイ問題ト思ヒマスカラ、是ハ事務官ニ御聽キシマシテモ出來ナイト云フ話デアリマスカラ、大臣ガ御出席ノ時ニ、大臣ニ一ツ此ノ點デ政治的解決ヲドウスルカト云フコトヲ御願ヒスルコトニシマシテ、ソレデハソレハ打切りニシマス、サウシマスト、次ニ此ノ外米ノ入りマス場合、例ヘバ或ル場合ニハ七割混ジル、或ル場合ニハ二割混ジル、斯ウ云フ際ニ、此ノ販賣價格ト云フモノガ、其ノ入ツタ時ノ値段ノ高イ時ニハ値段ガ高クナリ、安イ時ニハ安クナルノデアリマセウカ、或ハ一律一體ニ外米價格ト云フモノハ、定マツテ賣賣價格ニ割込マレルノデアリマセウカ、ドチラデアリマセウカ

○吉植委員 政府ガ輸入シテ居リマス外米ヲ拂下グマス價格ハ幾ラデゴザイマセウカ○吉植委員 是ハ外米ノ拂下價格ハ諸種ノ事情ヲ考慮致シマシテ、非常ニ時期的ニ變動ヲ致スコトノナイヤウニ、一定ノ價格ヲ拂下價格ト云フモノハ從來之ヲ發表スルコトヲ差控ヘテ參ツテ居ルト云フコトヲ、先程モ申上ゲタノデアリマス、時ニ依ルト云フヤウナ關係モアリマスルノデ、ソコデ拂下價格ト云フモノハ、其ノ點ハ左様ニ御承知置キヲ

格デ拂下ヲ實行致スコトニ致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ短期間ニ外米ノ拂下價格ヲ變動セシメテ、其ノ爲ニ小賣價格ヲ

ニ依ル手數料其ノ他ノ關係ニ付キマシテハ、

其ノ都度變更スルヤウナコトノナイヤウニト云フコトデ決定ヲ致シテ居

ルノデアリマス、隨テ外米ノ種類其ノ他ニ依リマシテ、時々小賣價格ヲ變更シナケレバナラスト云フヤウナ必要ノナイヤウニ致シテ實行致シテ居ルノデアリマス

○吉植委員 サウシマスト、先程石井政府委員カラ御話ノアリマシタ外米ノ價格ハ、斯ウ時ニ依リ產地ニ依リ變動ガアルカラ、斯ウ云フモノハ發表シナイコトニナツテ居ルト云フコトデアリマシタガ、併シ數字ハ發表ニナラナクトモ、常ニ一貫シタ一本ノ線デ値段ヲ定メテ拂下ゲテ居ル、或ハ一年間ヲ通ジテ一本デ行カナカツタラ、セメテ一年間ニ二本カ三本デ拂下ゲテ居ルノダ、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜シカゴザイマスカ

○吉植委員 米穀會社ガ昨年度ニ於テハドウ云フ實利ヲ舉ゲテ居リマセウカ、臺灣朝鮮カラ來マス米ヲ取扱ヒマシタ手數料ハドレダケニナツテ居リマセウカ

○吉植委員 米穀會社ノ成績ハ昨年度ニ於キマシテハ、臺灣米ノ移入數量ト云フモノガ相當ニ減少致シマシタ爲ニ、非常ニ困難ヲ致シタノデアリマスガ、其ノ他ノ業務ニ於キマシテ稍々收入ノ殖エタ點モゴザイマシテ、六分ノ配當ヲナシ得ルヤウナ成績ヲ舉ゲタノデアリマス、臺灣米ノ取扱數量ニ相成リマスコトハ、結局其ノ產地ニ於ケル買付其ノ他ニ、直チニ敏感ニ影響シテ行クト云フヤウナ關係モアリマスルノデ、ソコデ拂下價格ト云フモノハ從來之ヲ發表スルコトヲ差控ヘテ參ツテ居ルト云フコトヲ、

是モ甚ダ恐縮デアリマスガ、今具體的ノ數字ノ資料ヲ持ツテ參リマセヌノデ、調べテ御答へ申上ゲタイトト思ヒマス

○吉植委員 是ハ後程御出席ノ農林大臣ニ對スル質問ニ關聯シテ居リマスカラ、成ベク早ク御調べ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ國家管理ヲ施行サレマシテカラ掛リマ

シタ費用並ニ豫算ト合ハセマシテ、大體一年間下位掛ルコトニナツテ居リマセウカ、先般ノ二千何百万圓カノ豫算デ全部ナノデアリマセウカ

○石井政府委員 手數料ノ點ハ至急調ベテ申上ゲマス、管理制度ノ實施ニ伴ヒマシテノ必要ナ諸經費ハ、先般申上ゲテ居ル費用デ全部ソレデ賄フト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、アレ以外ノ經費ハ豫算デハ認メラレテ居ラヌノデアリマス、十六米穀年度一杯ノ經費トシテ、アノ程度デ賄ヒヲ付ケルノデアリマス

○吉植委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○小笠原(八)委員 私ハ馬政局ノ方カラ御尋ネ致シマスガ、農地開發營團ノ設定竝ニ空閑地ノ利用等ニ依リマシテ、目下急迫セル食糧問題ヲ解決シヨウト云フコト進メラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ結果ハ馬ノ飼料ト重複スル問題ガ各地ニ出來テ來ルダラウト思フノデアリマス、假ニ牧野法ニ依ツテ育成サレタ土地ガ、畠地竝ニ近接シテ居ル開拓地ナドニ依ソテ其ノ方ニ押サレルノデハナイカト思ハル、又國家ノ要請ニ依ツテサウ云フ風ニ解決スベキデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ牧野ノ關係へ山岳地帶ヲ移動シテ來ルコトハ是ハ當然デアラウト思フノデアリマス、唯ココニ題題トナルノハ、想像スルノデアリマス、殊ニ今日ノ小學校教員ノ増俸問題、臨時手當ト申シマスカ、此ノ關係上内務省ノ警察官、其ノ他内務省關係ノ役人モ皆増俸セラレル、其ノ他司法デモ、農林デモ、一切増俸ヲ見ルニ相違ナ

イト思フノデアリマス、隨テ地方ノ產業組合トカ、或ハ商業組合ノ方面モ增俸ヲ見ナケレバナラヌコトト思フ、假ニ増俸ノ名目ノ必要ナ諸經費ハ、先般申上ゲテ居ル費用デ全部ソレデ賄フト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、アレ以外ノ經費ハ豫算デハ認メラレテ居ラヌノデアリマス、十六米穀年度一杯ノ經費トシテ、アノ程度デ賄ヒヲ付ケルノデアリマス

依ツテ増額サレルト思フノデアリマス、是ガ馬ノ方ノ技術的ニ關聯スル牧夫等ニモ影響ガアリマシテ、益々困難ヲ加ヘルコトト思フノデアリマス、之ニ對處シテ農產物ノ方デハ今回三千万圓ノ助成ヲ政府ノ方デ御心配ナサレテ居ルニ拘ラズ、今日ノ情勢上已ムヲ得ズ其ノ他ノモノハ色々ノ方面デ増俸等ニナツテ居ル、或ハ助成等ノ増額ヲ見テ居ルノデアルガ、馬ノ他ノ畜産ハ取残サレテ居ル、所デ畜産ノ中デモ一番生産ニ困難ヲ來ス馬ダケハ一番此ノ打擊ヲ受ケルコトニナルデアラウト思フノデアリマス、ソコデ此ノ対策トシテ何カ立てナケレバナトニナルデアラウト思フノデアリマス、トニナルデアラウト思フノデアリマス、今其ノ儘デ解決ヲ付ケルコトヲ急速ニ解決スベキダト考ヘテ居リマス、ソコデ私馬ノ方ヲヤツテ經驗ヲ持ツテ居リマスガ、先づ馬政局ニ於テ資質ノ改善、並ニ經濟問題ヲ解決シテ行ク、馬ノ質ヲ改善スルト云フ問題ハ何ト云ツテモ種馬ノ良否ト云フコトガ第一條件デアルト思フノデアリマス、就中種牡馬ノ良質ヲ配合遺傳スルト云フコトガ最モ重要ナコトデアリマシテ、馬產經濟ト云フ問題カラ云ヒマシテモ、優良種牡馬ヲ配合シテ、良質ナ馬ノ生産育成スルコトガ然ラザルモノヲ生產育成スルコトハ、前者ノ方ハ自然的ニ恵マレテ居ルニ比シ、後者ノ方ハ勞シテ效ナキ場合ガ多イノデアリマス、サウ云フ關係デアリマシテ、馬產ノ經

濟化ハ良質馬ノ生產ガ第一要件ト相成ルト思フノデアリマシテ、質ノ改善ニモ、馬ノ經濟化ニモ、優良種牡馬ノ配合ヲ第一條件デナクトモ「ボーナス」トカ、其ノ他ノ形ニ依ツテ増額サレルト思フノデアリマス、是ガ馬ノ方ノ技術的ニ關聯スル牧夫等ニモ影響ガアリマシテ、益々困難ヲ加ヘルコトト思フノデアリマス、之ニ對處シテ農產物ノ方デハ今回三千万圓ノ助成ヲ政府ノ方デ御心配ナサレテ居ルニ拘ラズ、今日ノ情勢上已ムヲ得ズ其ノ他ノモノハ色々ノ方面デ増俸等ニナツテ居ル、或ハ助成等ノ増額ヲ見テ居ルノデアルガ、馬ノ他ノ畜産ハ取残サレテ居ル、所デ畜產ノ中デモ一番生産ニ困難ヲ來ス馬ダケハ一番此ノ打擊ヲ受ケルコトニナルデアラウト思フノデアリマス、ソコデ此ノ対策トシテ何カ立てナケレバナトニナルデアラウト思フノデアリマス、トニナルデアラウト思フノデアリマス、今其ノ儘デ解決ヲ付ケルコトヲ急速ニ解決スベキダト考ヘテ居リマス、ソコデ私馬ノ方ヲヤツテ經驗ヲ持ツテ居リマスガ、先づ馬政局ニ於テ資質ノ改善、並ニ經濟問題ヲ解決シテ行ク、馬ノ質ヲ改善スルト云フ問題ハ何ト云ツテモ種馬ノ良否ト云フコトガ第一條件デアルト思フノデアリマス、就中種牡馬ノ良質ヲ配合遺傳スルト云フコトガ最モ重要ナコトデアリマシテ、馬產經濟ト云フ問題カラ云ヒマシテモ、優良種牡馬ヲ配合シテ、良質ナ馬ノ生産育成スルコトガ然ラザルモノヲ生產育成スルコトハ、前者ノ方ハ自然的ニ恵マレテ居ルニ比シ、後者ノ方ハ勞シテ效ナキ場合ガ多イノデアリマス、サウ云フ關係デアリマシテ、馬產ノ經

成場トカ牧場ト云フ所デハ、生産モヤリ、育成モヤツテ居ルガ、是ハ從來ヤリ來リマシタヤリ方デ、ソレニ何等豫算ノ増額ヲ見ズシテ、良イモノガ出來タラ種トシテ取ラト云フコトニ過ギナイ、質ノ良ク生レタモノニ對シテ之ニ體幅骨量ヲ加ヘヨウト云フ、一步進シダ努力ガ之ニ備ハツテ居ラヌアリマス、云フコトヲ私ハ遺憾トスル者デアリマス、此ノ際飼養管理ノ徹底、育成ノ改善、即チ乗馬運動或ハ挽曳、駄載運動等ニ依リ、體幅骨量ノ増強、歩様ノ進歩等ヲ圖ルベキ機關ヲ設ケテ、徹底セル研究ニ依ツテ所謂人工作的ニ理想的ナ種馬ノ生産育成ノ機關ヲ整備シナケレバナラヌモト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點へ民間ノ方ニモ多クノ種牡馬ヲ是レマデノ通リ將來モ要求スルト云フコトニナリマスト、ヤハリ民間ノ方ニモソレニ向ツテ進ムベキヤウニシ、「ペル」式ニ依ツテ體幅骨量ヲ備ヘタモノノミニ購買ノ方向ヲ仕向ケルコトナク、實際ニ「アングロ・ノルマン」或ハ輕種ニ近イ所ノ中間種ニ依ツテ、軍ノ本當ニ要求スル馬ニ合致シタル所ノモノノ生産育成ニ努力ラシテ、其ノ效果ヲ現ハシタルモノハ特ニ購買ノ程度ヲ高メテ行ク、或ハ指導方針ヲ何カニ依ツテ設ケテ、其ノ方ニ重點ヲ置キ、其ノ方ニ仕向ケテ、ヤハリ民間ノ方デモ生産育成ヲ圖ルト知ノ通リデアル、今ノ制度デ唯太イ體幅ト云フコトニナラナケレバナラヌ、民間ハ經濟的ニ敏感ニ働く掛ケルト云フコトハ御承認ニ改メル爲ニ、種馬ノ完備ニ依ツテ、生レナガラニシノ血液遺傳ニ依リマシテ、生レナガラニシ

テ良質ニシテ、之ヲ簡易ニ軍馬トシテ整備スルヤウナ方法ガ出來ルト云フコトハ、經濟的ナ方面カラ申シマシテモ、或ハ質ノ改善カラ申シマシテモ、最モ急ラ要スル問題ダト云フコトヲ私ハ遺憾トスル者デアリマス、カ斯ウ云フ周圍ノ事情デ、總テノ物價對策ヲスル、一步進シダ努力ガ之ニ備ハツテ居ラヌニ對スル助成費ノ増額等ヲ政府ガヤラレルニ對照致シマシテモ、又ソレガナクトモ此ノ方面ハ一段ト力ヲ入レラレナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、馬政局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○鷲淵政府委員 只今小笠原サンノ御意見ハ極メテ御尤モナコトデゴザイマシテ、私共及バズナガラ御意圖ニ副フヤウニ研究ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、其ノ中デ良質ノ種牡馬ヲ更ニ體幅骨量ヲ富マセルヤウニサセマスニ付キマシテハ、今年カラ少額デゴザイマスガ、來年度ノ豫算ニ組入レマシテ、更ニ來年度カラ之ヲ増額致シマシテ、所謂種馬ノ能力増進施設ト云フモノヲ作ツテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ほ學問的ニハ之ヲ研究スル機關ヲ御承知ノヤウニ馬事綜合研究所ト云フモノヲ作リマシタノデ、マダ事業ヲ開始シテハ居リマセヌガ、此處ニ於て根本的ニ良質ノ馬ヲ如何ニシタナラニナルカナラヌカト云フヤウナ馬ガ馬商ニ於テ安價ニ求メラレ、ソレヲドウニカ手當スルト、十頭ノ中デ半分位當ル、サウスルト間ニ合フ程度ニ賣ルコトガ出來ルノデ、其ノ方ガ經濟的デアルガ、本當ニ優良ナモノニ力ヲ入レテ、國家ガ種馬トシテ一段ト良イ馬ヲ出サウト云フコトニ重點ヲ置カレルナラバ、相當ナ價格——相當ナ人件費其ノ他育成ノ飼料一切ノモノヲ加ヘタ價格デナケレバ完備シタ馬ハ出來ナイ、出來タ所デ、ドンナニ良ク出來テモ二千五百圓トカ三千圓デ抑ヘラレテシマフ、隨テソレヲ出来サウト考ヘル者ガナクナツタト云フコトノ原因ト云フコトニ大藏省ガ聽カヌトガ原因トナツテ、優良ナ種馬ガ出ナクナツ

テ良質ニシテ、之ヲ簡易ニ軍馬トシテ整備スルヤウナ方法ガ出來ルト云フモノニケチノスルカラ申シマシテモ、或ハ質ノ改善ニナツテ居ル今日ノ米價ニ比較シテモ尙ホ半分ニモ足ラザル時代ノ十年、二十年前ノ時ノ種牡馬ノ農林省ノ購買ト比較ヲ致シマスルト、如何ニモ平均價格ニ於キマシテハ、多少ハ增額サレテ居リマス、所ガ今日馬質ハ向上致シマシタノデ、下級馬ノ六百圓程度ノ種馬ノ購買ト云フノハ如何ニモ千二百圓ニ引上ガラレタノデアルガ、優良ノ候補種牡馬ノ購買ニ至ツテハ、十年、二十年前マデハ二歳デ四千圓、四千五百圓ノ馬モ相當ニアツタ、況ヤ三歳ニ至ツテハ相當ノ價格ニ購買サレタノデアリマス、ソレガ今日ハ三歳デスマ最高三千圓ニ抑ヘル、而モ其ノ頭數ハ極メテ少數ト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、ドウモ優良デアレバアル程、進出力ヲ斷タレタ感ガスルノデアリマス、隨テ宜イ加減ナモノ、ドウニカ種牡馬ニナルカナラヌカト云フヤウナ馬ガ馬商ニノデアリマシテ、ドウモ優良デアレバアルテ、種ノ良質ノモノヲ益々向上發達セシムルト云フコトニ對シマシテハ、此ノ方ニ、モウ少シ幅ノアル購買力ヲ持タセナケレバイカタ通り、良質生產ヲシテ其ノ經濟化ヲスルノダト云フコトニ歸着スルノデアリマス、ノハ、馬ニ經驗ノナイ方々ノ言フコトデア矛盾シタ考ヘガアルノデヤナカラウカト思フノデアリマス、ソレ等ヲ混合シテ考ヘルノハ、馬ニ經驗ノナイ方々ノ言フコトデア

モ、ソレハ金ト云フモノニケチノスルカラ申シマシテモ、最モ急ラ要スル問題ダト私ハ考ヘルノデアリマス、之ニ向ツテ何カ斯ウ云フ周圍ノ事情デ、總テノ物價對策ヲスル、一步進シダ努力ガ之ニ備ハツテ居ラヌニ對照致シマシテモ、又ソレガナクトモ此ノ方面ハ一段ト力ヲ入レラレナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、馬政局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○鷲淵政府委員 只今小笠原サンノ御意見ハ極メテ御尤モナコトデゴザイマシテ、私共及バズナガラ御意圖ニ副フヤウニ研究ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、其ノ中デ良質ノ種牡馬ヲ更ニ體幅骨量ヲ富マセルヤウニサセマスニ付キマシテハ、今年カラ少額デゴザイマスガ、來年度ノ豫算ニ組入レマシテ、更ニ來年度カラ之ヲ増額致シマシテ、所謂種馬ノ能力増進施設ト云フモノヲ作ツテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ほ學問的ニハ之ヲ研究スル機關ヲ御承知ノヤウニ馬事綜合研究所ト云フモノヲ作リマシタノデ、マダ事業ヲ開始シテハ居リマセヌガ、此處ニ於て根本的ニ良質ノ馬ヲ如何ニシタナラニナルカナラヌカト云フヤウナ馬ガ馬商ニ於テ安價ニ求メラレ、ソレヲドウニカ手當スルト、十頭ノ中デ半分位當ル、サウスルト間ニ合フ程度ニ賣ルコトガ出來ルノデ、其ノ方ガ經濟的デアルガ、本當ニ優良ナモノニ力ヲ入レテ、國家ガ種馬トシテ一段ト良イ馬ヲ出サウト云フコトニ重點ヲ置カレルナラバ、相當ナ價格——相當ナ人件費其ノ他育成ノ飼料一切ノモノヲ加ヘタ價格デナケレバ完備シタ馬ハ出來ナイ、出來タ所デ、ドンナニ良ク出來テモ二千五百圓トカ三千圓デ抑ヘラレテシマフ、隨テソレヲ出来サウト考ヘル者ガナクナツタト云フコトノ原因ト云フコトニ大藏省ガ聽カヌトガ原因トナツテ、優良ナ種馬ガ出ナクナツ

テ良質ニシテ、之ヲ簡易ニ軍馬トシテ整備スルヤウナ方法ガ出來ルト云フモノニケチノスルカラ申シマシテモ、或ハ質ノ改善ニナツテ居ル今日ノ米價ニ比較シテモ尙ホ半分ニモ足ラザル時代ノ十年、二十年前ノ時ノ種牡馬ノ農林省ノ購買ト比較ヲ致シマスルト、如何ニモ平均價格ニ於キマシテハ、多少ハ增額サレテ居リマス、所ガ今日馬質ハ向上致シマシタノデ、下級馬ノ六百圓程度ノ種馬ノ購買ト云フノハ如何ニモ千二百圓ニ引上ガラレタノデアルガ、優良ノ候補種牡馬ノ購買ニ至ツテハ、十年、二十年前マデハ二歳デ四千圓、四千五百圓ノ馬モ相當ニアツタ、況ヤ三歳ニ至ツテハ相當ノ價格ニ購買サレタノデアリマス、ソレガ今日ハ三歳デスマ最高三千圓ニ抑ヘル、而モ其ノ頭數ハ極メテ少數ト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、ドウモ優良デアレバアル程、進出力ヲ断タレタ感ガスルノデアリマス、隨テ宜イ加減ナモノ、ドウニカ種牡馬ニナルカナラヌカト云フヤウナ馬ガ馬商ニノデアリマシテ、ドウモ優良デアレバアルテ、種ヲ益々向上發達セシムルコトニ努メテ、優良馬ノヨリ多くの數ヲ求メルト云フコトハ、色々ナ方面ニ於テ是マデ申上げ少シ幅ノアル購買力ヲ持タセナケレバイカタ通り、良質生產ヲシテ其ノ經濟化ヲスルノダト云フコトニ歸着スルノデアリマス、ノハ、馬ニ經驗ノナイ方々ノ言フコトデア矛盾シタ考ヘガアルノデヤナカラウカト思フノデアリマス、ソレ等ヲ混合シテ考ヘルノハ、馬ニ經驗ノナイ方々ノ言フコトデア

牡馬ニ對シテハ周圍ノ事情ニ抑ヘラレテ進
出ガ出來ナイデ居ルト云フコトハ、今日ノ
馬ノ經濟化ト云フコトニモ、質ノ改善ト云
フコトニモ、重大ナ影響ガアルト思ヒマス、
此ノ關係ヲ打破シテ何トカソコニ優良種牡
馬ヲ獲得スルト云フコトニ施設ヲナサレル
所ノ御英斷ガナケレバナラヌト思フノデア
リマス、其ノ御決心ヲ伺ツテ置キタイト思
ヒマス

○櫛淵政府委員 只今ノ御意見モ御尤モデ
ゴザイマシテ、私共ノ努力ガ足リマセヌ爲
ニ、大藏省カラ多少ナリトモ増額シテハ居
リマスガ、御希望ノヤウニ行ツテ居リマセ
ヌノデ、是ハ今後トモ努力ヲ致ス考ヘデゴ
ザイマス、尙ホ本當ニ優良ナル種馬ニ對シ
テハモット價格ヲ上げテ、寧ロ一番低大方
ノ馬ニ對シテハ價格ヲ下げテモ、上ノ方ニ
上ゲロト云フ御意見モ御尤モノコトデアリ
マシテ、私共種馬ニ付キマシテハ眞ニ良イ
馬デアリマシタナラバ、縱令三千圓ヲ突破
シヨウトモ其ノ馬相當ノ値段デ買フト云フ
コトニ、將來努力致シテ行キタイト考ヘテ
居リマス

○小笠原(八)委員 ソレカラ軍ノ要求スル
體幅骨量ノ馬ヲ、其ノ種類別ニ依ツテ向上
發達セシムルト云フ育成方法ハ中々——之
ヲ生後カラ離乳ノ時マデ、四季別ニ應ジテ
栄養ト運動トノ調和ヲ取ルト云フコトハ中
中面倒ナ問題アリマスガ、殊ニ馬ナレバ
二歳ノ終末カラ三歳ノ秋ニ至ルマデノ間ハ、
最モ發育能率ノ旺盛ナ時デアルノデアリマ
ス、此ノ場合ニ急ルト四歳、五歳ニナツテ
カラ如何ニ濃厚飼料ヲ與ヘテモ、運動ノ調
和ヲ圖ツテモ發育不能ニ陥ルヤウナ關係ニ
ナツテ居リマスルノデ、ヤハリ其ノ期間ヲ

逸シテハナラヌ、斯フ云フコトハ馬ノ生產
育成ニ當ツテ居ル方々ノ能ク承知シテ居ル
所デアリマス、又反對ニ其ノ發育能率ノ旺盛
盛ナ時期ニ達シナイ中ニ、無暗矢鱈ニ濃厚
飼料ヲ與ヘテ弊害ヲ伴ハセテ居ルト、其ノ
發育能率ノ旺盛ナ期間ニ當ツテ十分ナ手當
ヲ致シマシテモ、却テ取返シノツカナイコ
トガアルノデアリマス、隨テ時期ヲ失スル
コトハ重大問題デ、此ノ時期ニ十分手當ヲ
スルト云フコトニ依ツテ、軍ノ要求スル規
格ニ當該ツタ種馬ヲ求メルト云フコトガ最
モ大切デアラウト私ハ思フノデアリマス、
ソコデ之ニ一番缺陷ガアルノハ牡ノ方ハ農
林省デ購買サレテ居ルカラ、國民ガ賣ラン
ガ爲ニソレニ努力シテ居ル、先刻申上ダマ
シタヤウニ簡易ニシテ速成、彌縫的ナ所ニ
走り過ギテ居ルト云フコトガ一ツノ缺陷デ
アリマスガ、兎ニ角ソレニ向ツテ努力シテ
居ル、牡馬ノ方ハ體格、資質ノ兼ネ備ツタモノガ
チヨイノ現ハレテ參リマシタケレドモ、
牡馬ハソコマデ達シテ居ナイ、是ハドウ云
フ譯カト云フト、發育能率ノ旺盛ノ時ノ手
當ガ不十分デアルト云フコトニ大キナ缺陷
ガアルノデアリマス、此ノ良質ナ種馬ヲ求
メル爲ニハ、牡馬ノ方モ此ノ期間ニ於テ十
分ナル手當ヲスルト云フコトヲ國家ノ制度
ニ依ツテ行ハナケレバナラヌト思フノデアリ
マス、如何ニモ今回種馬ノ登錄制度ヲ御設
ケニナツタヤウデアリマスガ、是ハ洵ニ結
構ナコトデ當然オヤリニナラナケレバナラ
スノデアリマス、之ニ依ツテ配合其ノ他ノ
完備モ出來、相當ノ成績ヲ擧得ラレルト
思フノデアリマス、併シは配合ニ依ツテ

良イモノガ出來タラ、種馬トシテ採入レヨウ
ト云フ考ヘ方テアリマセウガ、初メカラ良
イ種馬ヲ捨ヘヨウト云フコトニナレバ、生
共ニ發育能率ヲ發達セシメルト云フコトハ洵ニ遺憾
ナケレバ、是ハ本當ノ理想的ナ種馬ヲ求ム
ルコトハ困難デアルト思フノデアリマス、
隨テ牡ノ方ニモ一昨年カ購買シタヤウナ購
買方法ニ依ツテ、牡馬ノ數マデ行カヌデモ、
相當ノ數量ヲ購買スル制度ヲ設ケタラドウ
カ、サウシテヤハリ馬政局ノ方ニ於テ經營
スル、或ハ民間ノ有力者、即チ馬ヲ生產育
成スル者ニ對シテ、十分經驗アル者ニ貸與
スル制度ヲ設ケテ、サウシテ優秀ナルモノ
ト優秀ナルモノト配合シテ、更ニ優秀ナル
種馬ヲ求メウト云フコトノ機關ガナケレ
バ、本當ニ戰ニ十分役ニ立ツマヲ捨ヘルコ
トハ容易デヤナイト思フ、現在種馬デスラ
馬ニ對シテ經驗アル者カラ見ルト、モウ五
六年先ニハドウ云フ馬ガ出ルノグラウト云
フ心配ヲサレテ居ルノデアリマスカラ、是
ハ急速ニ種牡馬ヲ改善ガ必要デアラウト思
リ過ギタト云フ感ジヲ持ツテ居リマス、ソ
イ馬ガ行キ過ギタト云フ御意見ニ對シマシ
テハ、是モ當局トシテ、昨年ハ良イ馬ヲヤ
リ過ギタト云フ感ジヲ持ツテ居リマス、ソ
レデ今年ハ此ノ數ヲ減ラシマシテ、日本ノ
馬產ヲ主ニシテ、滿洲國ヲ從トル精神ヲ
ニ滿洲國ニ種馬ヲ多クヤリ過ギル、而モ良
イ馬ガ行キ過ギタト云フ御意見ニ對シマシ
テハ、是モ當局トシテ、昨年ハ良イ馬ヲヤ
リ過ギタト云フ感ジヲ持ツテ居リマス、ソ
レデ今年ハ此ノ數ヲ減ラシマシテ、日本ノ
馬產ヲ主ニシテ、滿洲國ヲ從トル精神ヲ
何處マデモ徹底シテ行クヤウニ致シテ居リ
マス

○村上委員長 小笠原君、出來ルダケ簡潔
ニ御願ヒ致シマス

○小笠原(八)委員 成ベク簡潔ニヤリマス、
馬政局ノ監督下ニアル所ノ競馬會ノ問題ニ
付テ簡單ニ御伺ヒ致シマス、競馬ノ方ノ購
買ト云フノハ、輕種ノ方一本建ニナリマシ
テ、ソレ以外ノモノノ捌キ方ハ今日ナイン
デアリマス、然ルニ馬政局ノ方ノ方針ト需
要ノ關係ハ相反シテ居ルノデアリマシテ、
此ノ生產ノ獎勵ト云フ方面ト需要ト云フ方
面ト相反スルコトニ依ツテ、生產者ニ迷惑
ヲ及ボシテ居ルト云フコトハ、馬產ノ進展

<p>上非常ナ障碍ニナリマスノデ、競馬ノ方デハ速度重點主義トシテ購買サレル、體幅骨量ニ富ム馬ト云フモノハ、速度ノ點ニ於テ、量ニ富ム馬ト云フモノハ、速度ノ點ニ於テ、</p> <p>薄ペラナ淺薄ナ馬ニ對シテドウシテモ劣リ勝デアリマスガ、其ノ抽籤馬ノ配給ヲ受ケルノニ困難ダト云フ點カラ、今申上ゲタ速度重點主義トカ、「サラブレッド」直接ノ配合シタ馬ノミヲ高價デ買フノデアリマス、隨テ各地ノ購買前ニ於ケル農林省ノ立會ニ於ケル馬ノ供進會ナドデ、一等賞ヲ取ツタ、或ハ二等賞ニナツタト云フ馬ハ購買カラ除外セラレ、購買ニ至リマシテモ、非常ニ價格ガ他ノ四等、五等ト比較シテ低下スル、其ノ體幅ナドモ相當狭イ馬ヲ見ルト云フ結果ニナリマシテ、全ク政府ノ方針ト矛盾シテ居ルト云フコトニナリマシテ、是ガ大キナ迷ヒトナツテ居ルノデアリマス、輕馬ノ生産ト云フコトハ或ハ馬産ニ大キナ缺陷ヲ生ズルノデハナイカト云フ心配ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ競馬ノ方ニ政府ノ方針通リノ番組ノ組織ヲ持ヘルトカ、或ハ「アラブ」系ノ抽籤馬ノ制度ヲ設ケルトカ、何カノ制度ニ依ツテ、根本カラ立直シテ、方針ト云フモノト需要ト云フモノガ一致ヲ致シテ行クコトニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ニ對スル對策ヲ御伺ヒ致シマス</p>	<p>○櫛淵政府委員 馬政局ト致シマシテハ、競馬用ノ馬ニ對スル指導方針ト、競馬會方實際購買シテ居リマスル需要方面ノヤリ方ト一致シテ居ル積リデゴザイマスガ、只今ノ御意見ノヤウナコトガトコトガザイマスナラ</p>	<p>上非常ナ障碍ニナリマスノデ、競馬ノ方デハ速度重點主義トシテ購買サレル、體幅骨量ニ富ム馬ト云フモノハ、速度ノ點ニ於テ、量ニ富ム馬ト云フモノハ、速度ノ點ニ於テ、</p> <p>薄ペラナ淺薄ナ馬ニ對シテドウシテモ劣リ勝デアリマスガ、其ノ抽籤馬ノ配給ヲ受ケルノニ困難ダト云フ點カラ、今申上ゲタ速度重點主義トカ、「サラブレッド」直接ノ配合シタ馬ノミヲ高價デ買フノデアリマス、隨テ各地ノ購買前ニ於ケル農林省ノ立會ニ於ケル馬ノ供進會ナドデ、一等賞ヲ取ツタ、或ハ二等賞ニナツタト云フ馬ハ購買カラ除外セラレ、購買ニ至リマシテモ、非常ニ價格ガ他ノ四等、五等ト比較シテ低下スル、其ノ體幅ナドモ相當狭イ馬ヲ見ルト云フ結果ニナリマシテ、全ク政府ノ方針ト矛盾シテ居ルト云フコトニナリマシテ、是ガ大キナ迷ヒトナツテ居ルノデアリマス、輕馬ノ生産ト云フコトハ或ハ馬産ニ大キナ缺陷ヲ生ズルノデハナイカト云フ心配ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ競馬ノ方ニ政府ノ方針通リノ番組ノ組織ヲ持ヘルトカ、或ハ「アラブ」系ノ抽籤馬ノ制度ヲ設ケルトカ、何カノ制度ニ依ツテ、根本カラ立直シテ、方針ト云フモノト需要ト云フモノガ一致ヲ致シテ行クコトニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ニ對スル對策ヲ御伺ヒ致シマス</p>
<p>○櫛淵政府委員 馬ノ價格ガ近頃法外ニ上リツツアルト云フ傾向ガアリマシタノデ、一般ノ低物價政策ニ關聯ヲシマシテ、馬ノ生産或ハ增産ヲ阻礙シナイ程度ニ於テ、或ル程度ノ價格ヲ決メナケレバナラナイノデハナイカト云フ意味合カラ、各府縣ノ方ニ對シテ餘リニ法外ノ値段ニナラナイヤウニスルツツノ手段トシテ、通牒ヲ出シタノデゴザイマシテ、此ノ馬ノ取引價格ニ付キマシテハ、只今研究中デゴザイマシテ、何れ近ク其ノ決定ヲ見ル筈デゴザイマス、其ノ間一時馬ノ價格ノ騰貴ヲ防止スル手段トシテ、アア云フ方法ヲ講ジタノデゴザイマスニ御決メニナルト云フ御話デアリマスガ、私ハ實ニ不思議ニ堪ヘナイ疑念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、何カト言ヘバ、一體林省一本デ購買スルト云フコトデ、獨占的ニセラレテシマツタ、輕種ト云フノハ、日本</p>	<p>バ、馬政局ノ指導方針ニ副フヤウニ、競馬會ニ方ニ十分指導ヲ致シタイト存ジテ居リマス</p>	<p>○小笠原(八)委員 アト簡單ニ二點ダケ伺ツテ置キマス、今回馬ノ價格ガ暴騰スルト云フ意味カ、或ハ又馬ノ價格ガ諸物價ニ對比シテ高過ギルト云フ意味デアルカ、馬政局長官ノ通牒ニ依ツテ、各府縣ノ各市場販賣サレタニ歲幼駒ニ對シテハ、必ズ賣買價格ノ證明書ヲ與ヘルコトト云フ命令ヲ發シテ居ツタノデアリマス、アレハ一體馬ノ現在ノ取引價格ガ高過ギルト云フ意味デアルノデゴザイマセウカ、又他ニ原因ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一つ御伺ヒ致シマス</p>

競馬會ニ於テヤハリ是モ獨占的ニ公定付ケラレテシマツタ、軍馬購買ハ、是ハアリタケノ豫算ノ振當ニ依ツテ、此ノ購買ニ協力シテ居ルト云フコトハ、御承知ノ通りデアリマス、滿洲移植馬ニ付テモ同様デアル、馬ノ公定價格ト云フモノハ、馬商モ畜產家モ、政府ノ考ヘニ應ジテ成立ツテ居ルノデアリカト云フ心配ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、諸物價トノ對照上、企畫院トノオ附合上斯ニ終ヒノ生產ノ方ニ影響ガアルノデハナイヤヘナイ、故ラニ公定付ケラレテシマツテ、ウ云フ制度ヲ設ケナケレバナラナイコトニナツタノカモ知リマセヌケレドモ、兎ニ角此ノ點ニ對シテハ馬政局ニ於テ相當御心配ニナツテ居ラレマセウカラ、間違ヒナイヤウナ公表ヲサレルデアリマセウガ、併シ一方農林省ニ於テ改革出來ル問題ガアルノデアリマス、何故暴騰シタカト云フト、農林省ガ暴騰サセタノデ、民間ガ暴騰サセタノデモナイ、何處ニ原因ガアルカト云ヘバ、所謂馬ノ購買ニ對シテ、良馬ニ對シテハ百二十圓、中間種ニ對シテハ八十圓ノ助成ヲ與ヘテ、全國各地ノ團體ニ於テ購買セシメタ、其ノ購買力ガ、青森トカ、北海道トカ、岩手ト云フヤウナ一箇所ニ集申シテ、ソレ等ガ耀リ上ゲタ、民間ガ惡イノデモナケレバ、馬商ガ惡イノデモナイ、ソレヲ直スノニハドウスレバ宜イカト云ヘバ、助成ヲヤツテ居ル農林省ガ一本デ委託ヲ受ケテ購入シテ、抽籤ナリ地方別ニ適地ニ適當ナ種類ヲ配給スルト云フコトニ努メサヘスレバ、決シテ暴騰ニハナラナカツタ、補助金ヲ出シテ自由勝手ニ購買ヲサセタカラ、是ガ暴騰スル原因ニナツタト深ク感シテ居ルノデ

アリマス、此ノ點サヘ直スナラバ、却テ只今ノヤウナ公定價格ト云フモノハ——是ハ幅ガアツタカラ、ソコマデ行ツタノハ已ムヲ得ナイデセウガ、今ノヤウナ通牒ニ依ツテ、馬產地ニ動搖ヲ來シテ居ルト云フヤウナコトデ、只今デハ馬ヨリハ比較的經濟的ナ牛ニ乘換ヘ、又飼料其ノ他獎勵金ノ關係カラ山羊トカ、豚ト云フヤウナ小動物ニ乘換ヘルト云フ傾向ガアル、ソレヲ抑ヘルニハ中々骨ガ折レル、隨テ購買ノ點トカ、暴騰ノ點トカ、總テノ點ガ政府自體ニ依ツテ改メ得ラレル、サウシテ民間ノ方ニ餘リ大キナ刺戟ヲ與ヘナイ政策ヲ御執リニナラナイト駄目ダト思フ、是ハ馬バカリデハナイ、總テガサウデアルカモ知レマセヌガ、特ニ馬ハ非常ニ敏感ニ働キ掛ケラレルモノニアルコトハ能ク御承知ノ通リデアリマスカラ、此ノ點改善ヲスベキモノハ即座ニ改善ヲ致シマシテ、今日ノ馬產經濟ニ對シテハ生産費ヲ割ラザル程度ニヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、特ニモウ一ツ申上げテ置キタイコトハ、最高價格ノ公定價格ヲ定メルト同時ニ、最低價格ノ公定ラシナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、此ノ點御研究ニナツテ居ルカドウカラ御發表ガ願ヒタイ、ナゼカト言ヒマスト、牝馬ハ民間モ獨占シタ以上ハ、ソレカラ生産サレタノ所有ニナツテ居ル、牡馬ハ政府ノ獨占トナ決マツタ、配合ノ權利モ農林省ノ特權トナル所ノ制度ヲ設ケルコトニ依ツテ、増產計畫ガ能率ヲ上ゲルモノダト私ハ思フノデアリマス、謂ハバ民間ノ畑ニ對シテ、植付ハ政府ノ獨占デアル、肥料ノ配給モ政

府ノ獨權デアル、サウシテ出來タ生産物ハ、是ガ偶ニ凶作ニ合フトカ、或ハ生産不能ニ陥ツタ場合ニ於テハ補償スルノガ當リ前デアル、ソレガ農作ノ場合ダケ公定價格ニ依ツテ購買スル、不作ノ場合ニハソレハ民間ノ責任デアルト云フコトハ言ハレナイト思フ、馬ニ對シテダケ此ノ制度ガアルト云フコトハ、餘リニ苛酷ニ過ギルト思ハレルノデアリマス、今日農家ハ今マデノヤウニ愛馬思想ニ依ツテノミ馬ヲ生産ヲスルト云フコトハ、段々容易デナクナツテ來タ、ソレハドウ云フ譯カト言ヘバ、此ノ經濟ノ激變ニ依ツテ、都會モ田舎モ生活費ガ殆ド同一ニナツテ來タ、而モ中小業者ノ享樂的ナ傾向ニ依ツテ取引ガ全部現金ニナツタ、現金取引ニナツテ、而モ農產物ノ賣却ハ金ノ支拂ガ圓滑ヲ缺イテ居る時デアリマスカラ、直グ金ノ入ル勞働力ノ方ニ移動スル者ガ非常ニ多イノデアリマス、隨テ馬ノ方モ愛馬心トカ何トカ云フコトハドウシテモ考ヘテ居ラナイ、其ノ日暮シノ爲ニヤハリ經濟化スルコトニ依ツテ算盤ヲ彈イテ馬ヲヤルヤウニナツタカラ是ハ今日急速ニ打撃ヲ受ケタノデアリマス、隨テ生産費ヲ割ルト云フコトハ、ドウシテモ馬産ノ確保或ハ之ヲ擴充スルト云フコトノ爲ニハ、餘程從來トハ考ヘラ異ニシテ檢討シナケレバナラヌ、故ニ凡ニ角度カラ致シマシテ、生産費ヲ割ラザル所ニ最低ノ限度ヲ置カナガ、其ノ方面ニ對シテノ御對策ヲ伺ヒタイノデアリマス

○鰐淵政府委員 馬ハ殆ド國デ買フモノデアルカラ、馬ノ購買價格ハ決メナイデ宜イデハナイカト云フ御意見ニ對シマシテベ、國デ買ヒマスモノニ付テハ公定價格ハ決メマセス、ソレ以外ノ馬ノ移動ヲ考慮致シマシテ、ソレ等ノ一般ノ馬ニ付テノミ公定價格ヲ決メルト云フ考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ公定價格ハ何百圓デアルト云フ決定ハマダ見テ居リマセヌガ、只今ノ御意見ノヤウニ生產費用ヲ割ラナイコトハ絕對條件トシテ居リマス、尙ホ更ニ馬ノ飼養者ガ喜ンデ之ヲ生產シ、更ニ增産スルヤウニ心掛ケテ價格ヲ決メタ伊ト存ジテ居リマス、最低價格ヲ決メマスコトニ付キマシテハ、今ノ一般ノ馬ノ價段カラ見マシテ、今直チニ最低價格ヲ決メナクトモ生産費ヲ割ル心配ハナイト云フ考ヘノ下ニ、最低價格ハ今ノ所決メナイ考ヘテ居リマス、併シナガラ一般ノ物價が非常ニ過渡期デアリ、馬ノ價段モ過渡期デアル爲ニ、若シ急ニ下落スルヤウナ場合ヲ想像シタ場合ニ於テハ、政府ハ機ヲ失セズ此ノ最低價格モ決メナケレバナラスト云フ考ヘダケハ持ツテ居ルコトヲ申上げテ置キマス

○村上委員長 坪山君
○坪山委員 私ハ昨日實ハ他ノ政府委員カラ伺ツタノデアリマスガ、係リガ違フノデ完全ナ答辯ヲ得ラレナカツタノデ改メテ此ノ際申上ゲマス、時間ノ關係デ極メテ簡單ニ御尋ネラ致シマス、農村ノ勞力不足ヲ補マス、モウ一點ハ蹄釘ハ他ニ利用ガ出来マスカラ、其ノ配給ニ關シテハ問題ハアリマセヌガ、鋼材ノ問題デス、現在ハヤハリ日本裝蹄師會ヲシテ之ヲ斡旋サセテヤルト云フ話モゴザイマスルノデ、「シベリヤ」問題ニナリマスノデ、此ノ中繼ノ期間ニ付キマシテハ歐洲ノ某國カラ——向フカラ賣ルト云フ話モゴザイマスルノデ、「シベリヤ」問題モ出出來ル可能性ガアルト思ツテ居リマス、唯ソレマデ今カラ約一年ノ間ガ是等ノ點ニ依リマスコトト、「アメリカ」カラ現在ハマダ一部ヅツハ輸出致シテ居リマスノデ、是等ノ點、其ノ内地ノモノニ依リマシテ、十六年度ダケハ何トカシテ行クヤウニ、只今ソレベ重ニ研究中デゴザイマス

○坪山委員 ドウカ出來ルダケ支障ヲ來サナイヤウニ特段ノ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒニ御尋ネラ致シマス、農村ノ勞力不足ヲ補マス、モウ一點ハ蹄釘ハ他ニ利用ガ出来マス、是ガ出來マシタナラバ御希望ノ通リニ行クト存ジテ居リマス、尙ホソレガ出來マス間ニ於キマシテモ、此ノ日本鋼材販賣株式會社、是ノ實際ノ實施ノ狀況ヲ出来ルダケ改正サセマシテ、現在ノ缺陷ヲ補フコトモ關聯シテ研究ヲ致シテ居リマスゴザイマス、是ガ出來マシタナラバ御希望ノ通リニ行クト存ジテ居リマス、尙ホソレガ出來マス間ニ於キマシテモ、此ノ日本鋼材販賣株式會社、是ノ實際ノ實施ノ狀況ヲ出来ルダケ改正サセマシテ、現在ノ缺陷ヲ補フコトモ關聯シテ研究ヲ致シテ居リマス

○坪山委員 要スルニ品物ガ眞直グニ早ク流レテ、サウシテ業者ガ迷惑ヲシナイ、殊ニ現在ノ如キ農村ノ勞力、或ハ產業上ニ於テ非常ニ勞力ノ不足ヲ來シテ居ル時代ニ於テ、若シ原料ガナクテ完全ナル裝蹄ガ出來ナイ、農馬ヲ完全ニ働カスコトガ出來ナイト云フヤウナコトガアルトスルト、是コソ

殊ニ米國トノ國際關係ハ御承知ノ通リノ状況デアリマス、若シ一朝ニシテ此ノ蹄釘等ニ不足ヲ感ズルヤウナコトガアリマシタナラバ、全國ノ百何十万頭カノ牛馬ハ完全ナル効キヲナシ得ナイト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付テドンナ準備ガアルカ、決シテ心配ハナイノカ、之ヲ一つ御尋ネ申シ上ゲマス

○鰐淵政府委員 蹄釘ノ配給ニ付キマシテハ、昭和十七年度ヨリ國產品ヲ以テ總テ配給ガ出來ルト云フ計畫ヲ只今進メテ居リマシテ、此ノ年ニナレバ十分ノ見込ガ立ツテ居リマス、唯ソレマデ今カラ約一年ノ間ガ問題ニナリマスノデ、此ノ中繼ノ期間ニ付キマシテハ歐洲ノ某國カラ——向フカラ賣ルト云フ話モゴザイマスルノデ、「シベリヤ」問題モ出來自ル可能性ガアルト思ツテ居リマス、其ノ規則ニ依リマスト云フコトニ付テ、只今研究ヲ致シテ居リマス、就キマシテハ只今ノ御意見ノヤウニ、日本裝蹄師會ヲシテ之ヲ斡旋サセテヤルト云フコトニ付テ、只今研究ヲ致シテ居リマス、唯一ツ問題ハ現在鐵管ハ鐵鋼需給統制規則ト云フ商工省デ出シマシタ規則ニ依ツテ致シテ居リマス、其ノ規則ニ依リマスト日本裝蹄師會ノヤウナモノヲ通ズルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマスノデ、鐵管ニ關スル限りハ只今ノ規則カラ除外ヲシテ貴ツテ、サウシテ日本裝蹄師會ニ其ノ配給ヲ幹旋サセルヤウニ只今商工省ト交渉中デゴザイマス、是ガ出來マシタナラバ御希望ノ通リニ行クト存ジテ居リマス、尙ホソレガ出來マス間ニ於キマシテモ、此ノ日本鋼材販賣株式會社、是ノ實際ノ實施ノ狀況ヲ出来ルダケ改正サセマシテ、現在ノ缺陷ヲ補フコトモ關聯シテ研究ヲ致シテ居リマス

米ノ増産ドコロデハナカ、中々重大問題ヲ生ムノデアリマスカラ、ドウカ出來ルダケサウ云フ點ニ付キマシテモ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、私馬政局ニ對スル質問ヲ終ツタノデスガ、委員長ニ御相談デスガ、實臣ニ質問ガアルノデスガ、寧ロ此ノ際政府委員モオイデニナルノデ、私カラ要點ダケ申上ゲテ、適當ナ機會ニ御答辯ヲ願フ方ガ議事ノ進行上宜シイノデハナイカ、御許シガアレバ申上ゲタイト思ヒマス……

○村上委員長 ドウゾソレハ後ニシテ下サイ、少シコチラノ計畫ニ混雜ヲ來スコトモ困リマスカラ……大臣ハ三時ニ出席サレル筈デアリマシタガ、マダ御見エニナリマセヌ、デアリマスカラ一般質問ヲモウ少し進メルコトニ致シマス——小串清一君

○小串委員 大分色々ナ御質問ガアツタノデ、私ノ伺ハウト思ツタコトデ既ニ御答ヘ得テ居ルコトニ付テ御伺ヒスルノハイカスデカラ、私ハ簡單ニ二三ノ多分皆サンカラ御聽キニナラヌヤウナコトヲ御伺ヒシヨウト思ヒマス

第一ニ御尋ネシタイト思ヒマスノハ、今度ノ農地開発營團ニ依ツテ田畠ヲ作ラレル、其ノ作ラレタ田畠が先ダツテノ平野君ノ御尋ネノ時ニ、平均價格ガ一體ドノ位ニ付クカト云フコトニ付テ田ガ三百七十圓、畠ガ百九十圓、固ヨリ各地方ノ狀況ニ依リ、又其ノ土地ノ地積トノ關係ニ依ツテ相違ハアルケレドモ、其ノ邊ヲ目標トスルト云フコトデアリマシタガ、私ハ現在ノ農村ハ是ガ即チ増産ヲ障碍シテ居ル最大ノ原因ト思フ

ノデスガ、田ヨリモ烟ノ方ガ値打ノアルノガ多イノデス、稀ニ確かな何モ出來ナイヤウナ荒地ハ是ハ別デアリマスデケレドモ、収益ノ點カラ考ヘテ見ルト田ノ収益ヨリモ色々他の方モアラウト思フノデ、私實ハ大臣ニ質問ガアルノデスガ、寧ロ此ノ際政府委員モオイデニナルノデ、私カラ要點ダケ申上ゲテ、適當ナ機會ニ御答辯ヲ願フ方ガ議事ノ進行上宜シイノデハナイカ、御許シガアレバ申上ゲタイト思ヒマス……

○村上委員長 ドウゾソレハ後ニシテ下サイ、少シコチラノ計畫ニ混雜ヲ來スコトモ困リマスカラ……大臣ハ三時ニ出席サレル筈デアリマシタガ、マダ御見エニナリマセヌ、デアリマスカラ一般質問ヲモウ少し進メルコトニ致シマス——小串清一君

○小串委員 大分色々ナ御質問ガアツタノデ、私ノ伺ハウト思ツタコトデ既ニ御答ヘ得テ居ルコトニ付テ御伺ヒスルノハイカスデカラ、私ハ簡單ニ二三ノ多分皆サンカラ御聽キニナラヌヤウナコトヲ御伺ヒシヨウト思ヒマス

第一ニ御尋ネシタイト思ヒマスノハ、今度ノ農地開発營團ニ依ツテ田畠ヲ作ラレル、其ノ作ラレタ田畠が先ダツテノ平野君ノ御尋ネノ時ニ、平均價格ガ一體ドノ位ニ付クカト云フコトニ付テ田ガ三百七十圓、畠ガ百九十圓、畠ガ三百七十圓ト云フヤウナ漠然タル考へ方デハドウデアリマセウカ、寧ロ烟ノ方ガ値打ガアルヤウニ考ヘラレルノデスガ、斯ウ云フヤウナ點ガ十分ナ御調べガ出来テ居ルカドウカ、又農林省ノヤウナ収益ノ所カラ全國ヲ見渡ス時ニ、畠ト田ノ収益状況ト云フヤウナコトニ付テ、唯傳統的ニ田ハ畠ヨリ値打が高イノダト云フ御考ヘダト、今ノ農村ノ經濟狀態ト作物ノ収益ノ形カラ行ケバ非常ニ違ツテ居ルノデハナイカト思ヒマスノデ、其ノ邊ノ御所見ヲ伺ヒタ

ノデスガ、田ヨリモ烟ノ方ガ値打ノアルノガ多イノデス、稀ニ確かな何モ出來ナイヤウナ荒地ハ是ハ別デアリマスデケレドモ、収益ノ點カラ考ヘテ見ルト田ノ収益ヨリモ色々他の方モアラウト思フノデ、私實ハ大臣ニ質問ガアルノデスガ、寧ロ此ノ際政府委員モオイデニナルノデ、私カラ要點ダケ申上ゲテ、適當ナ機會ニ御答辯ヲ願フ方ガ議事ノ進行上宜シイノデハナイカ、御許シガアレバ申上ゲタイト思ヒマス……

○村上委員長 ドウゾソレハ後ニシテ下サイ、少シコチラノ計畫ニ混雜ヲ來スコトモ困リマスカラ……大臣ハ三時ニ出席サレル筈デアリマシタガ、マダ御見エニナリマセヌ、デアリマスカラ一般質問ヲモウ少し進メルコトニ致シマス——小串清一君

○小串委員 所ガ今マデ自由經濟時代ニ於ケルサウ云フ平均ヲ以テ此ノ計算ヲナサツシタ所ニ、私ハ非常ナ間違ガアルノデヤナインカト思フ、此ノ土地ノ價格デ今後注意スペキコトハ、此ノ統制經濟ニナツテ國ガ計畫的ニ總テノ物價モ決メルト云フ事柄カラ致シマシテ、只今マデノサウ云フ標準ハ標準ニナラヌノデヤナイカ、是ハ一つノ例デアリマスガ、神奈川縣アタリデ野方耕地方ト申シマシテ、田地ノ非常ニ多イオ米ヲ作コトガ専門デアツテ、燃料ニモ不足シテ藁家ガ多カツタ、所ガ今日ハ其ノ當時野方ト稱シタ相模原邊ノ畠ハ、所謂小麥ヤ大麥ヲ作リ或ハ甘諸ヲ作ルヤウナコトデ、其ノ収益ガ非常ニ少カツタ爲ニ農村ガ割合ニ恵マレテ居ナカツタノガ、現今デハ田圃ノ多イニ付テハ私共ノ方モ非常ニ憂慮致シテ居リマスト、所ニ依ツテ或ハ相當懸隔ガアルダラウト思ヒマス、其ノ際ニ於キマシテハ御趣旨ニ依リマシテ、實行ニ當リマシテ慎重ニ注意ヲ致シタイト思ヒマス、御話ノヤウニ動モスレバ畠作物ノ方ガ値ガ好イ爲ニ、烟ノ方ノ價格ガ上リ勝チデアルト云フコトニ付テハ私共ノ方モ非常ニ憂慮致シテ居リマス、是ハ田畠ノ價格ニ付キマシテハ、二月一日カラ施行致シマシタ農地價格ノ統制令ニ依ツテ不當ニ上ツテ行クコトヲ抑制致シマスル一面、農產物ノ價格等ニ付テモ慎發ノ考ヘ方ヲ、將來又サウ云フ田ノ収益ヲ

賣物代金ノ平均的ナモノヲ申上ゲマシタノハ漠然ト決メタノデハゴザイマセヌノデ、大體昭和元年カラ昭和十四年マデノ十四年間ノ調査ニ依ツテノ田畠ノ賣買事例ヲ作ツタダケモ直グニ二百圓近イ收入ガアル、サウ良クナイ畠デモ百七八十圓ハ現上收入ヲ得ルコトハ容易デナイ、隨テ斯様ナ豫定ガ出來ルカドウカ、最近自作農ノ創設ニ付テ神奈川縣デ政府カラ割當ラレマシタ自作農ノ金ヲ、小作者ニ分配シテ自作農ヲ作ラセヨウトシテ非常ナ苦心ヲシタノデアリマス、殆ド田ト云フモノハ畠ノヤウナ豫定ノ價格デ得ラレナイ、得ラレナイガ故ニ田ハホンノ僅カ持タセタダケデ、自作農十戸作ラセタノハ殆ド田ノ地方デアツテ畠ヲ與ヘタニ過ギナイ、ダカラ此ノ邊ノ狀態ヲ今回ノ大計畫デドウ見ラレテ居ルノデアリマセウカ、地方ニ依ツテ是ヲ得テ居ルコトニ付テ御伺ヒスルノハイカスデスカラ、私ハ簡單ニ二三ノ多分皆サンカラ御聽キニナラヌヤウナコトヲ御伺ヒシヨウト思ヒマス

第一ニ御尋ネシタイト思ヒマスノハ、今度ノ農地開発營團ニ依ツテ田畠ヲ作ラレル、其ノ作ラレタ田畠が先ダツテノ平野君ノ御尋ネノ時ニ、平均價格ガ一體ドノ位ニ付クカト云フコトニ付テ田ガ三百七十圓、畠ガ百九十圓、畠ガ三百七十圓ト云フヤウナ漠然タル考へ方デハドウデアリマセウカ、寧ロ烟ノ方ガ値打ガアルヤウニ考ヘラレルノデスガ、斯ウ云フヤウナ點ガ十分ナ御調べガ出来テ居ルカドウカ、又農林省ノヤウナ収益ノ所カラ全國ヲ見渡ス時ニ、畠ト田ノ収益状況ト云フヤウナコトニ付テ、唯傳統的ニ田ハ畠ヨリ値打が高イノダト云フ御考ヘダト、今ノ農村ノ經濟狀態ト作物ノ収益ノ形カラ行ケバ非常ニ違ツテ居ルノデハナイカト思ヒマスノデ、其ノ邊ノ御所見ヲ伺ヒタ

○周東政府委員 大體田ノ賣却代金、畠ノ

非常ニ多ク見ルヤウナ風ノ例ヘバ米價ヲ非常ニ高クスルトカ何トカ云フ考ガアレバ別ニアリマスケレドモ、今回ノ低物價政策ト凡ユル政府ノ統制經濟ニ移ツテ行ク此ノ戰闘最高ヲ睨合ハセマシテ、其ノ平均價格ト見マシテ、ソレ等ノ平均價格ヨリモ稍、安ク考ヘタノデアリマス、實際ノ賣買價格ノ最低取リマシテソレヨリモ安ク見タ譯デゴザイマス、一應標準ハソコニ置イタ譯デゴザイマス

○小串委員 所ガ今マデ自由經濟時代ニ於ケルサウ云フ平均ヲ以テ此ノ計算ヲナサツシタ所ニ、私ハ非常ナ間違ガアルノデヤナインカト思フ、此ノ土地ノ價格デ今後注意スペキコトハ、此ノ統制經濟ニナツテ國ガ計畫的ニ總テノ物價モ決メルト云フ事柄カラ致シマシテ、只今マデノサウ云フ標準ハ標準ニナラヌノデヤナイカ、是ハ一つノ例デアリマスガ、神奈川縣アタリデ野方耕地方ト申シマシテ、田地ノ非常ニ多イオ米ヲ作コトガ専門デアツテ、燃料ニモ不足シテ藁家ガ多カツタ、所ガ今日ハ其ノ當時野方ト稱シタ相模原邊ノ畠ハ、所謂小麥ヤ大麥ヲ作リ或ハ甘諸ヲ作ルヤウナコトデ、其ノ収益ガ非常ニ少カツタ爲ニ農村ガ割合ニ恵マレテ居ナカツタノガ、現今デハ田圃ノ多イニ付テハ私共ノ方モ非常ニ憂慮致シテ居リマスト、所ニ依ツテ或ハ相當懸隔ガアルダラウト思ヒマス、其ノ際ニ於キマシテハ御趣旨ニ依リマシテ、實行ニ當リマシテ慎重ニ注意ヲ致シタイト思ヒマス、御話ノヤウニ動モスレバ畠作物ノ方ガ値ガ好イ爲ニ、烟ノ方ノ價格ガ上リ勝チデアルト云フコトニ付テハ私共ノ方モ非常ニ憂慮致シテ居リマス、是ハ田畠ノ價格ニ付キマシテハ、二月一日カラ施行致シマシタ農地價格ノ統制令ニ依ツテ不當ニ上ツテ行クコトヲ抑制致シマスル一面、農產物ノ價格等ニ付テモ慎發ノ考ヘ方ヲ、將來又サウ云フ田ノ収益ヲ

○小串委員 丁度價格ノ話ガ出マシタノ
デ、農産物ノ價格ノコトニ付テ少シ御尋ネ
シタイト思ヒマス、同僚ノ方カラモ既ニ價
格ノ問題ハ色々御尋ネガアツタヤウデスガ、
私ハ他ノ觀點カラモウ一度伺ツテ見タイト
思ヒマス、一體此ノ食糧其ノ他重要農產
物ノ價格ノ決定ハ、從來商工省ノ手ニアツ
タモノガ農林省ニ統一サレタコトハ非常ニ
結構ナコトデアツテ、私共非常ニ喜ンデ居
ル譯デアリマス、併シ從來公定價格ト云フ
モノヲ決メルニ當ツテハ、極力「インフレ」ヲ
防止スルト云フ考へ方デアリ、又實際ニ於
テ公定價格若シクハ停止價格、協定價格ト云
フモノガ「インフレーション」ヲ豫防スルニ
相當役立ツテ居ツタト云フコトモ私共十分
認メテ居リマスガ、併シ又同時ニサウ云フ
價格ノ決定ガ正鵠ヲ得ナイ爲ニ、非常ニ生產
ヲ妨害シテ居ル、即チ農林省ガ「昨年カラ
昨年ニ掛ケテ増產計畫ヲ御立てニナツテ居
ルガ、ソレガ實際ハ完全相違シテ減產ニ陥ツ
タト云フコトハ、天候其ノ他ニ依ツテ起ツ
テ居ル米ノヤウナ問題モアリマスケレドモ、
併シ價格ノ點ガ非常ニ之ヲ支配シテ居ツタ
ト云フコトヲ私ハ信ズル者デアリマス、ソ
レデ此ノ間カラ大問題ニナツタ米價ト他ノ
物價トノ關係ニ付テハ、申上ゲルマデモナ
ク如何ニ不均衡デアリ、如何ニ不當デアル
カト云フコトハ分り切ツテ居リマスガ、是
ハ政治的ノ政策モアリ、彼此レ申スコトハ
アリマセヌ、併シ日常ノ問題デ、例ヘバ畜
產物ノヤウナモノデモ、價格ノ爲ニ非常ニ
生産ガ激減シテ居ル、馬ハマダ公定價格ハ
決マツテ居リマセヌ、牛ノヤウナモノハ一
方ニ於テ飼料ハ高クナツタガ、サウマダ變
化ハナク、殊ニ一方牛乳ノヤウナモノハ今

非常ニ需要ガアル爲ニドウヤラ維持シテ居ル、增加力ハナイガ維持シテ居リマス、併シ豚ノヤウナモノハ飼料ガ非常ニ高クナツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ價格ノ決定ガ無理ナ爲ニドンヽ生産ガ減ジテ行ク、是ハ今ノ價格ノ決定ノ仕方、商工省ノ今マデノ考へ方ヲ根本的ニ改メナケレバイカヌ、即チ農林省ハ今マデノ決定ヲ根本的ニ改メテ戴キタイ、私ノ一番考ヘテ居ルコトハ、公定價格ト云フモノハ或ル基準ヲ定メタラ、餘リ細カイコトヲ決メナイ方ガ宜イノデハナイカ、例ヘバ豚ノ肉ノ方デ申シマスト、豚ノ庭先相場ト云フモノハ百匁三十錢^デアリマス、ソレヲ百姓ノ家カラ百匁二十七錢^デ買スル場合ニハ一等肉ガ一圓、二等九十錢、三等七十錢、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ昨年ノ暮デアリマスガ、商工省ニ行ツテドウシテコソナ偏頗ナ價格ヲ決メタカト言ツテ、ソレドヽ卸小賣ノ關係トカ何トカ云フモノヲ聽イタラ説明モアリマシタガ、全ク事實ヲ裏切ツテ居ル、ト云フノハ百姓ガ賣ル豚八百匁二十七錢^デアツテ、飼料其ノ他ノ關係カラ言ツテ一箇月ノ飼料代ト肉ノ殖エテ行クノヲ比較シテ見ルト、カラ成タケ豚ハ止メルヤウニナル、一方又サウ云フコトデ枝肉ノ價格ニ非常ニ無理ガアルカラ、商人ガ其ノ値デ豚ヲ買ツテ來ルト、一頭デ二十圓、三十圓儲カル、公定價格ヲ決メラレタ爲ニ豚ノ肉ヲ扱フ商人ハ、コ

コ半年以上非常ニ得ラシテ居ル譯アリマス、ソレガ爲ニ今度ハ豚肉ヲ原料トスル所ノ、國策上陸海軍ノ糧食ニモナツテ居ル所ノ「ハム」ノ如キモノハ殆ド生産ガ半分以下、三分ノ一位シカ日本デ生産シテ居ナイ、豚其ノモノモ神奈川縣ダケノ例ヲ取ツテ申シマシテモ、調べテ見ルト八万頭アツタ豚ガ、只今ハ四万頭バカリシカナイ、是ハヒトイ激減デス、是ハ一つハ飼料ガ人間ノ食物ト同ジナル爲ニ、飼料獲得難ト云フコトモアリマス、斯ウ云フ場合デモ、小賣値段ダケ決メテ、アトノ價格ハイツソ餘リ干渉シナインラバ私ハ斯ウ云フコトハナイノデヤナイカト思フ、ソレハ斯ウ云フ例モアリマス、例ヘバ甘諸ノヤウナモノデモ、此ノ頃市中ニ甘諸ガアリマセヌ、都會ニハ生ノ芋ハナイ、必ズ煮テアルカ蒸カシテアル、ト云フノハ蒸カシタモノハ加工品ト稱シテ價格ガ非常ニ好イ、生ノ芋ヲ買ハウトシテモ、八百屋ガ生デ賣ツテハ合ハヌカラ皆蒸カシテシマフ、魚ナドハ、現ニ私ハ經驗ヲシタガ、烏賊ナンカハ此ノ二三日生烏賊ハナイ、魚屋ガ來タカラ烏賊ガ食ベタイガ生ウ賊ハナイカト言ツタラ、今ハ生ノ烏賊ハアリマセヌ、烏賊ヲ捕ヘタラソレヲ茹デル、茹デルト云フト加工品ト稱シテ値段ガ五割ダケ高クナル、唯茹デタダケデ五割高クナルノデス、斯ウ云フヤウナコトハ價格ヲ決定スルニ當ツテ、商工省ノ方々ガサウ云フ實際ヲ餘リ細カニ想像ナサルカライケナイ、或ル一定ノ基準價格ヲ作ツタラ、アトハ餘リクダララニ干涉ラシナイ方ガ宜宣ノデハナイカ、サウ云フ干渉ノ結果トシテ、總テノ生産力ヲ増強シヨウト云フノニ實際ハ非常ニ減ジテ居ル、現ニ農產食糧品デ各

府縣ニ割當テタモノモ、天候ニ支配サレテ
其ノ通り行カナイモノモアリマスケレドモ、
斯ウ云ツタ價格、若シクハ統制ノ方法、若
シクハ配給ノ方法ガ當ラ得ナカツタ爲ニ激
減ラシテ居ルヤウナモノモ澤山ゴザイマス、
殊ニ斯ウ云フコトハ、急ヲ要スルコトデア
リマスカラ、コンナ偏頗ナモノガ一ツデモ
見付カツカラ、一刻モ早ク變ヘテ行クト云
フヤウニ農林省ニ御願ヒシタイト思ヒマス、
之ニ對スル御考ヘヲ一ツ承ツテ置キマス
○周東政府委員 時局下ニ於テ生產力ノ減
退ヲ來サヌヤウニシ、且ツ一般大衆ノ生活
ヲ脅威セヌヤウニ必需物資等ノ價格ヲ決メ
云フコトガナカツタダケニ非常ナ骨折ニア
リマス、難カシイコトデアルコトハ御承知
ノ通リデアリマス、從來食糧品等ニ關シマ
スル價格ノ公定等ハ、主トシテ商工省ノ管
轄デアリマシテ、商工省デオヤリニナツテ
居ツタノデアリマスガ、吾々ハヨクマニアア
スコマデ苦シイ困難ナ仕事ヲオヤリニナツ
タモノダト實ハ内々恐縮シテ居ル譯デアリ
マス、併シ何様初メテノ事柄ニ付テ價格ノ
公定ヲ致シタコトデアリマスルシ、或ハ色
色ノ場合ニ御非難ヲ受ケルヤウナ點モアル
カトモ存ジマス、此ノ度生鮮食料品等ニ關
スル價格ノ公定關係ニ付キマシテノ所管ガ
農林省ニ參ツタノデアリマスルガ、上司カ
ラモ此ノ際能ク各方面ノ御意見ヲ承ツテ檢
討スルヤウニト云フコトニモナツテ居リマ
スシ、能ク御趣旨ヲ體シマシテ研究致シマ
シテ、若シソコニ缺陷ガアリマスレバ早速
之ヲ改訂シテ行クト云フコトニ付キマシテ
ハ、私共ノ方ハ全ク御意見ノ通りヤツテ行
キタイト思ツテ居リマス、唯從來ノ價格公

定ト云フモノガ、唯價格ダケ決メレバ宜イ
ト云フ形デナク、ヤハリ其ノモノノ付
テノ配給機構ト密接ナル關係ヲ保チツツ價
格ヲ決メテ行クコトガ必要デアラウ、斯ウ云
テ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ等ニ付キマシ
テモ關係各局部ト連絡致シマシテ、能ク檢
討シテ其ノ方面ニ向ケテ行キタイト思ツテ
居リマス

○小串委員 只今ノ御考ヘハ無論サウナケ
レバナラヌコトデアリマスガ、今私ノ申シ
マシタ通り、價格ノ決定ハ、餘リ細カイ所
マデ入り込ンデヤルコトガ、當ノ失スル原
因デアルト云フコトト、モウ一つハ、從來
ハ商工省デアルナラバ、商工省ニ出入スル
商人アタリノコトヲ参考ニサレテ居リ、實
際ノ生産者デアルトカ、各方面ノ關係者ノ實
際ヲ御調べニナラヌ、是ハ中々手モ要ルシ、
暇モ要ツテサウモ行カヌデセウガ、サウ云
ツタヤウナ注意ガ足ラヌ點ガアルノデハナ
イカ、今仰シヤルヤウニ配給關係ハ無論非
常ニ必要デアリマス、近來價格ヲ全國的ニ
同ジ値段ニシテ置クト云フコトモカシナ
話デ、是ハ運賃其ノ他ノモノヲ加除シテ、
ト云フコトニナルカラ、生産者ハ成ベク費
用ノ掛ラヌ地方デ處分シテ居ル、遠クヘ持
ツテ行ケバ、運賃ヲ自分で背負ヒ込マナケ
レバナラヌト云フヤウナコトガ今盛ンニア
ルノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ御決
メニナルニハ——殊ニ農林省デ今後オヤリ
ニナルニハ、農業生産者方面ノ意見ヲ十分
ニ御採リニナルコトガ必要デアル、今マデ
商工省ノヤラレタヤウナ、役所ニ出入スル
商工業者ノ大キナ問屋トカ、其ノ他ノ連中

○周東政府委員 只今申シマシタヤウニ私
ノ意見ダケデ決メテ居ツタト云フコトニ餘
程缺陷ガアツタノデハナイカト私ヘ思フ、
モウ一つハ、二度言フヤウデスガ、役所ト
シテ一旦決メタモノヲ直スト云フコトハ役
所ノ面目ニ係ハルト云フヤウナコトデ、ソ
レヲオヤリニナラヌガアル、是ハ實例ヲ
舉ゲルトオ役所ニ惡イカラ申シマセヌガ、
或ル縣デ特殊ノ品物ニ對シテ値段ガ分ラナ
イカラ役所ニ御聽合セラシタ所ガ——是ハ
農林省ノ關係デスガ、此處デハ唯例トシテ
申シテ置キマセウ——是ハ斯ウ云フ部類ニ
屬スルモノダト云フコトデ其ノ値段ヲ決メ
ラレタノデ、縣デハサウヤツタ、所ガソレ
ハ當業者ニ聽クト全然反対ダ、一寸變ツタ
品物ダモノデスカラ間違ヘラレタノデスガ、
ソレデ早速行ツテ、斯ウ云フ譯ダカラ困ル
ト言フト、ソレデハ改メテ地方長官カラ書
面ヲ出シテ吳レ、サウ言ハレタカラ直グ直
スト云フコトハ困ルト云フノデ、往復ニ三
箇月程掛ツタト云フ、餘リ是ハ實情ハ申シ
マセヌガ、サウ云フコトハ斯ウ云フ時代ニ
ハ面目ニ囚ハレズニ、是ハ實際間違ツタノ
デスカラ、間違ツテ決裁ニナツタコトデモ
直グ直シテ貰ツテ一向差支ナイノデハナイ
カ、斯ウ思フノデアリマス、詰リ値段ヲ決
メルコトハドウカ、大局カラ見テ、斯ウ
ヤツタ方ガ生産ニモ宜イ、配給ニモ適當ダ
ト思フ點デ決メテ戴クコトト、今ノヤウナ
シテ戴クコト、ソレカラ値段ヲ餘リ細カニ
決メルコトハドウカ、大局カラ見テ、斯ウ
ヤツタ方ガ生産ニモ宜イ、配給ニモ適當ダ
ト思フノデスガ、若シ何デシタラ後デモ宜
シウゴザイマス

○小串委員 共ノ方デ只今慎重ニ検討致シテ居リマス、
若シモソコニ缺點ノアリマスモノニ付キマ
シテハ、御話ノ通リ私共面目トカ云フコト
シテハレナイデ、國民全般ノ爲ニ本當ニ能
ク行ケバ宜シノデアリマスカラ、至急改
メルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、唯價
格ノ問題ニ付キマシテ、決メ方ガ細カイト
云フ御話ヲ從來隨分聞クノデアリマスガ、
是ハ結局決メル方モ、又決メラレル方モ、
一般消費者モ、オ互ヒガ皆公定價格ニ關ス
ル精神ヲ段々理解シテ戴クト云フコトモ一
ツ必要デアラウト存ジマス、役所ノ方デ折
角決メテモ、其ノ穴トカ、拔ヶ道ガアレバ、
又ソレヲ利用シテ潛ツテ行クト云フヤウナ
方法モアリマスノデ、勢ヒ役所方面デ考ヘ
マスト、サウ云フ潛ラレルコトハ厭ヤデス
シ、潛ラレテ來ルト、アア云フ缺點ガアル
デハナイカト云フヤウナコトヲ言ハレルノ
モ厭ヤダシ、ツイ細カクナリガチナ所モア
ラウト存ジマス、是ハ各方面ガ公定價格
ノ必要ト云フコトヲ能ク諒解シテ戴イデ、
與ニ俱ニ協力シテ戴クト云フ形デナケレバ
ナラヌト存ジマス、其ノ方面ニ於キマシテ
モ、若シモ誤リガアリマスレバ、決シテ面目
ナドニ囚ハレズ、直スヤウニヤツテ行キタ
イト考ヘテ居リマス

○小串委員 シテ戴クコト、ソレカラ値段ヲ餘リ細カニ
ニ對シテ、重政サンアタリハ大變樂觀的ナ
御答ヘガアルノデアリマスガ、實際春肥ナ
ドノ手當ハ十分ニ行ツテ居リマスカ、春肥
ガ來ハシナイカ、又はハ場所ニ依リマスガ、
冬期ノ如ク照ツタ爲ニ、夏ニ非常ナ雨量方
アツテ、一昨年ノ神戸アタリノ水害ノヤウ
ナコトモ考ヘナケレバナラヌ、水害ノ方ハ
寧ロ一部分デアルガ、ドウモ心配ナノハ、
地ノ中マデ割レ切ツテ居ル今日ノ狀態デ、
現ニ千葉方面ナドモ本年ハ非常ナ旱魃デア
ル、私ノ縣ナドハ少イト申シテモ作付不能
ノ土地ガ可ナリアル、ソレ等ノ土地ニ只今
色々ナモノヲ播付ケタリ、或ハ生エテ居ル

ノモアリマスケレドモ、是ハ一ツ餘程本省
デ御考ヘニナツテ、此ノ増産ノ一刻ヲ争フ
急務ノ時ニ、サウカト言ツテ是等ノ土地ヲ
掘起シテ馬鈴薯ヲ植エテモ、非常ニ雨ガ
降ツテ馬鈴薯ガ腐ツテシマフト云フコトニ
ナツテモ困ル、是ハ速力ニ御考ヘニナツテ
適當ナ方策ヲ御執リニナルコトガ必要デア
ル、即チ是等ノ豫算ガ議決ニナレバ、今ノ
ヤウナ急ヲ要シ、而モソレガ適當ニ水ヲ興
レバ立派ニ米ガ穫レル所、或ハ又水ヲ排除
スル方法ガアレバ、熟田デアリマスカラ、
直グニ役立ツト云フモノニ向ツテ全力ヲ舉
ゲル必要ガアリハシナイカ、サウ云フコト
ニ付テノ御注意ガ此ノ豫算ノ中ニドウ云フ
風ニナツテ居ルカ、安心ノ爲ニ伺ヒタイト
思ヒマス

コトハ、豫算委員會其ノ他ノ大臣ノ答辯デモヤラナイ、總動員法デ無理ニヤルト云マデバランニナツテ居ツタモノヲ纏メルヤウニ機宜ノ處置ヲ執ツテ見タイト云フヤウナ意味ノ大臣ノ御言明ハ屢々聽イテ居リマスガ、私ハ所管省トシテ茲ニ御考ヘニナラナケレバナラヌ問題ダト思フノハ、近頃農業報國ノ意味ニ於テ凡ユル團體ガ動キ出シタコトハ非常ニ良いコトダトハ思ヒマスケレドモ、例へば大政翼賛會ガ農業報國推進隊ヲヤツテ、之ヲ推進機關トシテ一村ニ一人ヅツサウ云フ青年ヲ作ツテ、ソレガ他ノ何十人ノ青年ヲ纏メテ行カウト云フは良イコトデス、併シナガラ近頃ソレト同ジヤウニ農業協同體建設聯盟ト云フヤウナモノヲ産業組合デ指示シテ居ラレルラシイガ、相當ノ金ヲ使ツテ實際活動シテ居ル、地方ニ依ルト、ソレ等ノ若イ人達ノ大會デ隨分不穏ナ演説モアリ、政治的ニ、丁度政黨ノ院外團ガ色々ノ決議ヲスルト同ジヤウナ形ガ近縣ニモアルヤウデアル、中ニハ眞面目ニ農會其ノ他ノ團體ト聯携シテヤツテ居ルモノモアリマスガ、是ハ一つノ團體トシテ起ツテ居リマス、ソレカラ厚生省ノ方デモヤハリ青年ヲ指導シテ色々ナ活動ヲサセル、或ハ學生ヲ勤員シテヤル、是ハ無論善イコトデスガ、例ハ學గルトマダ澤山アリマスガ、サウ云ツタ團體ガニヨキノ憂國ノ爲ニ出ル、是ハ結構ノヤウデアルガ、私ハ是等ノ團體ガ本當ニ鍼ヲ持チ、本當ニ第一線ニ立ツテ動クト云フヨリモ、唯掛聲ヲシテ集ツテ騒グト云フヤウナコトガ多イヤウニ思フ、今日マデ農業團體ノ部門ガ餘リニ細力ク分レタ爲ニ統合ヲ要スル、殊ニ戰時國防國

家建設ノ爲ニ協力態勢ヲ整ヘル必要ガ起ツテ來タ其ノ際ニ、ヤハリサウ云フ意味デハアルガ、サウ云ツタ青年層ニ呼掛ケル所ノ團體ガ各々「ブロック」ヲ作ツテ、産業組合ノ陣營ニ依ルモノモアレバ、或ハ他ノ教化團體ノ陣營ニ依ルモノモアリ、色々アツテ、ソレガ農村ニ一時ニ入り込ンデ来テ、ソレ等ノ連絡ガ思フヤウニ行カナイ、バラバラニナツツ居ル爲ニ、農村ガ食糧増産ノ一點ニ全力ヲ擧ゲテ總動員ヲシテ行カウト云フ時ニ、却テ逆ニ摩擦ヲ起シテ居ルト云フヤウナコトヲ近頃見掛ケテ居リマス、一體食糧増産ノ爲ニ人的資源ヲ運用スルコトハ農林省ガ中心ニナラケレバナラヌ、假ニ保健衛生ノ上カラ厚生省ガ動キ、或ハ内務省ガ町村監督ノ上カラ動キ、或ハ又民間團體デハ、產業組合ト云フヤウナ大キナ經濟團體ガ動キ出スト云フコトモ惡イコトデハナイガ、其ノ中心ハ食糧増産ニ關スル限リ農林省ガ中心トナツテ、今度御決メニナツタ農業技術員若シクハ篤農家、凡ユル者ヲ統一動員致シマシテ、サウシテ之ニ依ツテヤル、色々ナ會ヲ作ツテ、ソレド^ム團長ダノ理事ダノト云フ役員ヲ作ツテ、オ互ヒニ別々ノ所ニ集ツテハ色々ナコトヲヤル、私ハ或ル程度マデ農林省トシテハ食糧増産ニ關スル限リハ、是ハ農林省ノ持場ダ、農會ナラ農會ノ技術員或ハ畜產技術員ト云フ者ハ農林省ガ監督シテ、是等ガ中心トナツテスト何デスケレドモ、寧ロ農會ノヤウナモノヲ中心トシテ之ニ統合サセテ行ク、若シモ斯カル指導團體ト申シマスカ、指導ニ立

ツ者ガ凡ユル所ニ濫用シテ居ル有様ヲ農林省ニ默認シテ居ラレルト、是ハ大變ナ害ニナルンヂヤナイカ、斯ウ云フコトヲ切實ニ感ジテ居リマス、實ハ是ハ大臣ニ御考ヘヲ伺ハウト思ツタノデスケレドモ、無論大臣ノナサルコトハアナタ方ガ決メルコトガ多イノダカラ、アナタ方ノ考ヘガ斯ウ云フ所ニ及シニテ來テ居ル、現在サウ云フ弊ヲ起シツアアルト云フ點ニ付テ、ドウ云フ御考ヘモ同感デアリマス、食糧増產ト云フコトニ對シマシテハ、其ノ計畫ハ勿論ノコト、其ノ計畫ニ副ウテ如何ナル形ニ人ヲ動カスカ、勤員スルカフト云フヤウナ關係ニ於キマシテハ、農林省ガ中心ニナツテ各方面トモ連絡協調シ、各方面ノソレノノ持場々々ニ於テ農林省ノ計畫ニ協力シテ戴クノデアトル云フヤウナ方向ニ進ンデ行カナケレバナラヌ、斯様ニ存ジテ居リマス、御話ノヤウニ最近或ハ二、三ノ方面ニ於テ、食糧増產ト云フ事柄ニ對シマシテ、憂國ノ至誠カラ出ルコトデハアリマセウガ、別々ニ色々ナ會合ガ催サレテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、遺憾ニ考ヘテ居リマス、併シソレ等ノ事柄ニ關シマシテ農林省トシテハ、團體ニ對シマシテハ、農會、產業組合ト、其ノ間ニ密接ナ連絡ヲ執ラセテ、一本ニシテ農業報國ノ爲ニ動イテ貰フヤウニ仕向ケテ行クニシテ、努メテ連絡ヲ執ツテ居リマスカラ、御諒承ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○小串委員 是ハ私ハ非常ニ憂慮シテ居リマスノデスガ、大政翼賛會ノ團體モ宜イノデス、併シ私ハヤハリ中心ヲ置カナケレバナラスト思フ、農林省ガ中心ニナルト云フコトハ——農林省ノ配下ニアル所ノ團體トシテハ、生産ニ從事スルモノハ私ハ農會ガ一番大キナ團體デヤナイカト思フ、ソニデ系カラキツチリト命令ヲ出シテ、ソレノ外廓團體ト云フモノハ、或ル程度ソレト連絡シテ、其ノ指導ヲ受ケル、產業組合ハ非常ナル有力ナモノデスケレドモ、是ハ生産ト言フヨリ寧ロ配給ニ重キヲ置クベキモノデアリ、農家ノ金融ニ重キヲ置クベキモノデアルカラ、兩方ガ一致シナケレバ駄目デアリス、茲ニ中心ヲ一ツ置カナクテハナラヌ、ドレモ皆同ジヤウナモノダト云フ形デ、アルカハアツチ、コツチハコツチトナツタンデヤ駄目デヤナイカ、是ハ今非常ナ大問題ト思ヒマスカラ、實ハ大臣閣下ニモ御取次ヲ願ヒ、之ニ付テノアナタ方ノ御考ヘモモウ一應伺ツテ置キタイ

○周東政府委員 農林省ノ增產計畫ノ一つトシテ、其ノ實行方法トシテハ御話ノヤウニ農會ト云フモノガ大體中心ニナツテ居リマス、午前中モドナタカノ御質問ニ對シテ御答ヘシタカト思ヒマスガ、此ノ際農林省ニ立ツテ指導獎勵ノ任ニ當ツテ居ツタ所ノ縣農會トカ、或ハ郡農會ダトカ、或ハ町村農會ダトカ、或ハ產業組合トカ、斯ウ云フモノヲ全部抜キニシテ豫メ既ニ於キマシテ食糧增產技術中央本部ト云フモノガ出來テ、ソコニ部局ヲ統一シテ各擔當ヲ決メテ精進シテ居リマスガ、地方廳ニ關シマシテモ、農林省ハ連絡シテ、農林省ノヤラントスル增產計畫ニ對シテ、外廓的ニ是ノ援助協力ヲ求メルト云フヤウナコトニシテ、努メテ連絡ヲ執ツテ居リマスカラ、本部ヲ置ク、更ニ下ツテハ町村農會ガ中心ニナツテ指導本部ヲ置イテ指導ニ當ル、斯ウ云フ行キ方ニナツテ居リマス、ソレ等ノ事實ハ政府ト表裏一體ノ行動ヲ執ツテ居ラ

事柄ヲ實踐ニ移ス前提トシテ、一月ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ郡農會技術員、縣農會技術員ヲ東京ニ集メテ、增產ノ必要性及ビ協力ヲ求メ、最近ニ於キマシテハ町村農會ナラ系統農會ヲ中心トシテ、之ニ上カラキツチリト命令ヲ出シテ、ソレノ外廓團體ト云フモノハ私ハ農會ガ一體ナラバ、然ルニ農林省ノ方針モ聞イテ居ラヌカラ知リマセヌケレドモ、地方ニ出テ行クト云フト、サウ云フヤウニ全ク農會關係ノ指導機闘、獎勵機關ト云フモノヲ「オミット」シテシマツテ、小學校ノ教員トカ、或ハ婦人会ノ役員トカ、斯ウ云フモノデヤツテ居ルト云フノガ事實デアル、是デ果シテ今後ノ大增產運動ヲ本當ニ乘切ツテ行ケルカドウカ、運動ノ方法、命令ハ一途ニ出テ規則正シクヤツテ行クコトガ一番效果的ダト思フ、テシマツテ、小學校ノ教員トカ、或ハ婦人会ノ役員トカ、斯ウ云フモノデヤツテ居ルトカ、或ハ協力會議ノ者トカ、婦人會ノ役員トカ、斯ウ云フヤウナ者ヲ大阪ニ集メテ、サウシテ食糧增產ニ對スル運動參リマシタガ、其ノ時ニハ地方支部ノ「リーダー」トカ、或ハ協力會議ノ者トカ、婦人會ノ役員トカ、斯ウ云フヤウナ者ヲ大阪ニヤツテ居ル、其ノ時ニハ無論縣カラハ經濟部長カ何カ出席シタ、所ガ從來此ノ食糧增產ノ第一線ニ立ツテ指導獎勵ノ任ニ當ツテ居ツタ所ノ縣農會トカ、或ハ郡農會ダトカ、或ハ町村農會ダトカ、或ハ產業組合トカ、斯ウ云フモノヲ全部抜キニシテ豫メ既ニ於キマシテ食糧增產技術中央本部ト云フモノガ出來テ、ソコニ部局ヲ統一シテ各擔當ヲ決メテ精進シテ居リマスガ、地方廳ニ關シテ置キマス、只今ノ小串君ト農會君カテモ、系統ガ皆達フト云フコトハ變ナモノテ、サウシテ翼賛會ガ何等サウ云フモノニ設ノサウ云フ團體ヲ「オミット」シテシマツテ、サウシテ翼賛會ガ何等サウ云フモノニ關係ナカツタモノヲ寄セテヤツテ居ル、斯ウ云フコトハ一體運動其ノモノガ惡クナクノ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○小串委員 肥料ニ付テハ同僚カラ色々御尋ねガアツテ既ニ御答ヘガアツタノデアリラ其ノ方針ヲ此ノ委員會ニ示サレルヤウニ致シテ戴イタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、此マスガ、私ハ肥料ニ付テモウ少シ狀況ヲ大意シテ戴イタ方ガ宜イト思ヒマス

ハ肥料デアリマシテ、其ノ肥料ハ、硫安ニ
於テハ昨年ヨリモ二十万「トン」位餘計ニ見
ルコトガ出来ル、加里ト磷酸ハサウハ行カナ
イト云フコトデアリマンタガ、最近肥料ヲ扱
ツテ居ル東京ノ相當ノ會社ノ連申ニ會ツテ、
今年ノ肥料ハドウダト言ツテ色々聽イテ

見タ所ガ、駄目デス、硫安ハサア昨年ヨリ
多クテ八万「トン」出來タラ先ヅ關ノ山デセ
ウ、加里ハ去年マデノ使ヒ残リガアルガ、

「ドイツ」カラ「シベリア」ヲ通ツテ來ルト云
フノモマア話ダケデ駄目ラシイ、ソレデハ
非常ニ必要ナ磷酸ハドウカ、ト言フト、是

モ非常ナ遠方カラ來ル、朝鮮其ノ他デハ殆
ド礦石ヲ御採リニナラヌシ、南洋方面デモ

十分デナイト云フノデ、ドウモ非常ナ悲觀

論ヲ聞イテ居ルノデアリマス、ソレデ此ノ

モ出シヤウガナイデセウガ、硫安、臺灣肥

料ノ如キハ軍需工業ト非常ニ密接ナ關係ノ

アルモノデアリマスケレドモ、何トカシテ
出来得ル限り相當窒素肥料ヲ殖シテ貰ヒタ

イ、ソレカラ都市ノ糞尿ノ問題モ、今少シモ

解决サレナライデ海ニ捨テタリ流シテ居ル、

斯ウ云フコトモ何トカシナケレバナラナイ、

又ドウシテモヤラナケレバナラヌ、自給肥

料ナンカニ付テモ、更ニ一層、學校トカ色々
上ニ最モ大ナル關係ガアリマスガ、此處デ

今マデ考ヘラレテ居ル勞力ヲ勤員シテマデ
ヤル、兎ニ角肥料ト云フモノハ生産確保ノ

ヘマスト、甚ダ不安ニ堪ヘナイノデアリマ
シテ、之ニ對スル當局ノ手配、考ヘト、若

シ差支ヘナケレバコンナ風ニナツテ居ルト
云フ様子ヲ承レバ結構デスガ、兎ニ角モウ

少シ私共ノ安心出來ル程度ノ御答ヘヲ仰ギ
タイト思フノデアリマス

○重政政府委員 最近ノ肥料ノ情勢ニ付キ
ガ物動ノ説明ヲセラレタ後ニ、農林大臣カラ
ラ詳細ニ御説明ニナツタ所デ御承知ヲ願ヒ

タイト思フノデアリマス、只今小串サンカ
ラ非常ニ心配デアルト云フ御話ガアリマシ

タガ、勿論物ニ依ツテハ樂觀ヲ許サナイモ
ノモアリマスケレドモ、少クトモ此ノ春肥

トシテ既ニ割當致シマシタ化學肥料ニ付
テハ、先ヅ現在ノ所御安心ヲ願ヒタイト考

ヘルノデアリマス、硫安ニ付キマシテ只今
モ御話ガアリマシタガ、前肥料年度ニ比べ
テ此ノ肥料年度ニ於キマシテハ、吾々ハ增
產數量ヲ七万「トン」餘リト豫定致シテ居ツ

タノデアリマスルガ、一月末ノ本肥料年度
ノ半年間ノ總計ニ於キマシテ、既ニソレダ

ケノ吾々ノ豫定ヲ超エテ増產ガ出來テ居ル
實績デアリマス、是ハ關係各官廳ノ非常ニ
熱心ナル協調ニ依ルコトハ勿論デアリマス

ケレドモ、同時ニ製造家諸君並ニ第一線ノ
工場ニ勵イテ居ル技術家諸君ノ、職域ニ應
ジテノ非常ナル御奉公ノ賜モノデアルト喜

シデ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ只今
申上ゲマスヤウニ、硫安ニ付キマシテハ現
在ノ所、此ノ春肥ニ付テハ配給ノ豫定ノ完
遂が出來ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、
尙ほ他ノ機會ニモ申上ゲタノデアリマスガ、
此ノ際重ネテ申上ゲテ置キタイコトハ、此
ノ春肥ニ於キマシテハ、適期配給ガ前年ノ

同期ニ比シテ非常ニ改善ヲ致サレルト云フ
コトデアリマス、硫安ニ於キマシテモ、本
年ノ一月乃至四月ニ配給ヲ致シマス數量ハ

大體前肥料年度ノ同期ニ比ベマシテ六万
大體前肥料年度ノ同期ニ比ベマシテ六万

「トン」餘リノ增加デアリマス、石灰窒素ニ
付キマシテモ、此一、四月ニ配リマスモノ
ハ、前年ノ同期ニ比スレバ、一万九千「ト
ン」約二万「トン」モ多イト云フ實情デアリ
マス、過磷酸石灰ニ付テモ同様ノコトガ言
ハレルノデアリマシテ、適期配給ノ改善ハ

相當時待ガ出來ルト考ヘテ居ル次第デアリ
マス、石灰窒素ニ付キマシテハ、前肥料

年度ニ比ベマシテ、約三万「トン」ノ增產ガ
出來ルト見込ンデ居ルノデアリマス、之ニ
付キマシテハ更ニ一段ト增產ヲ進メルベ
ク、今色々努力ヲ致シテ居ルヤウナ譯デア
リマス、過磷酸石灰ニ於キマシテハ、國際
情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、我國ノ消費ヲ
スル原料ノ相當ナル部分ガ、外國資源ニ依
存致シテ居リマス關係上、是ガ一面ニ於テ
入手ヲ急グト云フ方法ヲ現在講ジテ居ルヤ

ウナ次第デアリマス、サウ云フ關係カラ致
シマシテ、過磷酸石灰ニ付キマシテハ前年
度ニ比シテ十三万「トン」程度ノ節約ヲ致ス
コトニ考ヘテ居リマス、併シ是ハ一面ニ於
キマシテハ、勿論地方ニモ依ルコトデアリ
マスガ、磷酸ノ供給過多ト云フコトガ屢々述
べラレテ思ツタコトモ考慮致シマシテ、各

地方別ニ其ノ土性ニ鑑ミテ、現在割當ヲ致
シテ是ガ配給ヲ實行シテ居ルト云フ次第デ
アリマス、只今非常ニ御心配ノヤウナ御話

ガアリマシタケレドモ、是ハドウ云フ方面
カラ御聽及ビカ知リマセヌガ、大體私ガ只

マスガ、一面ニハ勿論開墾或ハ改良工事等
ヲ施シテ積極的ニヤルコトモ必要デアリマ
セウガ、又一面ニハ品種ノ改良、或ハ肥培

管理ノ方法ニ依ツテ增產ヲ圖ルト云フコト
モ、極メテ必要ナルコトデアラウト考ヘル

ノデアリマス、然ルニ現在ノヤウナ府縣ニ
アル農事試驗場デハ、私ハ極端ニ言フナラ
バ、マア無イヨリハマシダト云フ位ニ考へ

處ヘ出得ル見込デアリマス、休憩スルノモ
ドウカト思フノデ、坪山君、其ノ豫テ仰シ
タツテ居ツタコトヲ、今政府委員ニ能ク聽

取ツテ置イテ貰ツテ、ソレカラ大臣カラ適
當ナ機會ニ御答辯ヲ得ラレルヤウニ、一ツ
御運ビヲシテ吳レマセヌカ

○坪山委員 結構デス

○坪山委員長 ソレデハ坪山君

其ノ一ツハ食糧問題ニ對シテ、殊ニ米麥ニ對シテ適當ナル價格政策ヲ施ス

カ、或ハ助成ノ方法ヲ講ズルニアラズンバ
現在ノヤウナ狀態ニ行ツタナラバ、必ズヤ

私ハ食糧問題ニ行詰リヲ生ジテ、或ル力、
或ハ法律ノ力ト言ヒマセウカ、或ル力ニ依

ツテ計畫生產ヲシナケレバナラヌヤウナ場

ガ出來ルノデハナカラウカト思ヒマスガ、
之ニ對シテノ御考ヘヲ承リタイノデアリマ
ス

第二ハ今度第二豫備金カラ增產計畫ノ爲
ニ三千萬圓カ御出シニナルト云フコトガ内々
決マツタド云フコトヲ承ツテ居リマスガ、
其ノ中ニハヤハリ同ジヤウナ働キヲシテ居

ル養蠶ノ技術員ニ對シテモ、同一ノ待遇ガ

出來ルコトニナリマセウカ、是ガ第二點デ
アリマス

第三ニハ今日各府縣ニ農事試驗場ガアリ

マス、又東京ニハ西ヶ原農事試驗場ガアリ

マスガ、一面ニハ勿論開墾或ハ改良工事等
ヲ施シテ積極的ニヤルコトモ必要デアリマ
セウガ、又一面ニハ品種ノ改良、或ハ肥培

管理ノ方法ニ依ツテ增產ヲ圖ルト云フコト
モ、極メテ必要ナルコトデアラウト考ヘル

ノデアリマス、然ルニ現在ノヤウナ府縣ニ
アル農事試驗場デハ、私ハ極端ニ言フナラ
バ、マア無イヨリハマシダト云フ位ニ考へ

○村上委員長 小串君宜シウゴザイマスカ

○小串委員 大體宜シウゴザイマス

○村上委員長 大臣ガモウ十分モスレバ此

テ居ル、先程馬政局ノ次長ノ御話モアリマシタガ、馬ニ對シテサヘモ、今年新ニ柄木縣ニ馬事綜合研究所、而モ大規模ナ馬事綜合研究所ノ計畫ガ着手サレテ居ルヤウナ現状デアリマス、サウ云フコトデアルカラ、而食糧問題、殊ニ米麥ノ問題等ニ付テハ、而モ此ノ大規模ナル試驗場ノ設置ヲ見テ、又地方ニ「ブロック」的ナ農事試驗場ヲ作ツテ、サウシテ積極的ニ調查研究ヲスルト云フコトガ必要ナ事項デナイカ

次ニハ苟モ増産ニ携ハル者、殊ニ農林省關係ノ者ハ、身ヲ以テ範ヲ示スト云フ眞劍味ガ斯ウ云フ際ニハ必要ダト思フ、殊ニ米

麥ニ對シテ非常ナル不安ヲ感ジテ居ル際ニ於テ、私ハ少クトモ自分ノ晝食ヲ或ハ物

嗤ヒニナルカモ知レマセヌガ、晝飯辨賞是等ハ少クトモ自分ノ家カラ持出ス、サウシテ他ノ省ニマデ其ノ範ヲ示ス、或ハ他ノ國民全體ニ其ノ範ヲ示スト云フ眞劍味ガアツテ然ルベキダト思フ、殊ニ配給等ノ問題ニ付キマシテモ、不公平ナ點ガアルノデハナイカ、自分ハ或ル一定量ノ配給ヲ受ケル、然ルニ自分ハ辨當ダケハ餘所ノモノヲ食フト云フコトニナリマスレバ、餘所デ辨當ヲ食ヒ得ナイ者ニ對シテ、配給ノ數量ニ於テ不公平ナル問題ガアルノデハナイカト思フノデス、ヤハリ農林省が率先シテ此ノ際ニ必ズ辦當ハ自分ノ家デ作ツタモノヲ持タシテ、腰辨ノ本領ヲ發揮スル、或ハ他省ニマデ及ボシ或ハ大會社ニマデソレヲ及ボスト云フ、サウ云フ點ニ於テ、而モ建築物ノ非常ニ不足シテ居ル時代ニ建築ガ出來ル、又是等ノ労力ヲ他ノ方面ニ相當還元スルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、是等ノ點ニ對スル御考ヘ最後ニモウ一點伺ヒタ

イノハ、日本ノ農家ノ勞働服裝ホド複雜ナモノハナイト思フ、地方ニ依ツテ非常ニ多種多様ニナツテ居リマス、婦人ノ作業服ニ於テ殊ニ然リデアルト思ヒマスガ、是ハモウ少シ改善研究ヲ致シテノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマタ、モウ少シ効キ宜イヤウナ服装ガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、是等ノ點ニ對シテノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス、以上ダケ申上ガマス

○村上委員長 デハ此ノ儘デ數分間休憩致シマス、ドウゾ席ヲ離レナイヤウニ御願ヒ致シマス

午後四時七分休憩

午後四時十四分開議

○村上委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、是ヨリ農林大臣ニ對スル質疑ニ入ルコトニ致シマス、今日中ニ農林大臣ニ對スル質疑ヲ、一應終了シタイト思ヒマスカラ、甚ダオヤリニクイコトデアラウトハ存ジマスガ、先程ノ理事諸君ノ御申合セヲ尊重スルコトニシテ、大臣ノ答辯トモ併セテ一人二十分以内、ソレデ一ツ進行スルコトニ致シタイト存ジマス、ドウゾ左様ニ御諒承ヲ願ヒマス、先ヅ須永好君

○須永委員 私ハ本會議ニ於ケル質問ノ繼續ト致シマシテ、第一番ニ農林大臣カラ、差當リ昭和十六年度ノ增産計畫ガ實現セラレ、而モ本法案ニ依ル農地營團ノ事業モ出来、而モ今日マデ勞力不足ノ爲ニ相當荒廢

地ヲ生ジ、或ハ勞力不足ノ爲ニ満足ナ收穫ノ得ラレナカツタ部分ヲ、十分ナ收穫ノ得ラレルガ如クニナスベキ、重大ナ勞務ニ對

スル所ノ計畫ヲ具體的ニ承リタイノデス

次ニ承リタイコトハ、農民ガ一タビ土地ハ他ノ商賣デモウ生活シテ居ル、斯ウ云フ

カラ離レテ、即チ農業ヲ廢メテシマヒマス、ト、是ハモウ再び百姓ニ歸ルト云フコトハ、

容易デハナイノデアリマス、今ハ百姓カラ出夕人ガ多イト思ヒマスガ、中小商工階級ニ對スル轉業ノ問題等ガ起ツテ參リマシテ

モ、歸農セシムルト云フコトハ非常ニ困難デアリマス、百姓ガ外ノ商賣ニ轉業スルコトハ、恐ラク相當ナ食糧ヲ持チ、或ハ其ノ

他ノモノヲ持ツテ、ソチラニ轉業シテ行クノデアリマスカラ、差當リモノニ困ラズシテ、サウシテ新シイ商賣ノ方ハ、努力如何ニ依リマシテハ、其ノ日カラデモ收入ガア

ルト云フ仕事ニ移ツテ行クノデアリマスカラ、是ハ容易ナノデアリマスガ、外ノ商賣カラ農業ニ移ツテ來ルト云フコトニナリマ

スト、是ハ肥料ヲ買ヒ、或ハ其ノ他ノ器具ヲ買フトカシテ、一生懸命努力ヲシテ行キマシテモ、一箇年間乃至半年位經チマセヌ

ト、何ノ收入モ見ラレナイ、斯ウ云フ形ニナツテ居ルノデアリマスカラ、日本ノ農村カラ百姓ガ一寸土地ヲ離レル傾向ガ現ハレテ來夕時ハ、既ニモウ重大ナ時デアリマス、私ハ昨今農村ノ實情ヲ見マシテ、モウ四十

ヲ超シタ人ハ百姓ヲヤツテ居リマスガ、恐らく四十前ノ人、特ニ二十四、五ノ人ハ、

ソレガ其ノ農家ヲ繼グベキ長男デアリマシテモ、特ニ小作農等ニ於キマシテハ、皆ソレガ他ノ商賣ニ轉ジテ行ク、斯ウ云フ傾向ガ近頃非常ニ顯著デアリマシテ、差當リ農家戸數ガ何戸アルカト云フコトハ、マダ統計ノ上ニ現ヘレテ來ナイカモ知レマセヌガ、

ガ他ノ商賣ニ轉ジテ行ク、斯ウ云フ傾向ガノ得ラレナカツタ部分ヲ、十分ナ收穫ノ得ラレルガ如クニナスベキ、重大ナ勞務ニ對

スル所ノ計畫ヲ具體的ニ承リタイノデス

ガ、私ハ目下相當考慮サレナケレバナラナ

コトガ段々現ハレテ參リマシテ、近キ將來ニ非常ニ農家戸數ガ減ル、斯ウ云フ危險サ

ヘモ考ヘラレルノデアリマス、併シ前ニモ

ニ何等支障ガナイ、斯ウ云フコトニナリ

マスト、サウ云フ傾向ガ非常ニ顯著ニナツ

テ來ルノデアリマス、此ノ小作農ヲシテ早

ク、自分ノ作ツテ居ル土地ハ自分ノモノダ、子孫ニ至ルマデ此ノ狀態ニ於ケル百姓ガ

ヤツテ行ケルノダト云フ立場ニ置。クコト

イコトデハナイカ、斯ウ考ヘマシテ、常ニ農地制度ノ改革ヲ主張シテ居ル者デアリマスガ、先頃ノ本會議ニ於ケル私ノ質問ニ對シマシテ、農林大臣ハサウ云フコトハ必要ダカラ考慮スル、サウシテ自作農等ヲドンドシ作ツテ行クヤウニシタイト云フ御答辯ガアツタノデアリマス、此ノ自作農ヲドンドシ作ツテ行クト云フコトモ、今日マデノ實績カラ見マスト、今問題ニナツテ居ル農村カラ離レテ行ク此ノ傾向ヲ、十分補フニ足ルダケノ自作農創設ガ出來ルカト申シマスト、是ハ出來ナイト思フノデアリマス、ソコデ若シ自作農創設デ行クトスルナラバ、自作農創設ヲモウ一段強化スル必要ガ生ズルノデハナイカ、其ノ爲ニモウ少シ何等カ變ツタ方法ヲ考究シテモ、自作農ヲドシヽ作レルヤウニシナケレバナラヌノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、農林大臣モ其ノ點ニ付テ御同意下スツタノデアリマスガ、自作農ヲ作ルト云フコトニ付テ、何等カ新シイ構想ガアリマスカ、今マデ通リノ方法デ、今マデヤツテ居ツタヤウナ出來ナリノ程度デ行クト云フダケノコトデアリマスカ、此ノ點農林大臣カラ伺ヒタイノデアリマス

尙ホソレニ附加ヘテ御尋ネ致シタイト思フノデアリマスガ、自作農ヲ若シ作ツテ、斯ウ云フ傾向ニ付テ其ノ對策ガ講ゼラレルト云フコトデアリマスト、二月一日カラ實施サレマンシタ農地等價格統制令ノ問題ト、自作農創設トノ問題ニ於テ、非常ニ行違ヒヲ生ジハシナイカ、自作農創設ノ場合ニ於テ、政府ハ一定ノ買取土地ノ價格ノ基準ヲ決メテアル、成程是ハ御尤モナ話デアリマシテ、其ノ土地ヲ買取ツタ者ガ、唯需要供

給ノ關係デ雖上、ダレタル價格デ買取ツテ見テモ、引合ハナケレバ又失フコトヲ生ズルノデアリマスカラ、其ノ價格ガ一定ノ努力ヲスレバ濟崩シガシテ行ケル價格ノモノデナケレバ、折角作ツタ自作農ガ又滅ビルト云フ結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、アリ度出來マシタ農地等統制令ニ依リマスト、農地價格ノ決定ノ方法ガ、自作農創設ト同ジ基準ニ依ツテナサレテ、土地ハ自作農トシテ賣渡基準ニ依ツテ賣ラレル以外ニ、ソレヨリ高ク賣ルコトハ出來ナイノデアルカラ、ドウシテモソレト同ジコトニ行クノダト云フコトニナリマスレバ、賣買ハ非常ニ樂ニ行クト思ヒマスガ、最高最低價格ノ決定ニ止マリマスト、是ハ米ノ値段ニ於テモ最近金ヲ物ニ換ヘヨウト云フ傾向ノ強イ今日ニ於キマシテハ、最低價格ハ全ク決メテ置クダケデアツテ、何時モ最高價格ニ支配サレテ居ル、此ノ傾向ハ土地ニ於テモ同じダト思フノデアリマス、若シ自作農ヲ考慮シナケレバナラスト思フノデアリマス、ドシ持ヘテ、農村カラ農民ガ離レル傾向ヲ抑ヘテ行カウト云フノデアリマスレバ、自作農ガ出來易イ土地ノ價格ト云フモノヲ考慮シナケレバナラスト思フノデアリマス、是等ニ對スル農林大臣ノ御考ヘヲ承リ格ヨリモ、遙カニ高イモノニナツテ行ク傾デナク、最高最低ノ價格ノ決定デアリ、其ノ最高價格ノ土地ハ、自作農ニ適應スル價格ヨリモ、遙カニ高イモノニナツテ行ク傾向ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、是等ニ對スル農林大臣ノ御考ヘヲ承リコトモアリマスルガ、時間ヲ制限サレテ居リマシテ、大臣ノ答辯ノ時間モ殘サナケ

〇石黒國務大臣 第一ノ十六年度ノ増産モヤリ、農地ノ開発モヤリ、又荒地ヲ生ゼヌモノハ、非常ニ大キイモノニナルガ、ソレニ付テノ具體的計畫ヲ聽キタイト云フ御話デアリマス、開發計畫モヤリ、増産モヤルト云フコトニ付テ、非常ニ勞力ガ要リマスコトハ屢々御論議ノ通りデアリマス、開發計畫等ニ對シマシテハ、具體的ノ案ハ局長カラ申上ゲマシタコトハ存ジマスカラソレニ譲リ、荒廢地ヲ生ゼヌヤウニスルト云フコトニ付テノ點ハ、是ハドウモ勞力ニ付テ具體的計畫ヲ持ツト云フコトハ難シイノデアリマス、是ハ申上ゲルコトハ非常ニ困難ダト存ジマス、凡ユル手段ヲ盡シマシテ、左様ナ荒地ノ出來ヌヤウニ努メマスト云フコトヲ申上ゲル以外ニ、具體的計畫ヲ申上ゲル譯ニハ参リマセヌ
ソレカラ第二點ノ、農民ノ土地ヲ離レルト云フコトニ關シマシテハ、御説ノ通りニ、非常ニ是ハ憂慮ヲ致サナケレバナラヌ點デアリマシテ、十分ニ考慮ヲ致シ、施策ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ中ノ有力ナル方法ト致シマシテ、御指摘ノ土地ト密接ナル關係ヲ生ゼシメルヤウニ、小作人ト云フ一番轉業ノシ易イ、—コトハ、是ハ御説ノヤウニ非常ニ大事ダト思フノデアリマス、ソレニ關シマシテ自作農創設ノ方法ガアルガ、從來ノ自作農創設ノ方法デハ、左様ナコトハ十分ニ行クト

ハ考ヘラレナイガ、何カ具體的ノ方法ヲ持テ居ルカ、斯ウ云フ御尋ねデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ、只今マダ農林省トシテ、斯様ナ案ヲ持ツテ居ルト云フ段ニ至ツテ居リマセヌ、併シ私ト致シマシテハ、此ノ點ニ關シマシテハ洵ニ重大デアルカラ、將來施策ヲ進メテ參リタイト云フ意見ヲ持ツテ居リマス、ソレデ此ノ點ニ關シマシテ考ヘナケレバナラヌノハ、一ツニハ量ノ問題デアリ、一ツニハ質ノ問題デアルト考ヘルノデアリマス、從來ノ自作農創定ノ方法ニ關シマシテハ、量的ニ是デハ規模ガ小サクテイケナインデハナイカ、斯ウ云フ御不満ガアルノグラウト考ヘルノデアリマス、農村ニ於ケル農業勞力、殊ニ自作地ニ對シマスル自作農ノ勞力ト云フモノハ、非常ニ品質ノ良い労力デアリマスノデ、之ヲ十分ニ保留致スト云フコトハ、何ヨリモ必要ナコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ御指摘ノヤウナ他ノ業ニ走り易イ狀態ニナリマシタ場合ニ於キマシテハ、之ヲ相當ノ量ニ於テ擴大致シテ計畫ヲ致スト云フコトハ、非常ニ必要ダト考ヘルノデアリマス、其ノ點ニ關シマシテ十分ニ考案ヲ盡シテ行キタイト考ヘテ居リマス、モウ一點ハ質ノ問題デアツテ、從來ノ自作農創定ノ制度ト云フモノガ、御承知ノ通リニ是ハ自作農創定ト云フコトヲ、第一次ノ目的トシテヤツテ居ルノデハナクシテ、同時ニ小作争議ノ解決ノ方法ト云フコトヲ、等分ノ重サニ於テ考ヘテ出發ヲ致シマシタ、極メテ小サナ案ナノデアリマス、量ニ於テ小サイト同時ニ、隨ヒマシテ制度モ決定的ノ制度ニナツテ居リマセヌ、端的ニ申上ゲマスレバ尻ガ結バレテ居ラナイ、之ヲ法制的ニ尻ヲ結ブ

ヤウニスルト云フコトヲ考慮ニ入レマシテ、是ハ只今考ヘテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、「ドイツ」ニ於キマシテ世襲農地ト云フヤウナコトガ、此ノ頃新シイ「ナチス」政府ノ方策トシテ舉ゲラレテ居リマス、只今世襲農地ト申シテ居ルモノハ、二十年バカリ前ニ一遍家產制度トシテ各國ニ唱へラレタコトガアルノデアリマス、外國ニ於テ餘リ是ガ行ハレテ居ラナカツタノハ、何時カモ申上ゲタヤウニ、收支均分ノ制度ガ行ハレテ居ルガ爲ニ、餘リニ利用ガ出來ナカツタト云フ状態デアリマス、此ノ點ニ於キマシテ日本ハ大體ニ於テ長子相續ノ國デアリマシテ、所ニ依リマシテハ未子相續ト云フ特殊ノ慣行ノアル地方モ、長野縣等ニ於テアルヤウデアリマスガ、兎ニ角モ一子相續ノ所デアリマスガ故ニ、此ノ點ニ關シマシテハ、十分ニ相續關係ニ於テハ素質ガアル國ダト私ハ思ツテ居ル、此ノ制度ヲ設ケマスト、農民ノ土地制度ト致シマシテハ、茲ニ極メテ我が國情ニ合ツタモノガ出來ルダラウト私ハ考ヘテ居リマス、併シ色々ノデアリマスカラ、私ガ一個ノ意見トシテサウ云フ考ヘテ持ツテ居ルト云フコトダケニ、御承知置キヲ願ヒタイト存ジマス。

第三點ノ自作農ヲルトスルナラバ、農地價格ノ統制令等ノ關係ニ於テ矛盾ヲ生ズ方ガソレト違ツテ居ルカラ、自作農創定ノ揭露テ居ル所ノ農地價格ノ基準ヲ定メ居ルコトハ宜シイガ、最近ノ農地價格統制令ノ方ハ、最高價格デアルト雖モ、其ノ決メ方ガソレト違ツテ居リマス、外國ニ考ヘル、自作農創定ノ揭露テ居ル所ノ農地價格ノ基準ヲ定メ居リ前ニ一遍家產制度トシテ各國ニ唱へラレタコトガアルノデアリマス、此ノ頃新シイ「ナチス」政

ノ九。一八關係ト致シマシテ、凡ユルモノノマシタコトデアリマシテ、何處デモ私共ハ最高價格ト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、特別ニ國ガ援助ヲ致シマシテ、茲ニ自作農創定ト云フ積極的施設ヲ執リマス以上ハ、曩ニ省令ヲ以テ示シテアリマスヤウナ、少クトモアア云フヤウナ算式ニ從フ價格ニアラザレバイケナイ、斯ウ考ヘテ居リマスカラ、此ノ制度ヲドウ云フ風ニ將來擴充シテ參ルカト云フコトニ關聯シマシテ、ヤハリ其ノ點ハ特別ノ考慮ヲ拂ツテ行カナケレバナラヌト考ヘマス。

○村上委員長 石坂君
○石坂(繁)委員 私ノ第一ニ御伺ヒ致シタ伊存ジマシタノハ、農地制度ノ根本方策ニ付テアリマスガ、其ノ點ニ關聯致シマシテハ、只今須永君ノ御質疑ニ對シマシテ、大臣ト致サレマシテハ重要ナ問題デアルカラ、種々施策ヲ試ミナケレバナラヌ、斯ウ云フ御答辯ガアツタノデアリマシテ、其ノ點ニ關シマシテハ私ハ自作農創設ヲ根幹トスル、サウシテ其ノ方法ト致シマシテ國家ガ不在地主、或ハ一定限度以上ノ地主ノ耕地ヲ買上ゲル、サウシテソレデ自作農創設ヲスルト云フ趣旨ニ於テノ農地國有ノ意見ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲルヤウニ考ヘル、自作農創定施設ノ獎勵ニコトニ止メマシテ、其ノ點ハ多ク論ジナイコトニ致シマス。

第一ノ問題ハ、此ノ農地開發營團ガ管理致シマス土地ノ經營ノ方法ニ付テデアリマス、是ハ條文五十條及び五十八條ニ依リマシテモ、農地開發營團ハ此ノ農地ヲ管理スル、サウシテ勅令事項ニ依リマス、此ノ點ハ見方ニ依ツテハ左様ニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ハ只今ノ九。一八關係ト致シマシテ、凡ユルモノノマシテ、サウ云フモノニ對シマシテ立法的シテ、隨テ將來ニ於キマシテハ、農地開發營團自體ガ開發シタル農地ヲ小作ニ付スル場合ガアリ得ルノデアリマス、其ノ場合ニ於ケル小作ノ方法ト云フモノヲ、ドウ云フ風ニ御立テニナル考ヘデアルカ、言葉ヲ換へテ申シマスナラバ、從來ノ賃貸小作ノ普通ノ形同様ノコトデオヤリニナル積リカ、私共ノ意見ヲ以テ致シマスルナラバ、日本農業ノ大キナ惱ミハ、從來小作料が高過ぎタト云フコトナノデアリマス、料金ニ於テ一毛作ノ所デモ高イ所ハ五割二、三分、二毛作ノ所デ五割七、八分モ小作米ヲ拂ハナケレバナラヌ、而モ其ノ小作米ハ再び農業生産過程ニ向ツテ還元致シテ参リマセヌ、サウ云フ所ニ日本ノ小作制度ト云フモノノ大キナ改革ノ目標ヲ置カナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、斯様ナ方法ニ於テノ思フノデアリマスガ、斯ウ云フ方向ニ營團管理ノ田畠ヲ小作ニ付スル場合ニ御進ミニナルヤウナ御考ヘハナイデアリマセウカ、是ガ第二點デアリマス。

第三點トシマシテ小作制度ノ調整ニ付テデアリマス、日本農業ニ於テハ農業經營ノ根幹タル農地ノ價格ガ高過ギルト云コト、日本ノ小作料ガ高過ギルト云コト、斯ウ云フヤウナコトハ日本農業ノ根本問題トシテ考ヘ直シ、小作制度ノ立法ヲ直サナケレバナラヌト云フ考ヘテ持ツテ居リマスルガ、今後ノ小作制度ノ根本調整ニ付テ、農林大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、ソレニ關聯致シマシテ世間ニ實ニ付テ、農林大臣ノ御所見ヲ拂ツテ買取ルコトニ後五十年ヲ經過致シテ一年ノ中ニ地主ガソナツテ居ルノデアリマス、然ルニ昭和十五年二月現在ノ調査ニ依リマシテモ、舊慣永レヲ消滅サセルコトモ出來レバ、更ニ一年ノ通リニ民法施行法ニ依リマシテ民法施行ノ中ニ小作人ガ代償ヲ拂ツテ買取ルコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ昭和十五年ニ小作權關係市町村百三十一、六千五百五十二町歩ニ及ンデ居リマス、永小作權者ハ一万三千百六十四人ノ多キニ及ンデ居リマシテ、全國的ニ及ンデ居ル、其ノ區域ハ、高

テ居ルノデアリマシテ、而モ民法施行後第
五十年ト云フノハモウ纏テ參ルノデアリマ
スカラ、今日農林當局ト致サレマシテハ、
此ノ永小作ノ消滅、或ハ其ノ後ノ問題ニ付
テノ適當ナル御立案ガアツテ然ルベキコト
デアラウト思フノデアリマス

ソレカラ最後ニ入會原野ノ問題デアリマス、
是ハ各地方ニ隨分澤山アリマスガ、舊藩時代
カラ其ノ緣故關係ノ部落ガ入會ヒマシテ、放
牧或ハ秣採取等ヲヤツテ居ツタ原野ガアル
ノデアリマスガ、ソレガ明治初年ノ地租改正
ニ依リマシテ官有地編入ト同時ニ入會權ハ
消滅シテ居ルト云フコトニ大審院ハ判例ヲ
取ツテ動キマセヌ、併シ實際ハ其ノ地方ニ
入會ツテ牛馬ノ放牧モ致シテ居リマスレ
バ、秣採取等モヤツテ居ル地方ガ澤山アル
ノデアリマス、ソレガ問題ニナリマスルト、
裁判所ハ大審院ノ判例ヲ執ツテ動キマセヌ
爲ニ、從來入會地帶デアルト思ツテ居ツタ
其ノ地方ノ農家ト云フモノハ、牛馬ノ放牧
モ出來ナケレバ秣採取モ出來ナイト云フ結
果ニ陥ルコトガアルノデアリマス、是ハ今
日ノ農村生活カラ申シマスレバ、非常ニ氣
毒デアリマス、裁判所モ氣ノ毒ニ思ツテ
居リマス、隨テ是等ノ往年舊慣ニ依ツテ入
會ヲ致シテ居リマシタ原野ニ對シマシテハ、
其ノ大審院ノ判例ヲ改替スルヤウナ他ノ立
法ナリ其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、其ノ地
方ノ農家ヲ保護スル必要アリト考ヘルノデ
アリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ御意見ヲ
伺ヒタインデアリマス

言葉ハ盡シマセヌガ、大體ノ要點ダケハ
申上げマシタノデアリマシテ、御答辯ヲ願
ヒマス

既ニ申上ガタノデ宜シト云フコトニ致シ
マシテ、第二ノ開發營團ノ經營方針ニ關シ
カラ、略、政府ノ土地開發事業ノ代行
機關ト云フ風ナ氣持デ居ルノデアリマス、
ソコデ此ノ開發ヲ致シマシタ土地ハ大體ニ
於テ自作農地ト致シマシテ、適當ナル農民
諸君ニ處理シテ行キタイト云フ考ヘデ居ル
ノデアリマスガ、時ト所ニ依リマシテハ、
直チニソレニ出來ナイ場合ガアルノデアリ
マス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ之ヲヤ
ハリ小作管理ト云フヤウナコトニ致シマス
場合ガ生ジナイトハ限ラナイノデアリマス
ガ、ソレハ多クノ場合ハ經過的ノ場合ダラ
ウト考ヘマス、隨ヒマシテ其ノ經過的ノ
取扱ニ適スルヤウナ方法ヲ以チマシテ之
ヲ小作ニ付シタイト云フ考ヘラ持ツテ居
ミニナルト云フヤウナコトハ採ル譯ニモ
參リスママイガ、ソレニ依ツテ小作ヲ
儲ケルト云フヤウナ土地會社的ノ考ヘハ
決シテ持タセナイ積リデ居ルノデアリマ
ス、或ハ分益小作ト云フ御考ヘハドウ云フ
コトデゴザイマスルカ、分益小作ニモ色々
種類ガアリマシテ、謂ハバ刈分小作モ或ル
意味ニ於ケル分益小作デアリマス、サウ云フ
ヤウナ進マナイ、寧ロ改善ヲシテ行カネケレ
バナラヌヤウナモノハ、是ハ無論採ルコトハ
出來マセヌガ、進シング意味ノ小作制度ト云フ

モノヲ試ミニヤラセテ見ルト云フコトモ一ツ
ノ方法デアラウト思ヒマスケレドモ、併シ前
ニ申上ゲマシタヤウニ、大體ニ開發地ノ處
ト云フヤウナコトニ付テ考ヘナイカト云フ
御尋ねデアリマス、農地開發營團ハ、先日
來申上ゲテ居ル通り、多分ニ公共的意義ヲ
持ツテ居ルモノデアリマシテ、私法人トハ
申シナガラ、略、政府ノ土地開發事業ノ代行
機關ト云フ風ナ氣持デ居ルノデアリマス、
ソコデ此ノ開發ヲ致シマシタ土地ハ大體ニ
於テ自作農地ト致シマシテ、適當ナル農民
諸君ニ處理シテ行キタイト云フ考ヘデ居ル
ノデアリマスガ、時ト所ニ依リマシテハ、
直チニソレニ出來ナイ場合ガアルノデアリ
マス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ之ヲヤ
ハリ小作管理ト云フヤウナコトニ致シマス
場合ガ生ジナイトハ限ラナイノデアリマス
ガ、ソレハ多クノ場合ハ經過的ノ場合ダラ
ウト考ヘマス、隨ヒマシテ其ノ經過的ノ
取扱ニ適スルヤウナ方法ヲ以チマシテ之
ヲ小作ニ付シタイト云フ考ヘラ持ツテ居
ミニナルト云フヤウナコトハ採ル譯ニモ
參リスママイガ、ソレニ依ツテ小作ヲ
儲ケルト云フヤウナ土地會社的ノ考ヘハ
決シテ持タセナイ積リデ居ルノデアリマ
ス、或ハ分益小作ト云フ御考ヘハドウ云フ
コトデゴザイマスルカ、分益小作ニモ色々
種類ガアリマシテ、謂ハバ刈分小作モ或ル
意味ニ於ケル分益小作デアリマス、サウ云フ
ヤウナ進マナイ、寧ロ改善ヲシテ行カネケレ
バナラヌヤウナモノハ、是ハ無論採ルコトハ
出來マセヌガ、進シング意味ノ小作制度ト云フ

モノヲ試ミニヤラセテ見ルト云フコトモ一ツ
ノ方法デアラウト思ヒマスケレドモ、併シ前
ニ申上ゲマシタヤウニ、大體ニ開發地ノ處
ト云フヤウナコトニ付テ考ヘナイカト云フ
御尋ねデアリマス、農地開發營團ハ、先日
來申上ゲテ居ル通り、多分ニ公共的意義ヲ
持ツテ居ルモノデアリマシテ、私法人トハ
申シナガラ、略、政府ノ土地開發事業ノ代行
機關ト云フ風ナ氣持デ居ルノデアリマス、
ソコデ此ノ開發ヲ致シマシタ土地ハ大體ニ
於テ自作農地ト致シマシテ、適當ナル農民
諸君ニ處理シテ行キタイト云フ考ヘデ居ル
ノデアリマスガ、時ト所ニ依リマシテハ、
直チニソレニ出來ナイ場合ガアルノデアリ
マス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ之ヲヤ
ハリ小作管理ト云フヤウナコトニ致シマス
場合ガ生ジナイトハ限ラナイノデアリマス
ガ、ソレハ多クノ場合ハ經過的ノ場合ダラ
ウト考ヘマス、隨ヒマシテ其ノ經過的ノ
取扱ニ適スルヤウナ方法ヲ以チマシテ之
ヲ小作ニ付シタイト云フ考ヘラ持ツテ居
ミニナルト云フヤウナコトハ採ル譯ニモ
參リスママイガ、ソレニ依ツテ小作ヲ
儲ケルト云フヤウナ土地會社的ノ考ヘハ
決シテ持タセナイ積リデ居ルノデアリマ
ス、或ハ分益小作ト云フ御考ヘハドウ云フ
コトデゴザイマスルカ、分益小作ニモ色々
種類ガアリマシテ、謂ハバ刈分小作モ或ル
意味ニ於ケル分益小作デアリマス、サウ云フ
ヤウナ進マナイ、寧ロ改善ヲシテ行カネケレ
バナラヌヤウナモノハ、是ハ無論採ルコトハ
出來マセヌガ、進シング意味ノ小作制度ト云フ

モノヲ試ミニヤラセテ見ルト云フコトモ一ツ
ノ方法デアラウト思ヒマスケレドモ、併シ前
ニ申上ゲマシタヤウニ、大體ニ開發地ノ處
ト云フヤウナコトニ付テ考ヘナイカト云フ
御尋ねデアリマス、農地開發營團ハ、先日
來申上ゲテ居ル通り、多分ニ公共的意義ヲ
持ツテ居ルモノデアリマシテ、私法人トハ
申シナガラ、略、政府ノ土地開發事業ノ代行
機關ト云フ風ナ氣持デ居ルノデアリマス、
ソコデ此ノ開發ヲ致シマシタ土地ハ大體ニ
於テ自作農地ト致シマシテ、適當ナル農民
諸君ニ處理シテ行キタイト云フ考ヘデ居ル
ノデアリマスガ、時ト所ニ依リマシテハ、
直チニソレニ出來ナイ場合ガアルノデアリ
マス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ之ヲヤ
ハリ小作管理ト云フヤウナコトニ致シマス
場合ガ生ジナイトハ限ラナイノデアリマス
ガ、ソレハ多クノ場合ハ經過的ノ場合ダラ
ウト考ヘマス、隨ヒマシテ其ノ經過的ノ
取扱ニ適スルヤウナ方法ヲ以チマシテ之
ヲ小作ニ付シタイト云フ考ヘラ持ツテ居
ミニナルト云フヤウナコトハ採ル譯ニモ
參リスママイガ、ソレニ依ツテ小作ヲ
儲ケルト云フヤウナ土地會社的ノ考ヘハ
決シテ持タセナイ積リデ居ルノデアリマ
ス、或ハ分益小作ト云フ御考ヘハドウ云フ
コトデゴザイマスルカ、分益小作ニモ色々
種類ガアリマシテ、謂ハバ刈分小作モ或ル
意味ニ於ケル分益小作デアリマス、サウ云フ
ヤウナ進マナイ、寧ロ改善ヲシテ行カネケレ
バナラヌヤウナモノハ、是ハ無論採ルコトハ
出來マセヌガ、進シング意味ノ小作制度ト云フ

於テモ問題ニナツタ所デアリマス、而シテ民法施行五十年ト云フコトモ近々參リマスヤウナ次第デアリマスノデ、農林省ト致シマシテハ、御承知ノ通リニ小作關係ノ調停ノ手段ヲ以チマシテ、自作農創定ノ制度ヲ利用致シマシテ、相當廣イ面積ヲ德島・大阪、和歌山ノ間ト云フヤウナ所ニ於キマシテ、其ノ永小作地ノ自作農地化ヲ圖リマシテ、其ノ為ニ可ナリ大キ面積ノ問題が解消ヲ致シタクヤウナ次第デアリマス、今後モサウ云フヤウナ點ニ力ヲ入レマシテ、此ノ問題ノ事實上ノ解消ヲ致シテ行クノガ、一ツノ大キナ處理方法ダラウト考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ制度的ニドウ處理スルカト云フコトハ、是ハ色々難カシイ點ガアルノデアリマス、何又色々難カシイ點ガアルノデアリマス、何トカ善處シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、御話ノヤウニ農林省トシマシテハ調査ヲ致シマシテ、實情ヲ明カニシテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、概數ノ統計ハオ手許ニ配ツテアルヤウナ譯デアリマス、斯ウ云フ細カイ關係ニ付キマシテハ、マダ調査ノ綜合的結果ヲ得テ居リマスノデ、ソレヲ得マシタ上ニ善處致シタイト考ヘテ居リマス

入會原野ノ點ニ付キマシテハ、是亦我ガ國ノ從來ノ慣行法上非常ニ難カシイ問題デアルト同時ニ、重要ナ問題デアリマス、大審院ノ判例等ハ明治ノ過渡時代ノ事情上已ムヲ得ナカツタコトト考ヘマスガ、事實ノ關係ニ於キマシテ善處致シタコトハ、是ハ色々難カシイ點ガアルノデアリマス、何又色々難カシイ點ガアルノデアリマス、何トカ善處シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、御話ノヤウニ農林省トシマシテハ調査ヲ致シマシテ、實情ヲ明カニシテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、概數ノ統計ハオ手許ニ配ツテアルヤウナ譯デアリマス、斯ウ云フ細カイ關係ニ付キマシテハ、マダ調査ノ綜合的結果ヲ得テ居リマスノデ、ソレヲ得マシタ上ニ善處致シタイト考ヘテ居リマス

○石坂繁^{ミツ}委員 私ノ先ニ分益小作ト申シマシタノハ、刈分小作等ヲ意味シタノデハナイ、例ヘバ地主ノ方デ種子ヲ與ヘ或ハ機械ヲ購入シマシテ、共同的ナ作業ヲスルト云フ趣旨ニ於テ進歩シタ意味ノ分益小作ヲ申上ゲタノデアリマス、一言此ノ點ヲ釋明カラ是打切リマス

○村上委員長 長野君
○長野(綱)委員 時間ノ制限ガゴザイマスカラ極メテ簡單ニ質問申上ゲマス、食糧ノ増産ニ付キマシテハ耕地ノ擴張、耕地ノ改良、其ノ他獎勵宜シキヲ得テ初メテ其ノ目的ヲ達スルノデアリマス、私ハ專ラ此ノ獎勵ノ方面ニ付テ御尋ネシテ見タイト考ヘルノデアリマス

第一番ニ農業試驗場ニ付テ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、農學校ノ所在地又ハ農業試驗場ノアル地方ニ參ツテ見マスト、部分的ニ農業ハ非常ニ發達ヲ致シテ居ルノデアリマス、例ヘバ稻作デアルトカ或ハ麥作デアルトカ云フヤウニ部分的ニハ非常ニ發達ガ缺ケテ居ツタノデアリマスガ、之ヲ試驗場デヤルカ、或ハ御話ノヤウニ地方所在将來サウ云フ風ニスルヤウニ注意ヲシタラ宜カラウト云フ御指摘ハ、正ニ其ノ點ガ缺ケテ居ツタノデアリマスガ、之ヲ試驗場デヤルカ、或ハ御話ノヤウニ地方所在ノ中農ノ、農事ニ練達ノ家ヲ選ビマシテ、ソレニ講習生ヲ起居セシムルト云トガ實現サレテ居ナインデアリマス、是ハ私ハ甚ダ遺憾デアリマス、ソコデ大體府縣シタル農業經營ト云フコトニ付テハ其ノコトヲ七反トカ、田ヲ一町、畠ヲ五反、リデナク、入會町村ノ多イ爲ニ、才互ニ制約シテ利用ガ完全ニ出來テナイト云フ地方居ルノガ大體中農トナルト思フノデアリマス

ス、ソレデアリマスカラ農事試驗場ニ長期講習生ヲ入レル場合ニ於テハ、其ノ地方ノ單位ニナル農家の經營ト云フコトヲ主體トシタ長期講習生ヲ入レテ、ソコデ一年間或ハ二年間練習サセテ、ソレガ自分ノ生家ニ歸ツテ經營ヲヤルト云フコトニナルト、本當ニ農業ガ理想的ニ行クノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、將來サウ云フヤウニ指導方法ヲ改メテ行ク意思ガアルカナイカ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス○石黒國務大臣 御指摘ノ點ハ御話ノ通りト考ヘルノデアリマス、農事試驗場ト云フモノハ、從來名ノ現ハシテ居リマス通り、農事試驗ト云フモノニ重キヲ置イタノデアリマス、從來ノ制度ト致シマシテハ、ソレト並シニ地方農事講習所ト云フモノヲ置キ得ルコトナリ、所ニ依リマシテハ是ガ同ジ所ニ併置サレテ居ル事情デアリマスガ、試驗場ト云フモノガ主ニナリ、隨テ個々ノ農業生産技術ノ試驗研究、及ビ其ノ應用ニ依ル技術的發達ト云フモノヲ持チ來シテ居ル次第デアリマス、此處デ經營ノ方面マヂアリマス、全部ヲ指導サセルト云フ仕組ニ亘ツテ、全部ヲ指導サセルト云フ仕組ニナツテ居ラナカツタノデアリマス、之ヲ農業生産技術ノ試驗研究、及ビ其ノ應用ニト云フヤウナコトカラ、其ノ結果ハ一、二ノ農業試驗場ニ付テ御尋ネシテ見タイト考ヘルノデアリマス

第一回アリマシタケレドモ、良クナカツタヤウデアリマス、ソレデ先年日本ノ農業經營ノ改善ノ研究ヲヤリマスル時ニモ、帝國農會ニ委嘱ヲ致シマシテ、サウシテ實際ノ農家ニ經營改善ノ案ヲ立てテ貰ヒマシテ、熟達ノ人々ニ委員會ヲ組織シテ貰ツテ、ソレニ依ツテ改善方針ヲ求メテ、改善ノ方法ニ付テ便宜ヲ與ヘテヤツテ行クト云フ方法ヲ執リマシテ、試驗場ニハソレヲ委託ラシナイト云フ方針ヲ參ツテ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、ドウシテモ生命ノ入ツタ經營執リマシテ、試驗場ニハソレヲ委託ラシナイト云フコトニナラヌト、本當ノ指導ガ出來ナイト考ヘマスノデ、其ノ點ニ關シマシテ長野サンノ御指摘ノ如ク其ノ地方デ中農ト見ラレル實際ノ經營ノ所ニ起居セシメテ、

經營上ノ、知識ヲ修得セシムルト云フコトハ、講習生ニ對スル施設トシマシテハ、洵ニ結構ナコトダト考ヘルノデアリマス、農事試験場ノ試験方針モ此ノ頃ハ稍廣クナリマシテ、其ノ地方ノ農業ノ一年中ノ作物ノ組合セ、勞力ノ分配、土地使用ノ合理化ノ爲ノ輪作ト云フヤウナコトヲ考ヘテ、農事技術ノ改良ノ方針ヲ指導シテ行クト云フ方面ニハ一步進ミマシテ、最近其ノ方針ガ改マツテ來タヤウニ思ヒマス、此ノ點ハ非常ニ結構ダト思ヒマスガ、ソレガ即チ經營ノ指導ニナルカト申シマスト、マダ足リヌ所ガアルト思フノデ、其ノ點ハ御指摘ノヤウナ方法ニ依ラナケレバ本當ノコトハ出來ナイカト考ヘテ居リマス

○長野(綱)委員 ソレハ其ノ程度ニ止メマシテ、次ニ獎勵方法ニアリマスガ、是マデ行ハレタ增産方法ノ獎勵ハ色々アツタト思フノデアリマスガ、色々ニ區分シテ助成金ヲ與ヘテ居ル、勿論ソレガ相當ノ效果ハアリマシタケレドモ、今マデノ獎勵ノ仕方デハ、農民ガ下カラ湧立ツテ來テ其ノ獎勵ニ共鳴シテ、多收穫ヲ舉ゲルト云フヤウナ所ニ、農民精神ガ昂揚シテ來ナイ、此ノ頃委員諸君カラ部落ニ十圓與ヘルト云フヤウナ案ガ出テ居リマスルガ、是モ惡イコトデハアリマスエ、併シソレデハ本當ニ農民ノ息ガウト思フ、ソレハ部落ヲ單位ニシテ其ノ部落ニ對シテ——大體各府縣デアレバ五箇年間ノ平年作ト云フモノガアルカ、其ノ平年作以上作ツタ者ニ對シテハ、其ノ年何ボノ獎勵金ヲ與ヘルトスウ出タラ宜イト思フ、

○長野(綱)委員 モウ一點ダケ御伺ヒ致シテハ、先づ反二十圓ノ金ヲヤル、サウシマス

ト大概部落ハ十五軒カ二十軒ノ部落デアリマスカラ、其處ニハ假ニ五町アル、十町アルト

致シマスレバ、五町アレバ千圓、十町アレバ二千圓ノ獎勵金ヲ貰ヘルノデアルカラシ

テ、ソレヲ目指シテ部落ノ者ガ一致協同致シテ其ノ目標ニ達スル如ク奪勵努力ヲスルノデアリマス、サウ致シマスト、部落ノ隣保相助ノ精神ヲモソコデ昂揚ガ出來ルシ、一ツノ目的ニ向ツテ進ムト云フコトニアルト非常ニ宜シイ、サウシテ政府カラ獎勵金ヲ受取りマシテ、今度ハソレヲ或ル一部分ハ勿論其ノ反別ニ應ジテヤラナケレバナラヌケレドモ、一部分ハ村ノ共有金トシテ、ソレヲ肥料ノ買入デアルトカ其ノ他ノ方面ニ使用シテ行クヤウナコトニナツテ行キマスト、非常ニ部落ト云フモノハソコニ進ンデ參ルト思フノデアリマス、假ニ反當リ二十圓ヤルト致シマシテモ、先づ六千万圓投ズレバ七千五百石以上ノ米ヲ日本デ作り出シ得ルノデアルカラシテ、南洋ニ依存スル必要ガナクノハ置ナイ方ガ宜イノデハナイカト考ヘルノデアリマスルガ、大臣ハ此ノ點ニ付テ如何ニ考ヘラレマスカ

○吉植委員 私ハ米專賣ニ付テ大臣ガドウ御考ヘニナツタラドウカト思フ、私ハス

ノ部落總動員、篤農家總動員ト云フ問題ノ御着目ノ所ハ大體御同様ナ所ガアツタヤウニ考ヘルノデアリマス、尙ホ農林省ガ從來

ヤツテ居リマシタラ色々細カイ補助金ノ交付ノ致シ方ニ付キマシテハ、御說ノヤウナコトヲ十分ニ考慮致シマシテ、綜合致シテ有

效ニ使ハセルヤウニ努メタイト考ヘテ居リ

上ゲテ居リマスカラ、一石三十五錢高ク買

ガ管理スルト致シマシテ、此ノ金額ガ千二百五十五萬圓デアリマス、是ダケ集荷部面

ニ政府ガ金ヲ費シテ居ルノデアリマスガ、

トデアリマス、内務省デアリマスルト、地

方ノ自治體、例ヘバ市町村長ニ缺員ガ出來

タ場合ニハ、職務管掌ト云フモノガ一時的

ニ參ツテ、サウシテ正式ナモノヲ持ヘテカ

ラ引上げテ參ルノデアリマス、所ガ產業省

ノ關係ノ方ノ側ヲ見マスルト、縣廳ノ役人

ガ報酬ノアル他ノ組合等ノ職ヲ恒久的ニ兼

ネテ居ル、即チ監督權ト被監督權ト云フモ

ノヲ混同シテヤウテ居ル、是ハ今日吏道刷

新ノ上カラ餘程憤マナケレバナラヌコト

考ヘルノデアリマス、此ノ例ハ便宜主義ニ

可ナリニ廣クオヤリニナツテ居ルト考ヘル

ノデアリマスルガ、是ガ段々ト昂ジマスル

ト、ソコニ色々ナコトガ出來テ參ツテ、甚

ダ結果ガ宜シクナイト考ヘルノデアリマス、

將來内務行政ト同様農林省其ノ他產業省ニ

於テモ監督下ニ屬スル役員ト云フモノハ、

一時的ハ已ムヲ得スケレドモ、恆久的ノモ

ノハ置ナイ方ガ宜イノデハナイカト考ヘル

ノデアリマスルガ、大臣ハ此ノ點ニ付テ如何

ニ考ヘラレマスカ

○石黒國務大臣 全ク御同感ゴザイマス

御考ヘニナツテ居リマスカラ御聽キシタイ

ノデアリマス、現在配給竝ニ集荷ノ機構ヲ

見マスルト、集荷部面ニ於テハ御承知ノ通

之ヲ古儀デ賣ルコトガ出來マスカラ、概算

致シマシテ一圓何十錢ト云フ利ガゴザイマ

ス、精米費ヲ差引キマシタ所デマダ數十錢

ノ利益ガアルノデアリマス、此ノ四圓三十

錢ノ中ニハ白米ニスル爲白米商ノ損耗ト云

モノハ絶對ニナイノデアリマス、斯ウ云フ

工合ニナツテ居リマス、サウシテ見マシタ上

ニ、斯様ナ配給機構ニ依ツテ今日國民ノ手ニ

米ガ理想的ニ參ツテ居ルカト申シマスト、參

リマス、其ノ上ニ先程政府當局ノ御答辯ニ依

リマシテモ、農家一人當リノ保有米、或ハ

都會ニ於キマスル一人當リノ消費量ト云フモ

ノガ全國不統一デゴザイマシテ、今日此ノ主

食物ニ於テ國民各人ガ其ノ府縣、行政區劃ニ

於テ不平等ナル割當ヲ受ケテ居ルト云フ

コトハ、國民精神作興ノ上カラ申シマシテ

モ甚ダ困ルコトデアリマスガ、左様ナコト

ニ相成ツテ居リマス、以上ノ諸點ニ付テ缺

陥ヲ是正致シマスニハ、ドウシテモ茲デ米

專賣斷行ト云フヨリ外ニ途ハナイト私ハ確

信致シテ居リマス、今日マデノ米專賣ニ對

シマス非難ト云フモノハ、價格ヲドウ決定ス

ルカ、此ノ點ガ難カシイト云フ點デアリマ

シタガ、先般來ノ政府當局ノ御答辯ニ依リ

マシテ、最高最低價格ヲ破棄致シマシテ、

茲ニ一本建ノ價格ヲ決定スルト云フコトニ

決マツタノデアリマスカラ、此ノ點ハ解消

致シマシタ、又倉庫ガ足リナイト云フコト

ガ米專賣ニ對スルツノ反對論デアリマシ

タガ、今日國家管理ヲ致シマシテ米ガ雨曝

シニナツテ居ラナイ、又今日以後ニ於キマ

ノ増加デアリマスガ、今日マデノ私ノ見聞

ヲ以テ致シマスト、三千五百万石ヲ賣ルト

假定致シマシテモ、十數億デアリマス之ニ

濟ミマス、其ノ上ニ國家管理ノ爲ニ出マス

經費ガ儲カ二千万圓前後カト思ツテ思リマ

シタガ、米專賣ヲ斷行致シマシタラドレダ

ケ掛ルカト言ヒマスノニ、私共ノ先輩ガ計

算致シマシタ所ニ依リマスト、經營費ガ千

四百万圓、臨時費ガ二千五百万圓、是ハ運營

費用デゴザイマス、臨時費ハ配給所ヲ拵ヘ

タリ何カスルコトガ入ツテ居ルノデアリマ

スカラ、翌年度カラ是ハ要リマセヌ、又米

屋、問屋、仲買人ト云フヤウナモノニ約一

億圓ノ賠償金ヲ出スル致シマシテ、是ハ隨

分高ク見積ツテ居リマスガ、其ノ一億圓ヲ

二十箇年賦デ、年四分ニ換算致シマス、ト

七百三十五万圓ト相成リマス、之ヲ合セマ

シテモ經常、運營費用ノ二ツデ二千五萬圓

止マリマス、サウ致シマスト、米專賣ノ爲

ニ多額ノ經費ヲ費スルト云フコトガナインデ

アリマシテ、其ノ反面ニ一億五千万圓ト云

フモノガ浮イテ來ルノデゴザイマス、米屋

サンノ手ニ依ツテ取リマシタ所ノ一億五千

万圓、米屋サンハ一億五千万圓ヲ取ツテ居

リマシテモ、過般申上ゲマシタヤウニ、茲

ニ轉失業ト云フ運命ニ際會致シテ居リマシ

テ、其ノ轉業ハ自己資金ニ依ツテ之ヲ行フ、

然ルニ米專賣トナリマシテ政府カラ公債其

ノ他ヲ貰フコトニナリマスト、是ガ轉業資金

ニナルノデアリマス、米屋サンノ轉失業問題

手ニ於テ獎勵金ヲ與ヘルト同ジヤウナ效果

ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、ドチラ

ニシマシテモ、此ノ一億五千万圓ヲ只今ノ

不完全ナル機構ノ儘ニ委セテ、ソコニ餘計

ナ金ヲ國民ニ費サシメテ居ルト云フコトハ、

一日モ早ク是ハ拂拭シナケレバナラヌコト

ト確信致シマス、過般農林次官ニ此ノ事ヲ

御尋ね致シマシタ時ニ、御尤モデハアルガ、

國家管理ガ法律トナツテカラ、マダ一年モ

經タナイノニ、直チニ左様ナ方面ニ移行ス

ルト云フヤウナ考ヘハ慎マネバ相成ラヌコ

トデアルト云フ御答辯デアリマシタガ、併

シ只今ハ非常時局下デゴザイマシテ、合理的

ナモノデアリ、國民ノ幸福ト相成ルモノ

トデアルト云フ御答辯デアリマシタガ、併

シ只今ハ非常時局下デゴザイマシテ、合理的

ナモノデアリ、國民ノ幸福ト相成ルモノ

トデアルト云フ御答辯デアリマシタガ、併

シ只今ハ非常時局下デゴザイマシテ、合理的

ナモノデアリ、國民ノ幸福ト相成ルモノ

カ——次ニ小笠原君

○小笠原(八)委員 農產物ノ生產擴充ニ付

テハ何ト申シマシテモ農村ノ不平ヲ一掃ス

ルコトガ目下ノ急務デアルト私ハ考ヘルノ

デアリマス、今日ノ農村ノ經濟狀態ハ經濟

統制ニ依リマシテ、都會モ農村モ殆ド同様

ナ生活費ヲ要スルヤウナ狀況ニナツタノデ

アリマス、農村ノ生活必需品ノ配給ノ連絡

關係デアリマス所ノ中小ノ商業者ノ凋落的

傾向ニ依リマシテ、總テノ生活品ハ現金化

シテ來タノデアリマス、一方農村ノ方ハ農

產物ニ依リ、或ハ又副業ノ家畜等ニ依ル收

入ニ依ラナケレバナラヌノデアリマスガ、

其ノ農產物ノ金ノ支拂ハ圓滑ヲ缺イテ生活

上ニ不安ヲ感ジテ居ルヤウナ今日ノ狀態デ

アリマス、隨テ農民ナドハ其ノ日ニ働イテ

其ノ日ニ獲得スル方ノ勞働ニ移動スルヤウ

ナ傾向ニアルノデアリマス、殊ニ農村ノ方

ノ家庭ノ第一線ニアル所ノ青年男女ハ、農

產物ノ米トカ粟トカ云フモノノ小遣錢ノ代

リニ分與ヲ受ケル所ノ習慣ヲ有スル地方ガ

マダ少クナイノデアリマス、是等ハ其ノ分

與ヲ受ケタ農產物ヲ中都市ニ賣却スルト、

エラク警察官ニ御咎ヲ蒙ルト云フヤウナ

シテハ十分ニ伺ツテ慎重ニ研究ヲシナケレ

バナラヌコトト考ヘマスルカラ、能ク承リ

一八二

○村上委員長 吉植君宜シウゴザイマス

セヌ

酒ヲ賣ルニ優先權ヲ付ケテ、何代前カノ先

糧ダケハドウシテモ自給自足デヤツテ行クノダ、又農民一般トシテモ、吾々ノ食糧ハ吾々ノ力デヤルト云フ強イ決心ヲ發揮サセナケレバナリマセヌ、ソコデ私ハ自給強化デナクシテ、自給自足ヲヤルト云フ其ノ精神ヲ強ク深メラレンコトヲ望ミマス。ソレカラ第一番目ニ此ノ開發經營ヲ實現スルニハ非常ナ勞力ガ要リマス、即チ十六年度ニハ昨年ノ四千六百万人ノ上ニ更ニ一千二百七十万人ノ勞力ガ要ルコトニナリマスガ、此ノ勞力ハ容易ニハ得ラレヌト思ヒマス、ソコデ其ノ一つノ方法トシテ今年ノ政府買上米ガ二千万石、一般ノ消費ガ四千万石、生産農家ノ消費ヲ二千万石トシテ、政府買上米ガ二千万石トシテ、萬石ノ勞力ガ要リマスコトハ言ヲ俟チマセヌ、先ツ農家消費以外ノモノヲ四千万石ト假ニ致シマスト、之ニハ一億箇ノ俵ガ要リマス、此ノ俵ヲ五俵作ルニハ少クトモ一日ノ労力ヲ入レナケレバ出来マセヌ、サウスルト是ダケ、二千万人ト云フ労力ガ要ル譯デアリマスガ、茲ニ政府營團ノ方ハ政府ガ半分ノ出資ヲシ、又利子ノ補償モ致シマス、法人稅モ、營業稅モ、所得稅モ、取得稅モ免除セラレル、ソレニハ六割ノ補助ヲヤツテ、自作農維持創設ノ五十分步以下ノ者ニハ四割ト云フ區別ヲシテ、其ノ根據ガ分ラヌノデアリマス、何レモ國

ノ爲メデス、營團ノ方ハ國家事業デアリ一ノナル事業デル、ソレニ對シテ六割、四割ト區別スルコトハ餘り差ガヒドイト思ヒマス、不均衡デアルト思ヒマス、國家事業ノ開發營團ニハ澤山ノ補助ヲシ、一方出來マイカト云フ心配ノアル五十町歩以下開墾ノ小ナル一般ノ者ニ對スルニ、四割ト云フコトデハ、ソレハ益々出來難イコト思フ、共ニ實現サセネバナラヌ國家ノ大事業デアリマスナラバ、同一ノ補助ヲ與フベキモノナリト思ヒマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○石黒國務大臣 只今松田サンヨリ自給足ト云フコトヲ強調スルヤウニト云フコトデアリマスガ、ソレハ全ク御同感デアリマシテ、自給自足ヲ強調スルコトニ目標ヲ置イテ行カナクテハナラスト者ヘテ居リマス、労力不足ノ緩和ノ方法トシテ、空俵ヲ農村ニ還元スルト云フコトノ御指摘デアリマスガ、是モ實際上ドウ參リマスカ、私只今ハツキリ致シマセヌガ、確カニ御指摘ノ點ハ關係ガ大キイト思ヒマスカラ、十分ニ研究ヲ致シマシテ善處致シタイト考へマス、容れ物ノ問題ハ、時局ニナリマシテ凡ユル所デ困ツテ居ルノデアリマス、外國カラ米ヲ取りマスノニモ、敵性ヲ持ツタ外國ガ容れ物ヲ供給シナイ、米ヲ買フ話ハ付イテモ、ココガ私ニハ分ラナインデアリマス、營團ノ方ハ政府ガ半分ノ出資ヲシ、又利子ノ補償モ致シマス、法人稅モ、營業稅モ、所得稅モ、取得稅モ免除セラレル、ソレニハ六割ノ補助ヲヤツテ、自作農維持創設ノ五十分步以下ノ者ニハ四割ト云フ區別ヲシテ、其ノ根據ガ分ラヌノデアリマス、何レモ國

ノデ步イテ居ル、ソレヲドウ云フ風ニ纏メテ元ニ戻シマスカ、具體的ノ方法ニ付テハ今何等考ヘテ居リマセヌ、是ハ難カシイカモ知レマセヌガ、十分ニ研究ノ結果、農村勞力補給ノ上ニ有效ニ効クヤウデアリマス、ソレハ開墾デモ、用排水幹線ノスレバ、出來ルダケ努メタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ農地開發營團ノ行フコトニ關シマシテ六割ヲ補助シテ、開墾助成ニ四割トナツテ居ル點ニ付色々不都合ナ點ヲ御指摘ニナリマシタガ、實ハ大規模ノ開墾、或ハ農地ノ改良、水利ノ改良ト云フヤウナコトハ、殘ツテ居ルモノニ付テハ割合ニ困難ガ多イノデアリマシテ、大規模ニ之ヲヤラケレバナラスト云フコトニ付テハ困難性が強イノデアリマス、ソレ等モ考慮致シマシテ、只今マデモ大地域ノ水利改良ニ對シマシテハ、五割程度ノ補助ヲヤツテ居ルヤウナコトモアルノデアリマス、今度ノ營團ニ關シマシテモ比較的大キイ所ヲ營團ニシテ、只今マデモ大地域ノ水利改良ニ對シマシテハ、五割程度ノ補助ヲヤツテ居ルヤウナコトモアルノデアリマスカ、私只今ハツキリ致シマセヌガ、確カニ御指摘ノ點ハ行カウト云フノガ此ノ立場デアリマス、ソコデ從來ノモノヨリモ餘計ノ費用ヲ要シマス所デアリマスカラ、助成モ餘計ニ致シタ御答辯ガアリマス

○石黒國務大臣 坪山サンノ御尋ネノ第一ハ、適當ナル價格政策ト助成政策ヲ實行スルニアラザレバ、思フヤウナ主要食糧ノ作付ケト云フコトガ實現出來ナイデハナカト考ヘルト云フ點デアリマスガ、價格ノ問題ニ關シマシテハ毎々申上ゲテ居リマスヤウニ、關係スル所ガ多イノデアリマス、将来慎重ニ考慮致シテ善處致シタイト考ヘテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、增ゲルヤウナ結果ヲ持來スヤウニ致シタイトソレカラ衆議院ノ御要望ニ依リマシテ、増

産關係ニ付キマシテ只今財務當局ト交渉致シテ居リマスル中ニ、農業技術員ノ問題ガアルガ、其ノ中ニ養蠶技術員關係ヲ含ンデ居ルカト云フ御尋ネデアリマス、是ハ手當等ノ問題ニ關シマス場合ニハ、成ベク同様ニヤツテ行キタイト云フ考ヘヲ以テ交渉致シテ居リマス、併シナガラ此ノ點ハ只今交渉中デアリマスノデ、斯様ニ確定シタト云フ譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ大農事試驗場ヲ設置シテ徹底的ニ農事ニ關スル研究ヲナサシムル要ガアルト思フガドウカト云フコトデアリマスガ、農事試驗機關ヲ出來ルダケ完備スルコトハ極メテ必要ナコトデアリマス、本年度ノ豫算ニ於キマシテモ、其ノ一部分ヲ實現致ス爲ニ相當程度ノ要求ヲ致シテ御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマス、勿論ソレニ満足スルモノデハナイノデアリマスカラ、今後漸次ニ完備致シテ参りタイト考ヘテ居リマス

ルコトハアリマセヌカ

○坪山委員 宜シウゴザイマス
○村上委員長 ソレデハ農林大臣ニ對スル

○服部(岩)委員 私ハ最初ニ大臣ダケニ質問シタイト云フ希望ヲ述べテ置イタノデアリマスガ……

○村上委員長 ソレデハオヤリ下サイ、私ノ方ノ控ヘデハ、アナタノハ内務大臣、遞信大臣、内務省ノ土木局長、斯ウナツテ居テ、農林大臣ハナインデアリマス、ダカラシテ申サナカツタノデスガ、落チテ居ツタトスレバ已ムヲ得マセヌカラ、ドウゾオヤリ下サイ

○服部(岩)委員 私ノ大臣ニ御尋ネ致シタイト思フコトハ、資源ノ開發ニ關シテ、而モ今回ノ農地ノ開發ニ關聯シテデゴザイマスガ、私ハ決シテ地方的ナ見地カラ御尋ネ申上ゲルノデハナイコトヲ御諒承願ヒタイ、今日高度國防國家建設ノ内容ノ一ツトシテハ、所謂高度ナ産業ノ開發、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、國內ノ凡ユル資源ヲ高度ニ開發シテ、ソレヲ完全ニ利用シテ行クコトガ、高度國防國家構成ノ一素因デアルト考ヘルノデアリマス、モノハ窮スレバ通ズト云フコトガアリマスガ、今日我ガ國ハ此ノ時局ニ逢着致シマシテ、曾テハ米穀ノ過剩ヲ生ジテ其ノ対策ニ非常ニ困ツタヤウナ時代モアツタノデアリマスガ、今回ハ却テ食糧ノ不足ヲ告ゲルヤウナ結果ニナツテ、國ヲ舉ゲテ食糧増産確保ニ邁進シナケレバナルナイコトハ、度々大臣カラモ承ツテ居リマスシ、又吾々モ強クソレヲ感ジテ居ル譯

テモ、各省大臣ガ協力シテソニオ互ヒニ
意思ヲ通ジテ完成シテ行クヤウニシナケレ
バ、中々至難ナ問題ガ出テ來ルダラウト考
ヘマス、今回ノ土地開發ニ付キマシテモ、
内務省或ハ農林省或ハ其ノ他ノ方面ニ色々
ナ關係ヲ持ツテ來ルト思ヒマス、隨テ此ノ
間能ク各省ノ疎遠ヲ圖ツテ、土地ノ買入レ
或ハ官地ノ拂下等凡ユル方面ニ協力サレル
コトガ必要ダトス様ニ考ヘルノデアリマス、
ソコデ琵琶湖ハ御承知ノ通り外湖ヲ開拓致
シマスルト約三千三百町歩ノ美田ヲ開發スル
コトガ出來ルノデアリマス、更ニ琵琶湖
畔ヲ一段ト利用シテ參リマスルト、内湖ニ
於キマシテモ約三千町歩ノ美田ヲ開發スル
ソレガ出來ル、一面現在ノ琵琶湖ノ水量ヲ
完全ニ利用致シマスト、約十六億立方「メー
トル」ノ水ガ利用サレルコトニナルノデア
リマス、現在ニ於キマシテハ一箇年間ノ琵
琶湖ニ受入レマス所ノ雨量ハ、五十億立方
「メートル」ト計算サレテ居ルノデアリマス、
ソレガ今日デハ京都、大阪及ビ宇治川發電
等ノ關係ニ於テ、大體三十四億立方「メー
トル」利用サレテ居リマスガ、殘リノ十六
億立方「メートル」ハ無爲ニシテ放流サレテ
居ルノデアリマス、此ノ水量ヲ完全ニ利用
致シマスナラバ電力ニ於テ非常ニ多量ノモ
ノガ發電出來マスノデ、今日農村動力ノ非
常ニ缺乏シテ居リマス場合ニ於テ、最モ安
價ニ動力を供給スルコトガ出來マス、此ノ
ニアルノデアリマスガ、同地方ニ於テモ此
琵琶湖ノ利用開發ニ付テハ、多年研究調
査ヲシテ居リマス、今日高度國防國家建設
ノ上カラ見テモ、斯ウシタ天然ノ資源ヲ此

ノ儘ニ放任スルコトハ、一日モ許サレナ
ノデアリマス、今回農林省ニ於テハ農地開
發營團ヲ設ケテ、盛シニ將來ノ食糧增産計
畫ヲ立テラレタノデ、斯ウ云フ時ニコソ此
ノ資源ヲ十二分ニ開發スルコトガ、比較的
容易ク利用ガ出來ルモノデハナイカト考ヘ
ルノデアリマス、隨テ農林省ト内務省ノ關
係ニ於テ、今後十分ニ連絡協調ヲ願ツテ、
是ノ開發ニ對シテ農林省ガ一大努力ヲシテ
戴ケナイモノカドウカ、斯様ニ考ヘマシテ
大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト考ヘマスガ、琵
琶湖ノ開發ニ付キマシテハ、今日マデ技術的
的ニ色々研究サレテ居リマス、琵琶湖ノ周
圍ニ堰堤ヲ作ツテ、無爲ニ放流サレテ居ル
水ヲ貯藏シテ、之ヲ發電ニ使フト云フ調查
モ出來テ居リマス、更ニ琵琶湖ヲ開發スル
爲ニハ、現在ノ水位ヲ高クシテ周圍ニ築堤
ヲ完全ニシ、外湖ニ三千町歩ノ耕地ガ作レ
ルヤウニスルコトモ技術的ニ考ヘラレテ、
大體是モ調査ガ濟シニ居ル譯デアリマスガ、
此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタ
イト思ヒマス

先般滋賀縣知事ガ汽車ノ中ニマデヤツテ参リマシテ、地方事情ヲ話ヲ致シ、要望ヲ致シマシタ件ノ一ツデアリマスノデ、注意ヲ拂ツテ居リマシテ、内務省ト交渉モ致サセテ居ルノデアリマス、唯内務省ニ於キマシテハ、洪水時ニ於ケル水ハケノ關係等ニ關シマシテ、慎重ナ考慮ガ必要デアルノデ、十分ニ調査ヲ進メテ行カナケレバナラスト云フ考ヘヲ持ツテ居ルヤウデアリマス、只今此ノ件ニ關シマシテハ、兩省ノ間ニ交渉ヲ進メテ居リマスカラ、恐ラクドレダケニナリマスカ知レマセヌガ、或ル程度ノ結果ハ得ラレルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○服部(岩)委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○村上委員長 ソレデハ改メテ申上ゲマス
ガ、農林大臣ニ對スル質疑ハ一先づ終了シタコトニ致シタイト存ジマス、農林大臣外ノ大臣及ビ農林省外ノ各省ニ對スル質疑ハ、相當澤山アリマスガ、ソレハ明日全部終了スルコトニ運ビタイト思ヒマス、但シ出席セラレル大臣又ハ政府委員ノ都合モアリマスカラ、何時カラ何時マデト云フコトヲ茲デハツキリ約束シテ置ク譯ニハ參リマセヌカラ、御質問ヲナサル方ハ何時發言ヲ求メラレテモ質問ガ出來ルヤウニ準備シテ置イテ戴キマス、ソレカラ又餘リ離席ナサラナイヤウニ豫メ御願ヒシテ置キマス、明日ハ午後零時半カラ政務調査室ニ於テ此ノ法案ノ審議方ニ付テ、篤ト御懇談ヲ致シタイト思ヒマス、公報ニ廣告ハシテ置キマシタガ、尙ホ此ノ機會ニ改メテ申上ゲテ置キマス、明日ハ午前十時カラ開會スルコトニシテ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時四分散會